

第8回 学生生活実態調査報告書

平成30年度

弘 前 大 学

目 次

■ 第一章	調査の概要と回収状況	1
■ 第二章	回答者のプロフィール	4
■ 第三章	弘大生の学業生活	7
■ 第四章	弘大生の進路への希望と考え方	18
■ 第五章	弘大生の学生生活と人間関係	25
■ 第六章	弘大生の健康	35
■ 第七章	弘大生の経済状況	42
	付録 1 経年変化に関する結果	55
	付録 2 WEB ベース調査による回答状況	66
	付録 3 調査票	70
	付録 4 単純集計表	102

■ 第一章 調査の概要と回収状況

本学では、学生の生活実態を把握し、大学として自己点検評価並びに今後の福利厚生施設等の改善、修学支援充実を図るための基礎資料を得ることを目的に、4年に1度、学生生活実態調査を行っており、平成30年が第8回調査の年にあたる。

そこで、平成29年11月に学生生活実態調査専門委員会が学内に組織され、この専門委員会においてアンケートの調査方法と質問内容が検討され、平成30年10月1日～10月15日に調査が実施された。

今回の調査でも、第7回調査と同様、総合情報処理センターの全面的な協力により、インターネット上で回答するWeb入力方式とした。

今回の調査では、留学生及び社会人入学の学生を対象外とし、質問内容と回答すべき学生の層を一致させるようにした。

前回の調査では、学生に調査案内文書を配布し、その文書に掲載されているアドレスにアクセスしてパスワードを入力し、回答フォームから回答を入力する方法であった。

今回の調査では、調査対象となっている学生の学籍番号メールアドレスに総合情報処理センターからアンケートメールを送信し、メール本文内のパスワード込みのアドレスをクリック（タップ）し、回答フォームから回答を入力する方法とした。

調査内容は、個人のプロフィール、学業生活、進路、学生生活と人間関係、健康、経済状況の6区分から構成されている。

前回の調査では、質問数が多すぎるとの意見がかなり寄せられたため、今回の調査にあたっては、質問の内容と数量について大幅な見直しを行い、学部生では77項目から45項目、大学院生では73項目から44項目までに絞り込んだ。

また、質問内容については、時勢の変化に対応するため、午後10時から午前6時までの深夜帯にどの程度の頻度でアルバイトをしているかの質問項目を新たに加えた。

続いて、アンケート回答状況であるが、学部生については、調査対象者数5,748人に対し、回答者数は1,258人で、調査対象者数の21.9%が回答したことになる。

大学院生については、調査対象者数397人に対し、回答者数は96人で、調査対象者数の24.2%が回答したことになる。

回答率は、学部生では前回調査と比較して5.5%の低下、大学院生では3.0%の低下となった。学部別及び研究科別の集計を表1-1aと表1-1bに示した。

学部生の場合、回答率を学部別に見ると、最も高かったのは医学部保健学科 36.0%であり、次いで人文・人文社会科学部の 23.3%、最も低かったのが医学部医学科の 15.0%であった。前回調査と比べると医学部保健学科が 13.1%増加しているが、他の学部では低下している。

表 1-1 a アンケート対象学生数と回答率の学部別集計

[学部生]

学部別	学生数	アンケート対象学生数	今回の回答者数	今回の回答率	前回の回答率	前回との比較
	人	人	人	%	%	%
人社・人文学部	1,228	1,159	270	23.3	28.3	△ 5.0
教育学部	796	776	115	14.8	21.9	△ 7.1
医学部医学科	781	775	116	15.0	32.9	△ 17.9
医学部保健学科	818	792	285	36.0	22.9	13.1
理工学部	1,439	1,401	278	19.8	29.4	△ 9.6
農学生命科学部	868	845	194	23.0	29.2	△ 6.2
合計	5,930	5,748	1,258	21.9	27.4	△ 5.5

表 1-1 b アンケート対象学生数と回答率の研究科別集計

[大学院生]

研究科別	学生数	アンケート対象学生数	今回の回答者数	今回の回答率	前回の回答率	前回との比較
	人	人	人	%	%	%
人文社会科学研究科	48	14	2	14.3	32.1	△ 17.8
教育学研究科	85	38	5	13.2	14.0	△ 0.8
医学研究科	244	4	2	50.0	30.0	20.0
保健学研究科	119	24	11	45.8	14.6	31.2
理工学研究科	239	221	56	25.3	37.5	△ 12.2
農学生命科学研究科	106	93	20	21.5	19.0	2.5
地域社会研究科	41	3	0	0.0	16.7	△ 16.7
合計	882	397	96	24.2	27.2	△ 3.0

大学院生の場合、学生数 882 名に対し、留学生及び社会人入学の学生を除いたアンケート対象者数は 397 人である。研究科によっては、アンケート対象者数が 1 桁の研究科もあるため、研究科別の回答率は、さほど意味を持たない。研究科全体での回答率を比較すると前回調査より 3.0%低下している。

今回の調査でも、回答の途中で入力を止めて、画面を閉じてしまった回答未完了者が、学部生で 275 人、大学院生で 4 人となっており、これらは集計から除外した。

これらの回答未完了データについては、前回同様、画面を閉じるまでの時間や質問区分への回答状況を分析している。

それらの結果と今後の対応については、付録2の「Web ベース調査による回答」にまとめられているので、次回調査における回答率向上のためにも、ぜひ、参考にしていただきたい。

最後に、今回の調査では、回答率の向上を図るため、総合情報処理センターより送信されるメールからアンケート回答画面に誘導する方法を採り、回答画面に到達するまでの簡略化を図ったが、回答率は前回の調査よりも低下した。

この原因として考えられるのは、学籍番号メールアドレスをスマートフォンのメールアプリで受信する際、メールの着信を通知する設定にしておらず、確認が行われていなかったためであろう。

また、平成30年6月に起きたフィッシングメールによる個人情報漏えい事案を受け、キャリアメール（ドコモ・au・ソフトバンク）への転送ができなくなったことも、原因として考えられるかも知れない。

いずれにしても、何よりも重要なことは、学生に本調査の意義と目的を啓発し、協力することの認識と意欲を高めることである。

学生が抱えている心理的・物理的・経済的・社会的問題や学生から見た大学全体の問題を計量的に把握する上で、この調査の意義は深いものと考えられる。

しかしながら、この調査が存在意義を果たすためには、調査結果に基づく改善状況や具体的な支援が見える形で示されなければならない。毎回、同じような意見が寄せられるのは、本学の具体的な取り組みがなされていないからである。

学部生、大学院生の皆さんにはもちろんのこと、教職員の皆さんにも大学における学生生活や学修環境の改善や充実のためにこの報告書を活用していただきたい。

(成田 勇一)

■ 第二章 回答者のプロフィール

本章ではアンケート回答者の性別、所属学部、学年等一般的プロフィールを整理し、過去の調査報告書と比較しながらそれぞれの傾向について分析する。

2.1 性別

全学部の回答者総数は 1,258 人であり、そのうち男子は 569 人 (45.2%)、女子は 689 人 (54.8%) であった (図 2-1 a)。全学部の在籍者総数は 5,930 人であり、男子は 3,463 人 (58.4%)、女子は 2,467 人 (41.6%) であるので、男子の 16.4%、女子の 27.9%がアンケートに回答したこと

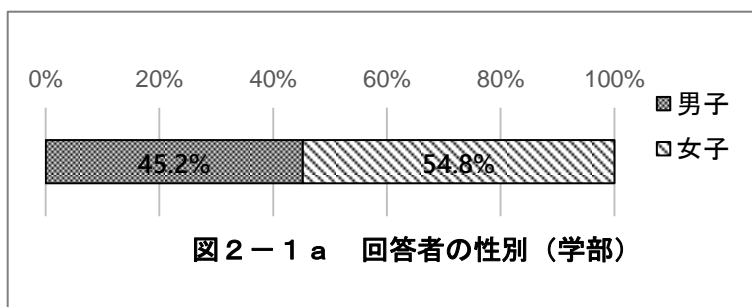


図 2-1 a 回答者の性別 (学部)

になる。一方、大学院生の総回答者数は 96 人であり、男子は 72 人 (75.0%)、女子は 24 人 (25.0%) であった。この大学院生を①修士課程・博士前期課程と、②博士課程・博士後期課程・後期 3 年博士課程の内訳でみると、①の回答者数は 90 人で、男子が 68 人 (75.6%)、女子が 22 人 (24.4%)

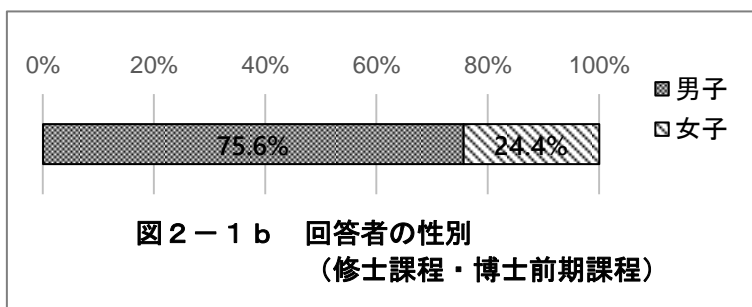


図 2-1 b 回答者の性別
(修士課程・博士前期課程)

(図 2-1b)、②の回答者数は 6 人で、男子が 4 人 (66.7%)、女子が 2 人 (33.3%) となる (図 2-1c)。全学の大学院在籍者総数 882 人のうち、男子は 582 人 (66.0%)、女子は 300 人 (34.0%) であるので、男子の 12.4%、女子の 8.0%がアンケートに回答したことになる。

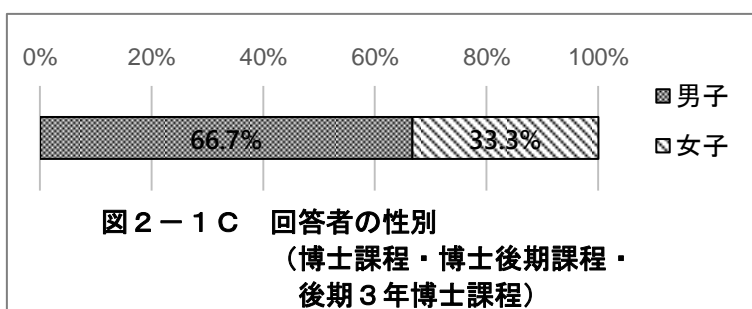


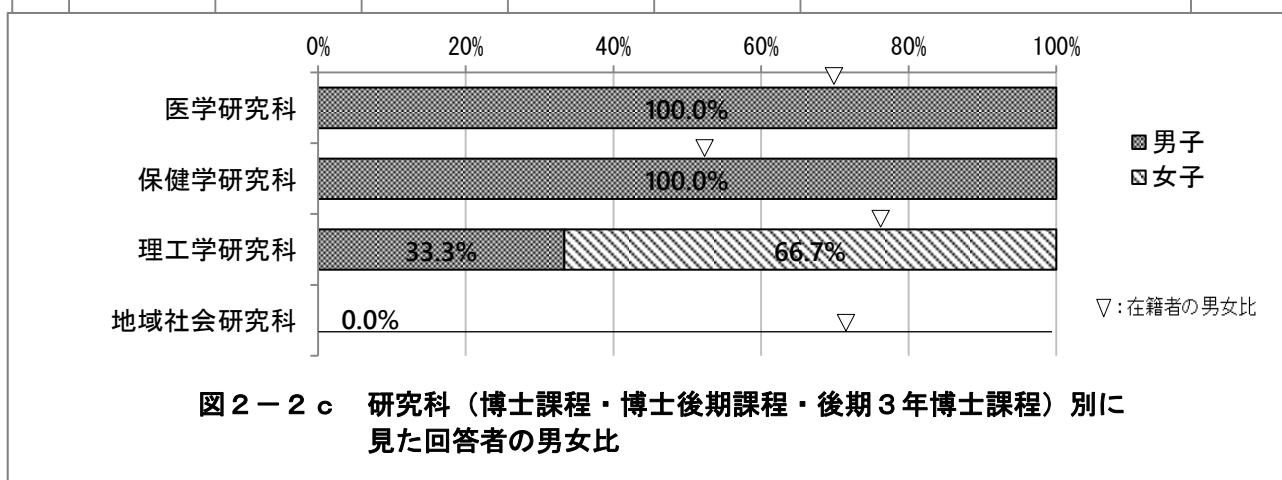
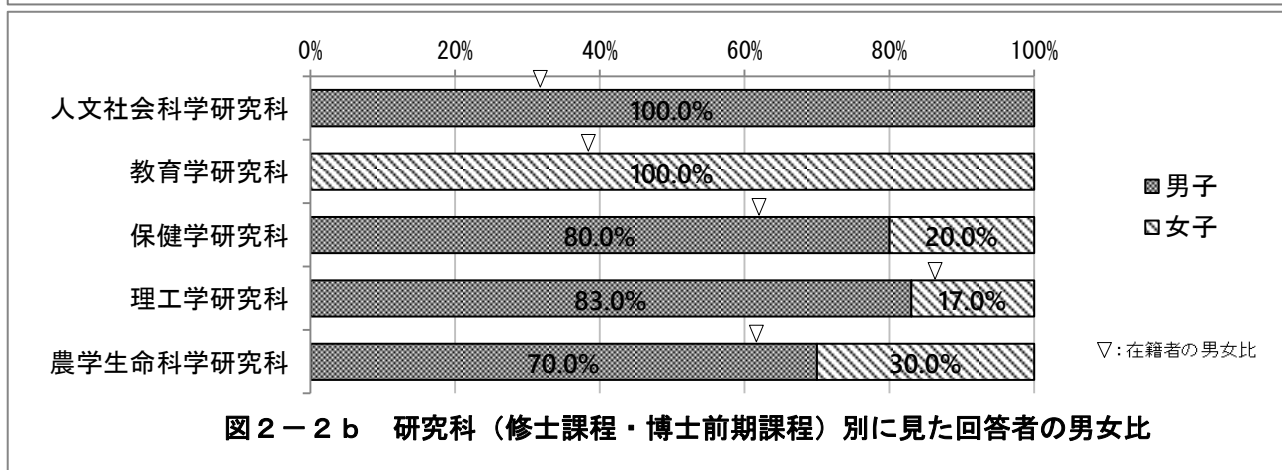
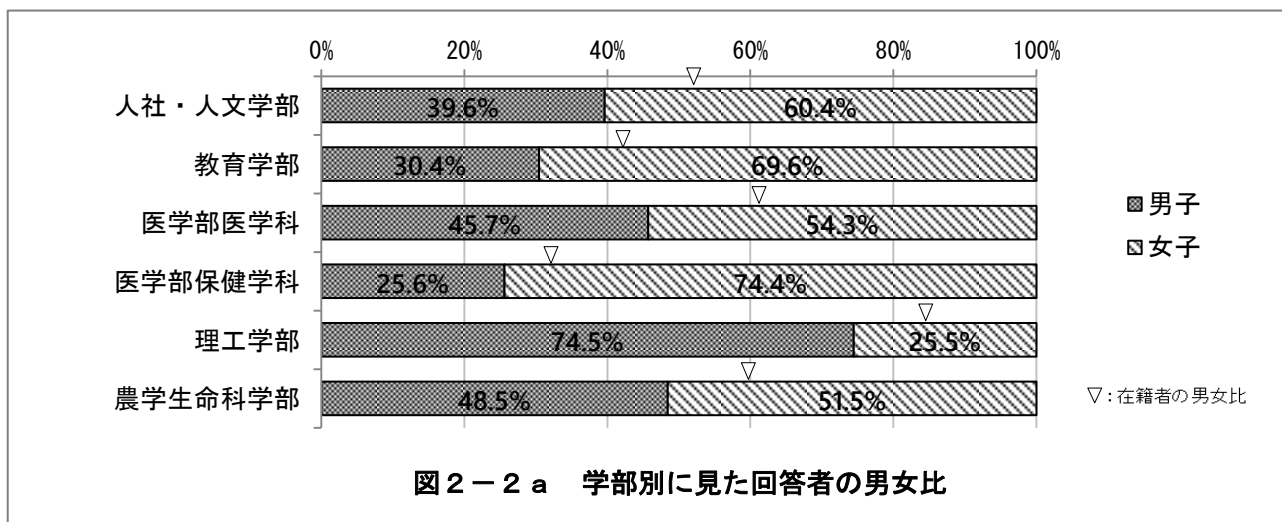
図 2-1 c 回答者の性別
(博士課程・博士後期課程・
後期 3 年博士課程)

回答者の男女比は、学部生では女子が男子を 9.6 ポイント上回っており、今回を含めた過去 4 回の調査においては、前回 (平成 26 年度) を除き、女子の回答率が男子の回答率を 10 ポイント程度上回る傾向にある。これに対し大学院生では、過去の調査においても男子学生の回答率が女子の回答率を大きく上回る傾向にあったが、今回の調査においては男子の回答率が女子の回答率の 3 倍となっており、その傾向が顕著となった。

学部別に見た回答者の男女比は、理工学部の 25.5%を除いて 50~70%台となっており、これは各学部の在籍者の男女比をほぼ反映しているといえる (図 2-2a)。前回と比べると、男子の回答率が医学部で 14.2 ポイント、その他の学部においても平均 3.5 ポイント程度低くなっている。

一方、大学院生においては、①修士課程・博士前期課程 (図 2-2 b)、②博士課程・博士後期課程・

後期3年博士課程（図2-2c）ともに在籍者の男女比と回答者の男女比との相関が認められないが、これは大学院生の回答者が少ないために、男女どちらかの回答が過大に反映されていることによるものと考えられる。



2. 2 所属学部・学科・学年

回答者の所属学部・学科は、多い順に医学部保健学科 285 人 (22.7%)，理工学部 278 人 (22.1%)，人社・人文学部 270 人 (21.5%)，農学生命科学部 194 人 (15.4%)，医学部医学科 116 人 (9.2%)，教育学部 115 人 (9.1%) であった。学年別では，1 年生 427 人 (33.9%)，2 年生 302 人 (24.0%)，3 年生 275 人 (21.9%)，4 年生 240 人 (19.1%)，5 年生以上の者 14 人 (1.1%) であり，前回の調査と同様に学年が進むにつれて回答者が減少している (表 2-1 a)。

大学院では，理工学研究科が最も多く 56 人 (58.3%)，回答者が 0 人の地域社会研究科を除いて最も少ないのは人文社会科学研究科と医学研究科の各 2 人 (2.1%) であった。学部生同様に学年が進むにつれて回答者が減少しており，①修士課程・博士前期課程における 90 人に対し，②博士課程・博士後期課程・後期 3 年博士課程では一桁台の 6 人とどまっている (表 2-1 b)。

表 2-1 a 回答者の所属・学年 (学部)

	人社・ 人文学部	教育学部	医学部 医学科	医学部 保健学科	理工学部	農学生命 科学部	計	回答率
1 年	83	42	35	96	112	59	427	33.9%
2 年	77	36	15	52	71	51	302	24.0%
3 年	57	22	36	54	53	53	275	21.9%
4 年	53	15	16	83	42	31	240	19.1%
5 年	—	—	9	—	—	—	9	0.7%
6 年	—	—	5	—	—	—	5	0.4%
計	270	115	116	285	278	194	1,258	100.0%
回答率	21.5%	9.1%	9.2%	22.7%	22.1%	15.4%	100.0%	

表 2-1 b 回答者の所属・学年 (大学院)

		人文社会 科学研究科	教育学 研究科	医学 研究科	保健学 研究科	理工学 研究科	農学生命 科学研究科	地域社会 研究科	計	回答率
修士課程 博士前期課程	1 年	2	4	—	5	29	13	—	53	55.2%
	2 年	0	1	—	5	24	7	—	37	38.5%
博士課程 博士後期課程 後期 3 年博士課程	1 年	—	—	0	1	2	—	0	3	3.1%
	2 年	—	—	0	0	0	—	0	0	0.0%
	3 年	—	—	2	0	1	—	0	3	3.1%
	4 年	—	—	0	—	—	—	—	0	0.0%
計		2	5	2	11	56	20	0	96	100.0%
回答率		2.1%	5.2%	2.1%	11.5%	58.3%	20.8%	0.0%	100.0%	

(泉 完・橋本 美佐子)

■ 第三章 弘大生の学業生活

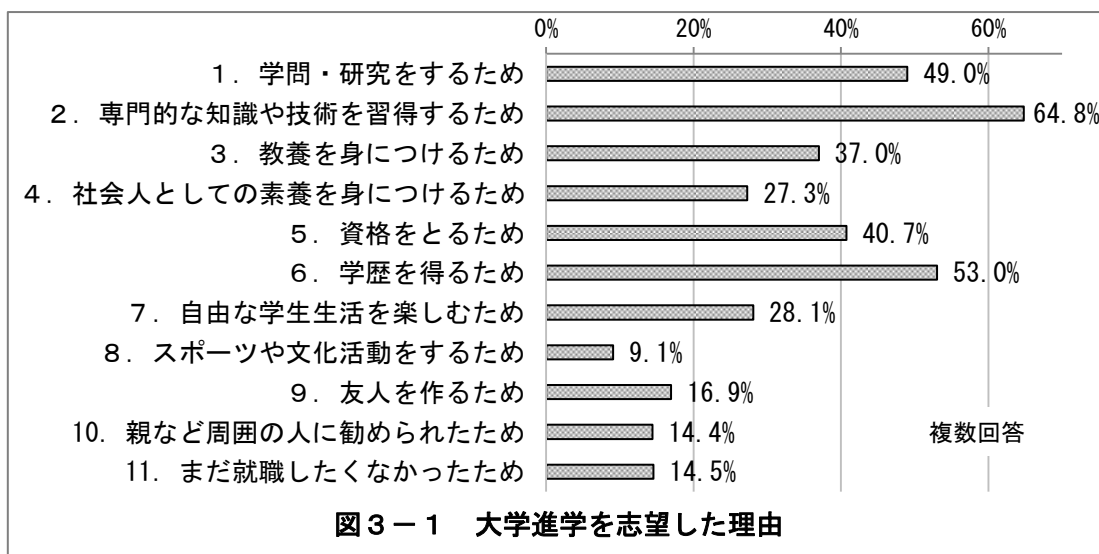
アンケートでは、学部生に対しては設問3から設問15の計13問、大学院生に対しては設問4から設問15の計12問を用いて、学業生活に関する質問が行われた。本章ではこれらの設問に対する結果を概観することを通して、教員のよりよい意識に基づく授業の改善や学生の意識の改善への方向性を明らかにすることを目的とする。

3. 1 弘前大学及び弘前大学大学院への進学理由（問3・問4・問5・問6・問7）

（1）進学を志望した理由

①大学進学（図3-1）

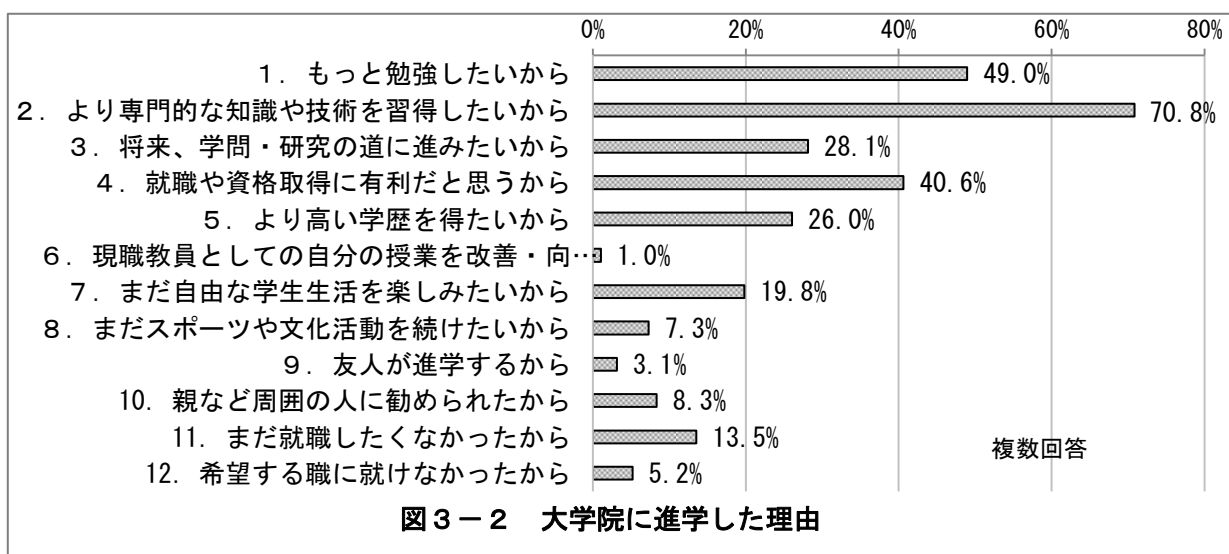
大学進学を志望した理由で、最も多かった理由は、「専門的な知識や技術を習得するため」65%であった。次に、「学歴を得るため」53%、「学問・研究するため」49%、「資格をとるため」41%で多かった。前回調査と比較して、最も多かった理由は変化がなかったが、2位以下の項目をみると、「学歴」や「資格」を得ることを理由としてあげる学生が多くなっていた。



②大学院進学（図3-2）

大学院を志望した理由で、最も多かった理由は、「より専門的な知識や技術を習得したいから」70.8%であった。次に、「もっと勉強したいから」49.0%、「就職や資格取得に有利だと思うから」40.6%、「将来、学問・研究の道に進みたいから」28.1%の順で多かった。

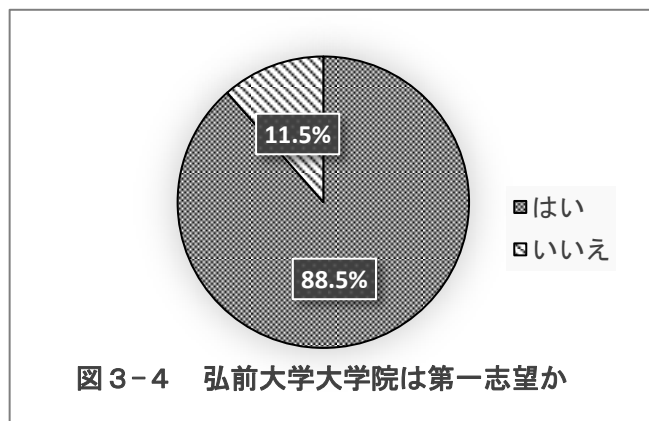
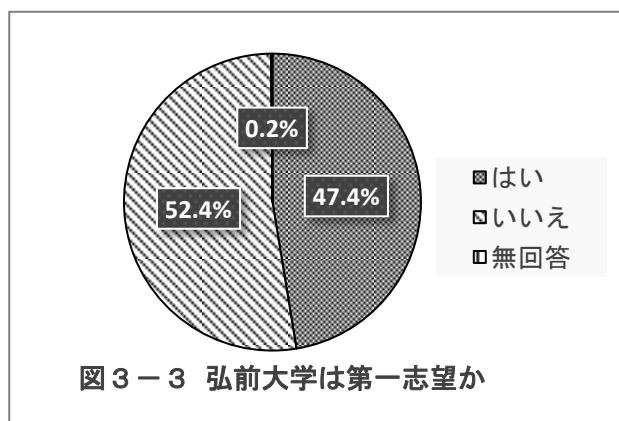
前回調査と比較して、最も多かった項目においては、1%程度の減少がみられたものの、変化はなかった。2位「もっと勉強したいから」は増加しており、向学心をもって進学していることが推察された。また、「学問・研究の道」より、「就職」や「資格」の有利性を理由としてあげる大学院生が多くなり、前回調査と逆転していた。「資格」等を重視している傾向は、学部生と同様の傾向といえる。



(2) 本大学は第一志望の大学か (図 3-3, 図 3-4)

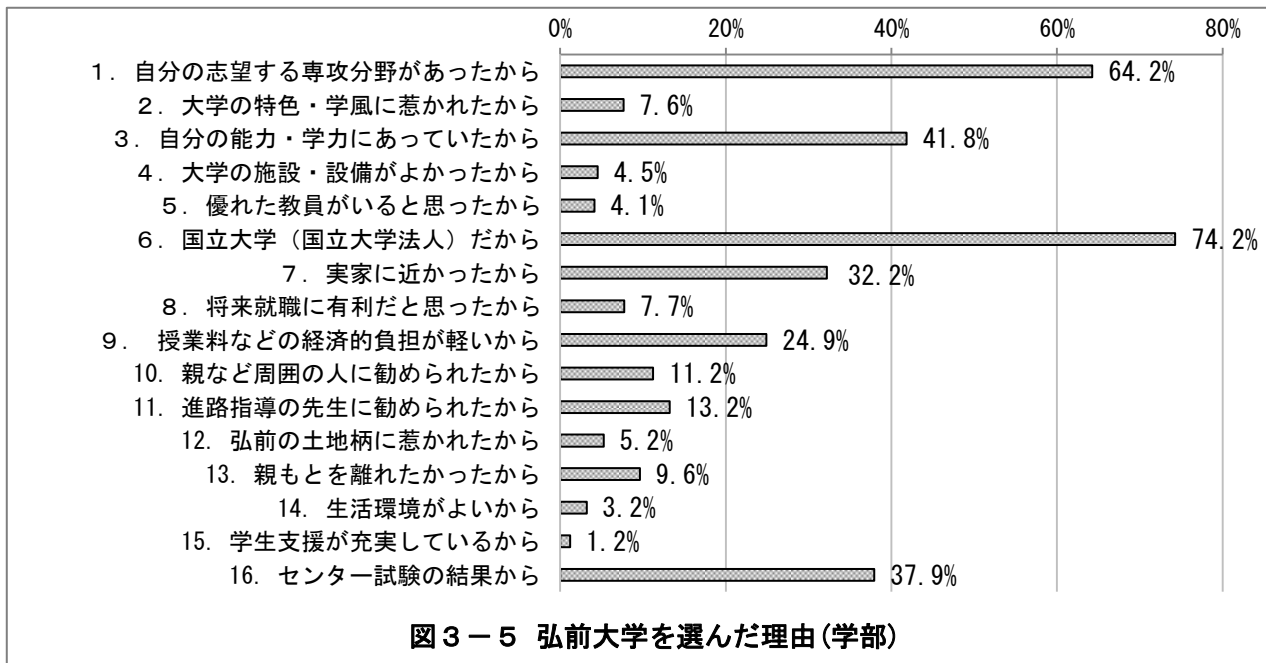
弘前大学及び大学院を第一志望としていたかについては、学部生は「はい」が 47.4%、大学院生では 88.5%であった。学部生では、「第一志望ではなかった」と答えた者が半数以上であった。前回調査では第一志望と答えた者が 50.8%であり、以前からの調査でも第一志望は約半数以上あったことがわかっている。今回の調査で、半数以下に減少したことが明らかになった。

大学院は、大学受験とは受験制度が異なるため、目的を明確に持って大学を選択し、希望に叶った入学をしていることが推察された。

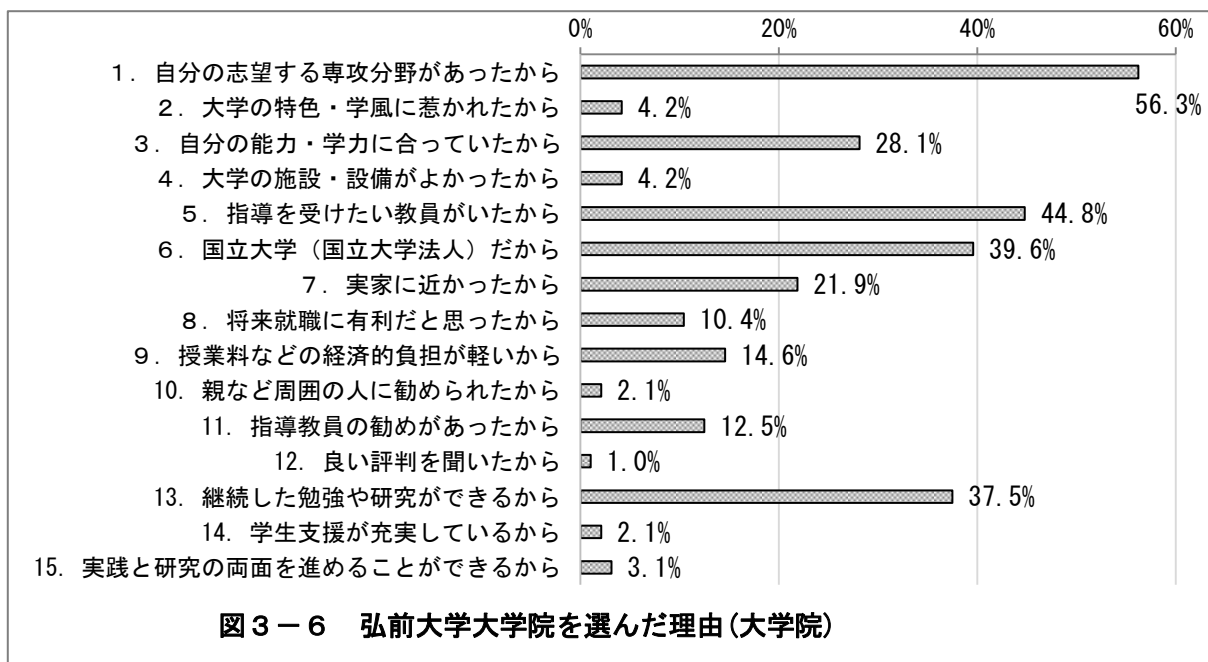


(3) 本大学を選んだ理由 (学部及び大学院) (図 3-5, 図 3-6)

弘前大学を選んだ理由として、最も多かったものは「国立大学 (国立大学法人) だから」で 74%、次いで「自分の志望する専攻分野があったから」が 64%、「センター試験の結果から」が 38%であった。前回の調査との比較では、すべての項目において順番は同じであったが、「センター試験の結果から」のみが 1%程度の増加傾向があった。その他の項目はわずかに減少している傾向があることを考えると、前回の調査でも指摘されていたように、センター試験の結果から入学可能な大学を選ぶ傾向は微増しながら継続していることが推測された。



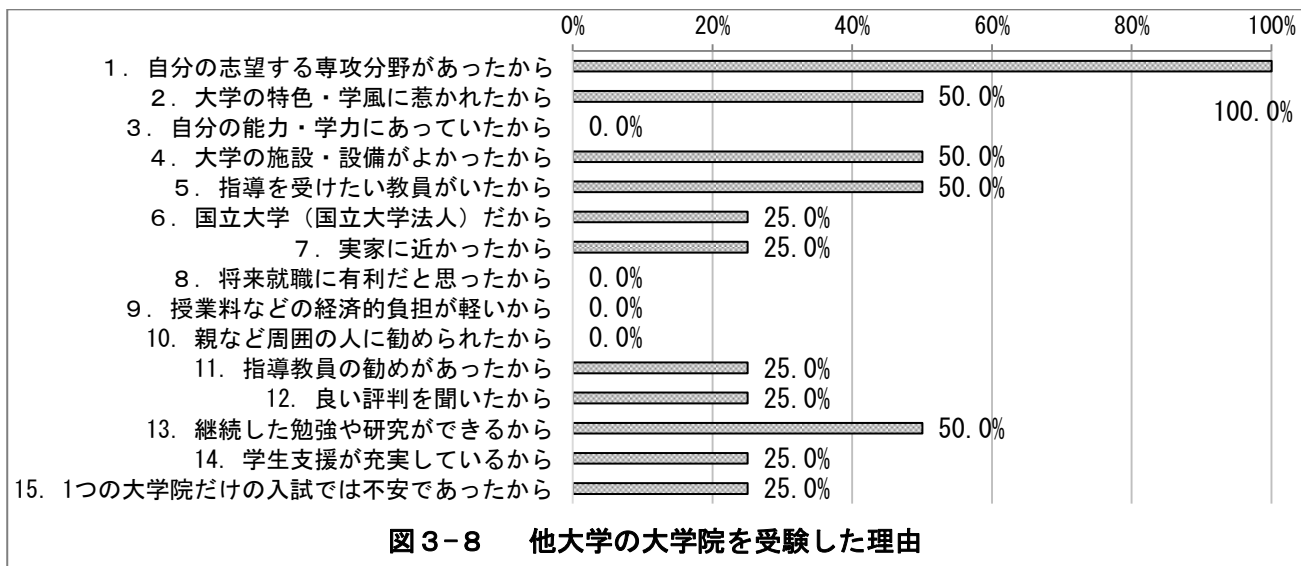
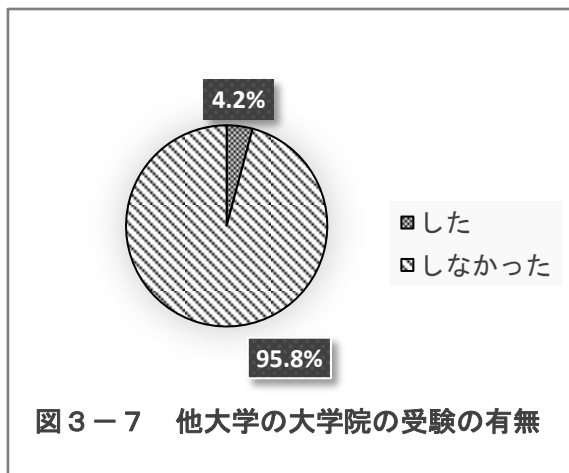
弘前大学大学院を選んだ理由として、最も多かったのは「自分の志望する専攻分野があったから」で 56.3%、次いで「指導を受けたい教員がいたから」44.8%、「国立大学（国立大学法人）だから」39.6%であった。前回の調査と調査項目の内容が異なるため、詳細な比較はできないが、多い理由の順序はほぼ同じ傾向であった。つまり、「教員」や「専攻科目」など学びの目的を重視して大学院を選んでいることである。また、「国立大学法人」であることが大学選択理由として学部、大学院で共に高い選択理由であった。「授業料などの経済的負担が軽い」ではなく、「国立大学（国立大学法人）だから」を選択しているということは、経済面の理由以外の部分において「国立大学法人」への信頼性から選択していることが推察された。



(4) 他大学の大学院を受験したか(大学院) (図3-7, 図3-8)

他大学の大学院を受験した者は、4.2%であり、ほとんどの大学院生は、弘前大学のみを受験して入学している。第一志望であったかという質問と同様の結果であった。

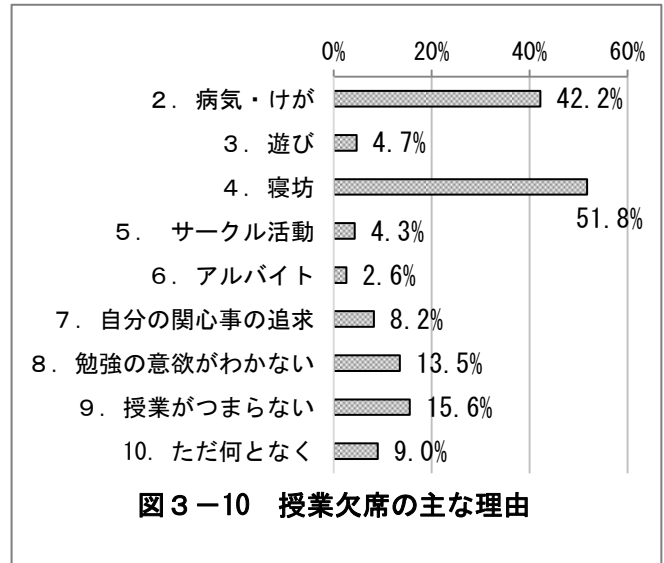
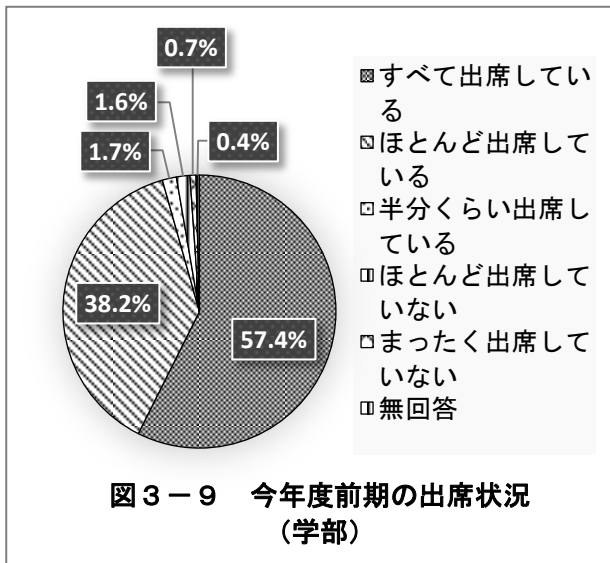
他大学の大学院を受験した人の理由では、専攻分野の研究や指導教員に関する希望によるものであり、地域や授業料などの環境条件による理由はなかった。この点においても、大学院生は学問研究に対する明確な目的意識を持って大学院を選び、入学していることが伺われた。



3. 2 授業の参加と満足度 (問8・問9)

(1) 授業の出席状況と欠席理由(学部) (図3-9, 図3-10)

学部生の授業出席状況は、「すべて出席している」「ほとんど出席している」を合わせると95.7%であり、おおむね出席状況は良い。欠席の主な理由を聞いたところ、最も多かった理由が「寝坊」52%、次いで「病気・けが」42%であった。しかし、「授業がつまらない」や「勉強の意欲がわからない」などの理由も10%以上あり、やむを得ずの欠席ではなく、学修に対する意欲の無さなどの心理面での問題で欠席している者もいる。

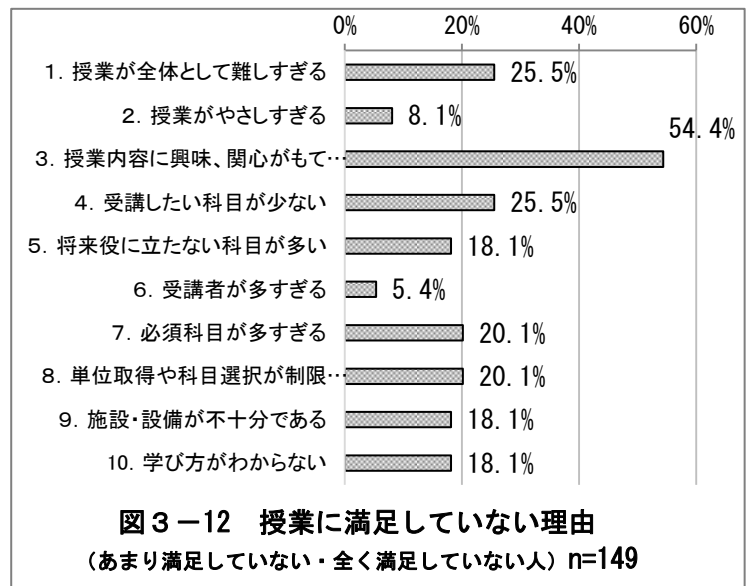
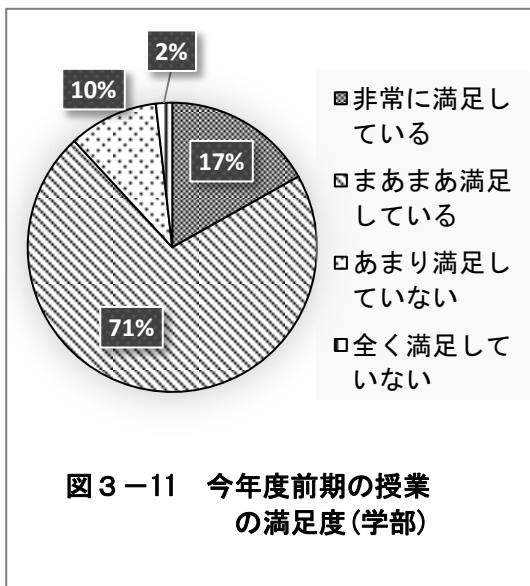


(2) 授業の満足度と不満足理由及び授業への希望

(図3-11, 図3-12, 図3-13, 図3-14, 図3-15, 図3-16)

①授業の満足度と不満足理由 (学部)

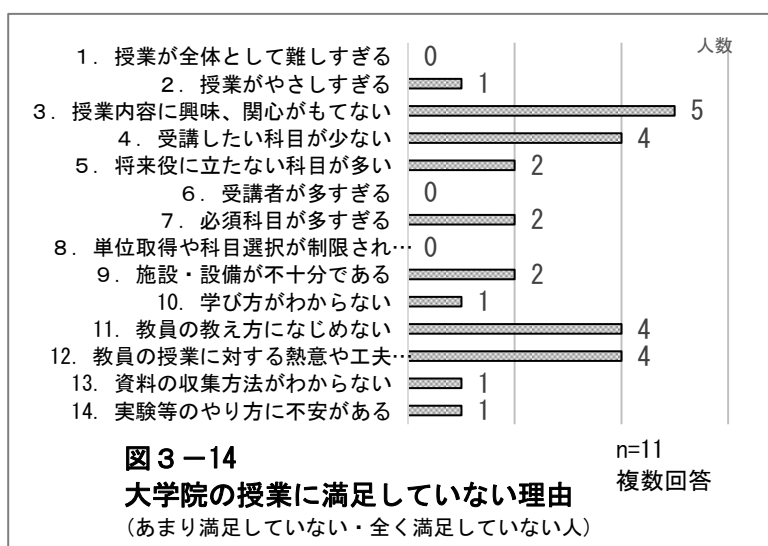
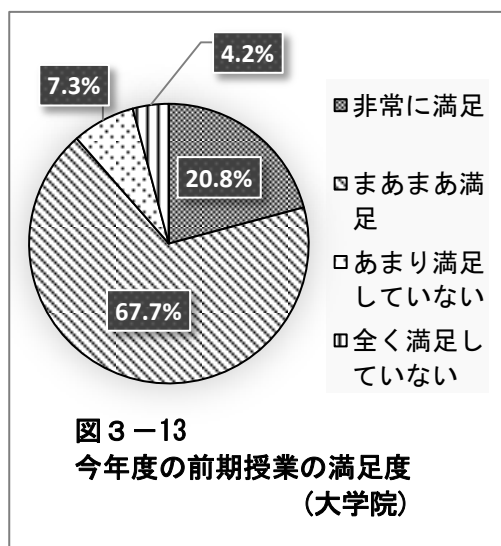
学部の今年度の前期授業科目の満足度については、「非常に満足している」が17%、「まあまあ満足している」が71%で、合計で88%が「満足」と答えている。「あまり満足していない」と「全く満足していない」を合わせた「不満足」群は、149人(12%)であった。「不満足」である理由として、「授業に興味、関心が持てない」54.4%で最も多く、次いで「受講したい科目が少ない」「授業が全体としても難しすぎる」がともに25.5%であった。



②授業の満足度と不満足理由 (大学院)

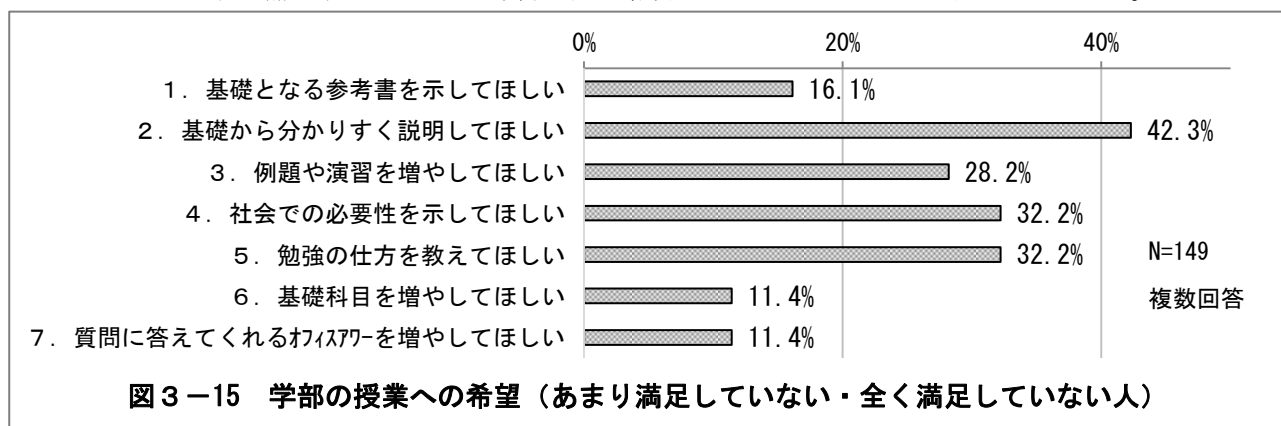
大学院の今年度の前期授業科目の満足度については、「非常に満足している」が20.8%、「まあまあ満足している」が71%で、合計で91.8%が「満足」と答えている。「あまり満足していない」と「全く満足していない」を合わせた「不満足」群は、48.2%であった。

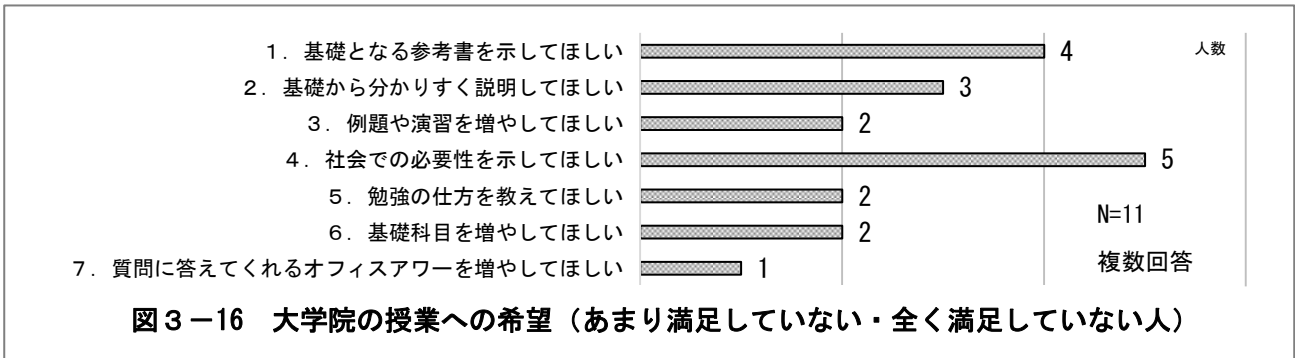
「非常に満足している」が67.7%で、合計で88.5%が「満足」と答えている。学部と比較して、「非常に満足している」割合が高い。また、「あまり満足していない」と「全く満足していない」を合わせた「不満足」群は、11人(11.5%)であった。「不満足」である理由として、「授業に興味、関心が持てない」5人で最も多く、次いで「受講したい科目が少ない」「教員の授業に対する熱意や工夫が足りない」「教員の教え方になじめない」が4人であった。大学院の授業の満足度は、内容の難易度ではなく、授業内容そのものや教授方法などに依拠することが推察された。



③授業への希望 (学部及び大学院)

「あまり満足していない」「全く満足していない」と答えた「不満足」群について、どのような授業を望むかを聞いたところ、学部で最も多かったものは、「基礎からわかりやすく説明してほしい」で42.3%、次いで「社会での必要性を示してほしい」「勉強の仕方を教えてほしい」がともに32.3%であった。学部生は、授業内容の理解や学修方法について困難を感じ、改善を期待していることや、学んでいる内容がどのように社会に役立つのかなど学びの社会での有用性や意義について教員から示唆を得たいと考えていることがわかった。大学院生は、「社会での必要性を示してほしい」「基礎となる参考書を示してほしい」が多く、学びの社会での有用性や意義について示唆を得、基礎的な知識を補足するための参考書文献の紹介を望んでいることが明らかになった。

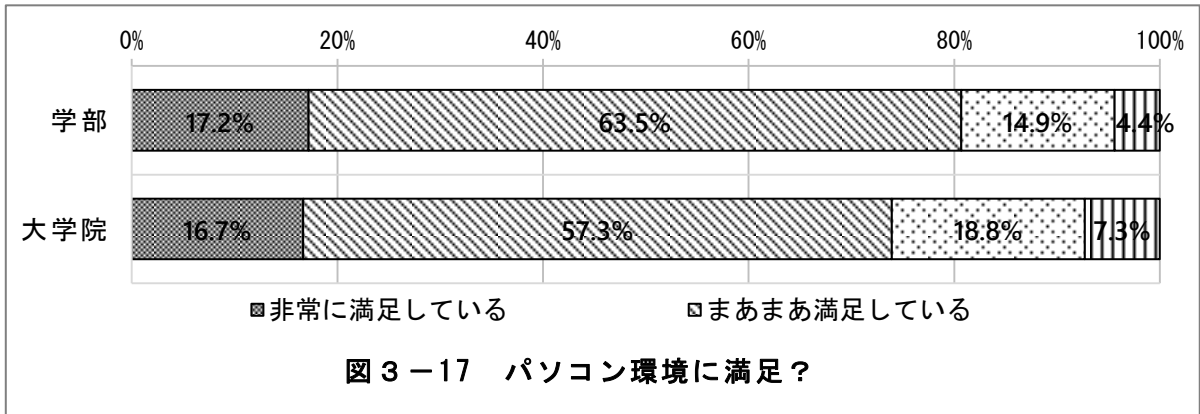




3.3 学業に関する実態

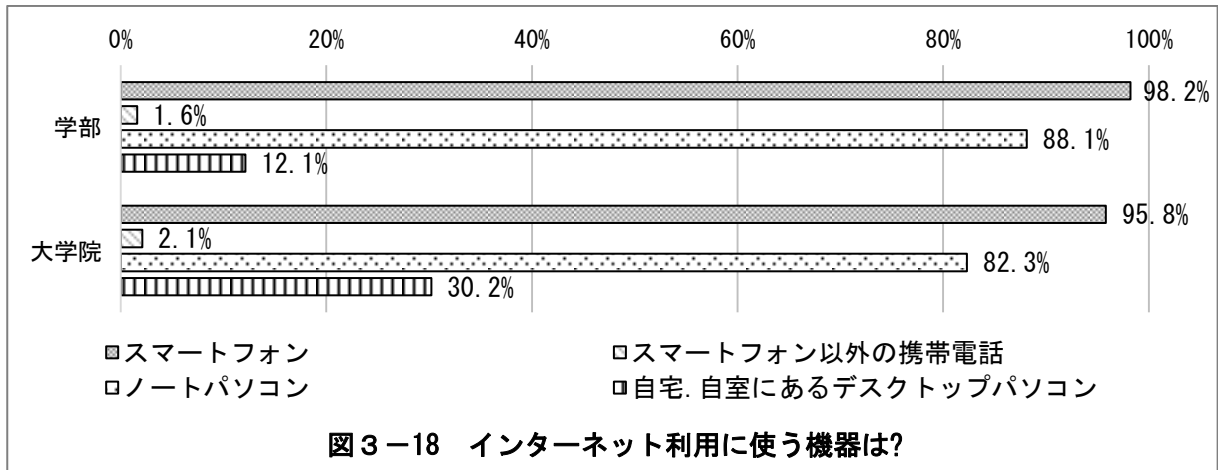
以下では、弘大生の学業に関する実態に目を向けていく。

(1) 弘大生の学業に関する環境とその変化（図3-17、図3-18、図3-19、図3-20）



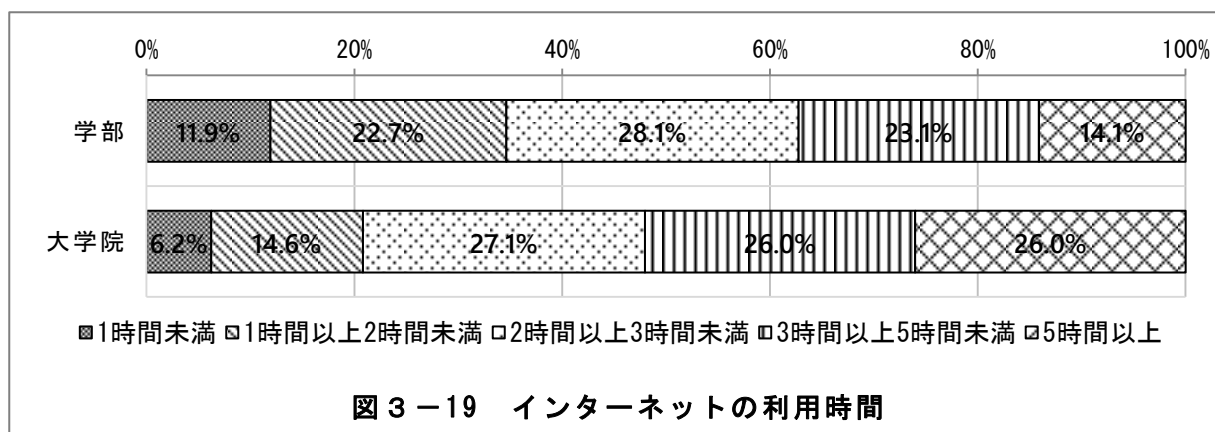
問12では大学のパソコン環境に満足しているかを学生に聞いている。学部生では、「非常に満足している」「まあまあ満足している」の合計が80.7%、大学院生でも74.0%となり、総合情報処理センターと各学部が提供するパソコン環境に満足していると考えてよい。

①インターネット接続に用いる機器について



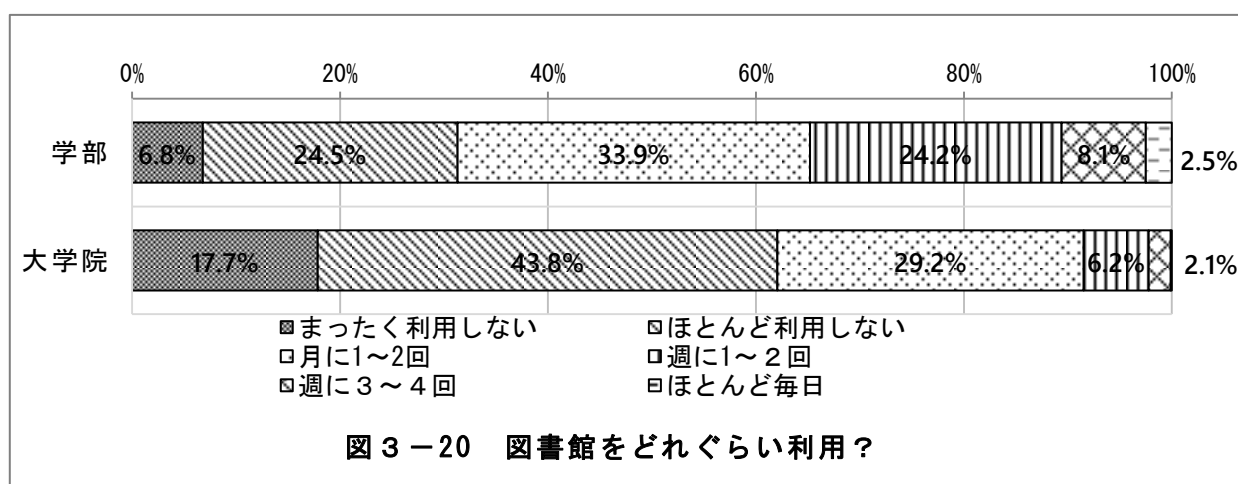
問 13 では、インターネット接続に用いる機器として「スマートフォン」「スマートフォン以外の携帯電話」「ノートパソコン」「自宅・自室にあるデスクトップパソコン」「タブレット端末」「その他」について回答を求めた。学部生の場合、スマートフォンは 98.2%で、それ以外の携帯電話は 1.6%となり、現在の主流はスマートフォンであることが再確認された。また、ノートパソコンは 88.1%、デスクトップパソコンは 12.1%である。ほぼすべての学部生がスマートフォンを持ち、90%近くは自宅でもパソコンを利用可能な状況にあることが分かる。

②インターネットの利用状況



問 14 ではインターネットを利用する時間について尋ねている。「1時間未満」は 11.9%、「1時間以上 2時間未満」(22.7%)、「2時間以上 3時間未満」(28.1%)、「3時間以上 5時間未満」(23.1%)、「5時間以上」(14.1%)と 4割近い学生が 3時間以上インターネットを利用していることが分かる。1時間以上では 88%と、前回調査(約 8割)とは設問が異なるので比較が難しいが、利用時間が伸びていることが分かる。大学院生もほぼ状況は同じで「1時間以上」は 93.7%である。

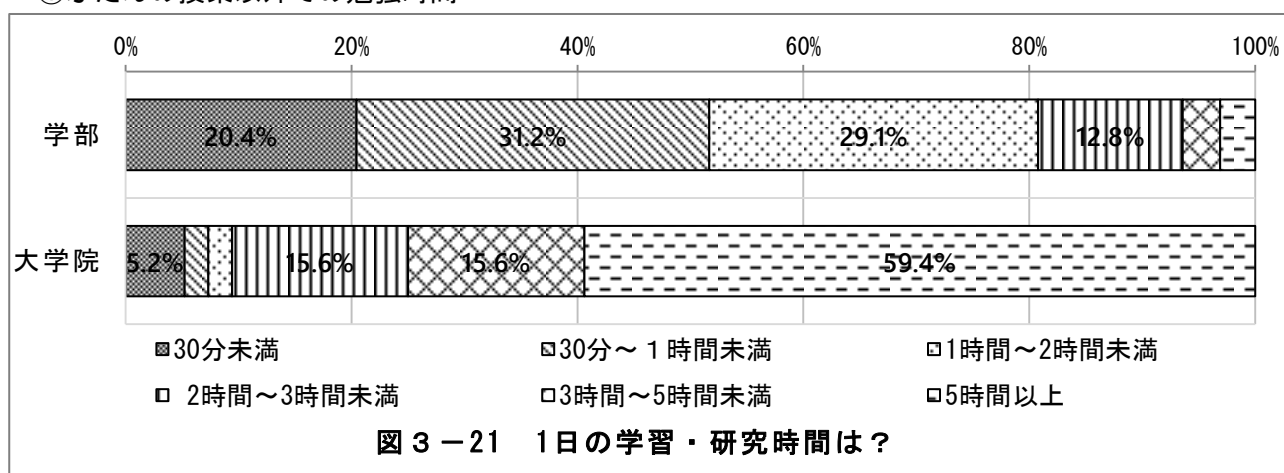
③図書館の利用状況



問 11 では図書館の利用状況について問うている。「月に 1, 2 回利用」と答えた学部生の割合は、33.9%であり、これとそれ以上の利用頻度の割合の合計は、68.7%である。逆に、「ほとんど利用しない」「全く利用しない」と答えた学部生の割合の合計は 31.3%であり、半数の学部生が図書館を利用している状況であることがわかる。前回調査では「ほとんど利用しない」「全く利用しない」の割合の合計は 50%をこえていたことから、図書館の提供する環境が改善されたことが推察される。大学院生の場合には、「ほとんど利用しない」「まったく利用しない」と答えた割合の合計が 61.5%であり、約 5 割の学生が図書館を利用していない状況であることがわかる。大学院生の場合には、図書よりも論文を読むことが多いと推察され、論文はインターネット上からダウンロードすることができるために、こうした結果になっていると考えられる。

(2) 弘大生の学業に関する実態 (図 3-21, 図 3-22)

①ふだんの授業以外での勉強時間



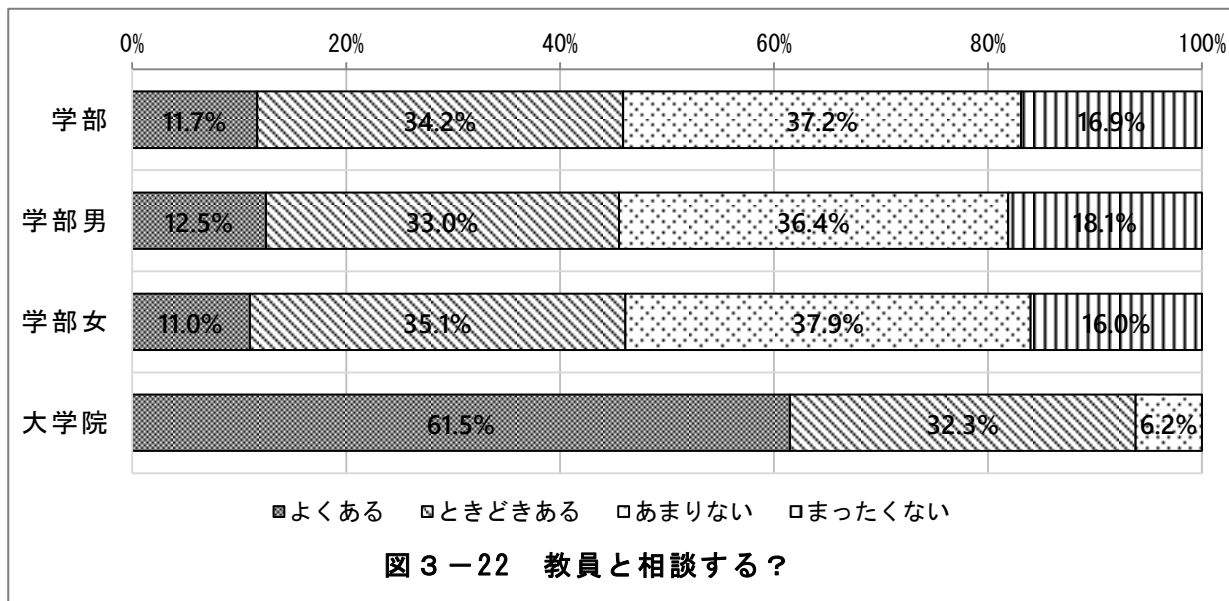
問 10 は勉強時間について問うている。「30 分未満」(20.4%) , 「30 分以上 1 時間未満」(31.2%) と半数以上の学生では 1 時間を切っている。「1 時間以上 2 時間未満」(29.1%) と「1 時間未満」の合計が 60.3%なので、普通の学生の勉強時間は長く見積もっても 2 時間、普通は 1 時間であり、これでは授業のレポートを片付けるだけで精一杯であると考えられる。一方、「2 時間以上 3 時間未満」(12.8%) , 「3 時間以上 5 時間未満」(3.3%) , 「5 時間以上」(3.1%) は合計で 19.2%に上る。5 人に 1 人は授業以外の自分の興味を追求する勉学に励んでいる。

②教員との対話

問 9 は教員との対話に関するものである。学部生は、教員とあまり対話していないととらえている。実際、「あまりない」「まったくない」と回答した学部生の割合は、54.1%に上っている。「よくある」「ときどきある」においては、女子 (計 46.1%) , 男子 (計 45.5%) に差はなく、前回調査での「男子に比べて、女子の方が対話の頻度が高い」は確認できなかった。

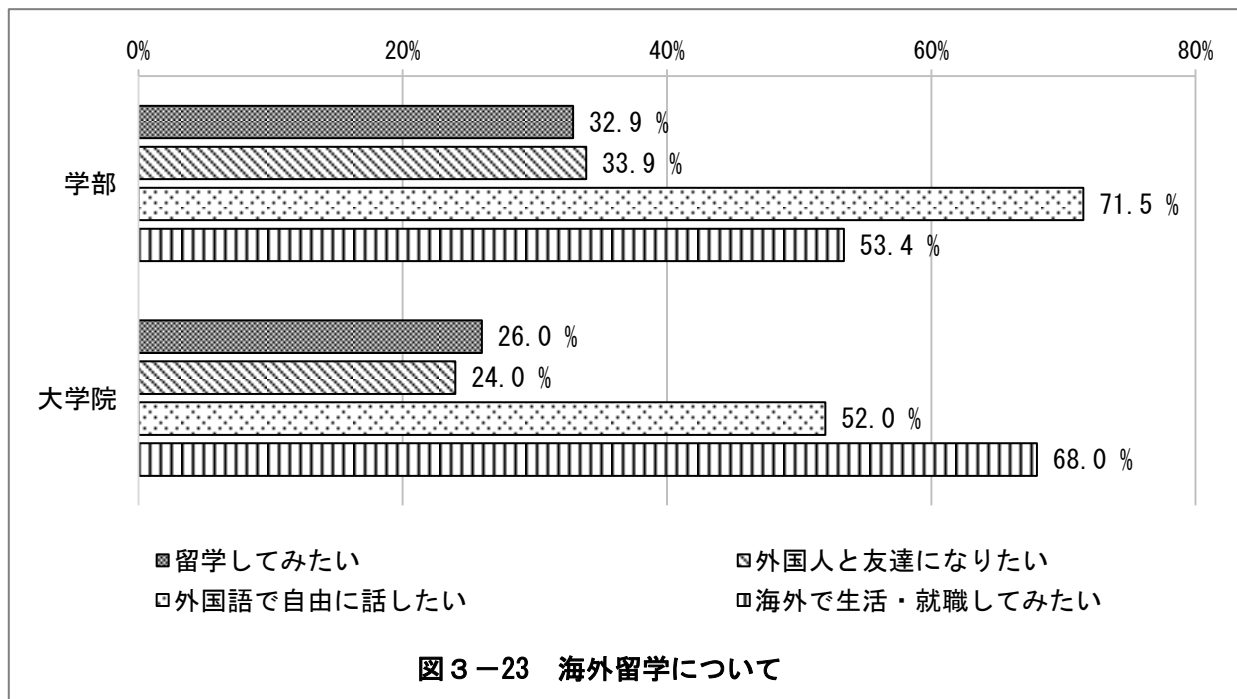
一方、大学院生は、教員との対話の頻度が高い。「よくある」「ときどきある」と回答した大学院生の割合が 93.7%に上っている。学部生とは異なり、大学院教育が教員と学生の一对一の教育であ

ることが分かる。



(3) 海外留学への意欲とその理由 (図3-23)

問15は海外留学に関する意欲とその理由についてきいている。海外留学に関して、学部生のうちの32.9%の学生が「留学してみたい」と回答している。また、大学院生は、26.0%の学生が「留学してみたい」と回答している。留学をしてみたい理由については、学部生の場合は「外国語で自由に話したい」が71.5%と最も高くなっているのに対して、大学院生の場合は「海外で生活・就職してみたい」が68.0%と最も高くなっていることがわかる。



3. 3 学生の学業の実態に対する改善

(1) 学生の意識に対する教員の働きかけ

学部生が弘前大学を選んだ理由は、「国立大学法人だから」や「センター試験の結果から」という理由が多く、「学びの目的」がない。このような結果は、授業の満足度に影響している可能性がある。つまり、授業にあまり、または全く満足していない「不満足」群において、その理由が「授業に興味、関心が持てない」が多いことから、大学受験の時からすでに「学びの目的」を持たないままとりあえず入学した可能性があるということである。また、大学での学びを「学歴」や「資格」取得として捉える傾向もわずかながら増加していることも含めて、このような傾向は現在の社会状況を反映していると推測される。大学は、学生の学びたい、知りたい、面白い、考えたいという学びや研究へ意欲を向上させ更に発展させることが課題である。学習意欲に関わる課題は大学以前の学校教育の課題と共通する部分であり、継続していることが推察された。

(2) 社会で知識・技能をどのように活用するか

前回の調査では、学び方を学ぶことができる授業への提案がなされた。今回の調査では、大学院生、学部生ともに「社会での必要性を示してほしい」という希望が多くあった。大学で得た専門知識や技能を、価値観が多様化している社会の中で、どのように活用することができるのかという学生の迷いがうかがわれた。学んでいることの有用性や意義をしっかりと捉えることは、学びの意欲にも通じる。授業以外での勉強時間の確保、図書館の活用、海外留学への関心・意欲、教員との会話などは、学びの意欲を反映する。学生が意欲をもって主体的に専門性を追究していけるような授業改善や教育環境の整備について、一層取り組むことが必要である。学生の学びを活かした地域社会貢献活動を新しい演習・実習として取り入れることなども一つの方策と考える。

(3) 学習環境について

図書館の利用状況の改善、大学が提供するパソコン環境に対する満足度の高さから、学習環境に関しては現在の改善努力を維持すること必要であることが分かる。勉強時間については半数の学部生が1時間未満と回答している。この勉強時間ではシラバスが想定する十分な予習・復習の時間にまったく足りていず、改善することが必要である。もちろん、学生にもっと勉強しなさい、と指示するだけでは不十分である。また、現状では教員とほとんど相談していない学部生が半数以上となっている。

(2) の指摘と関連するが、教員とのコミュニケーションの場を授業以外に設ける必要がある。

(新谷 ますみ・守 真太郎)

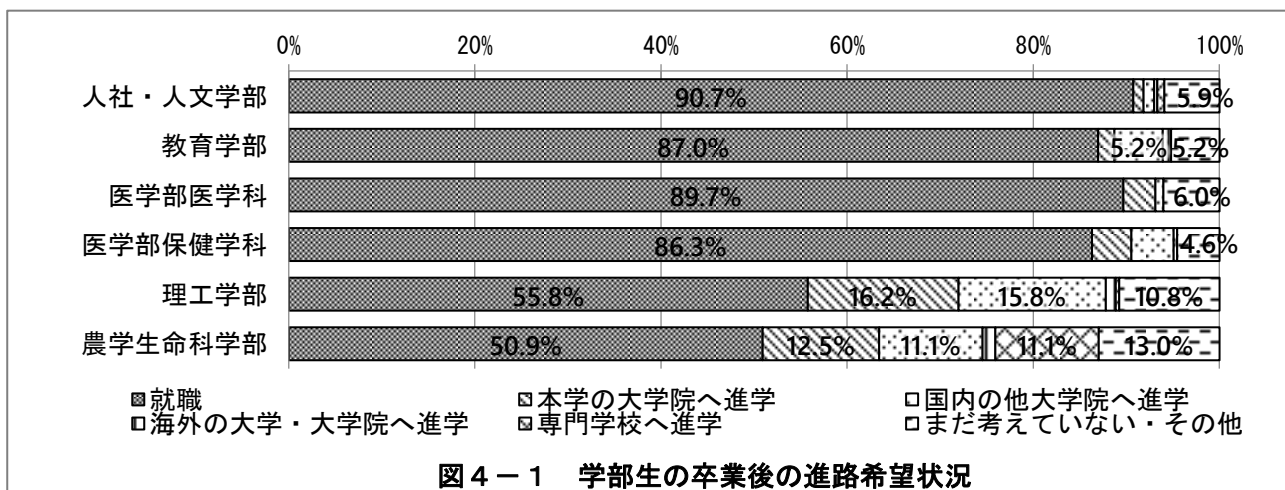
■ 第四章 弘大生の進路への希望と考え方

4. 1 学部生の卒業後の進路希望（図4-1）

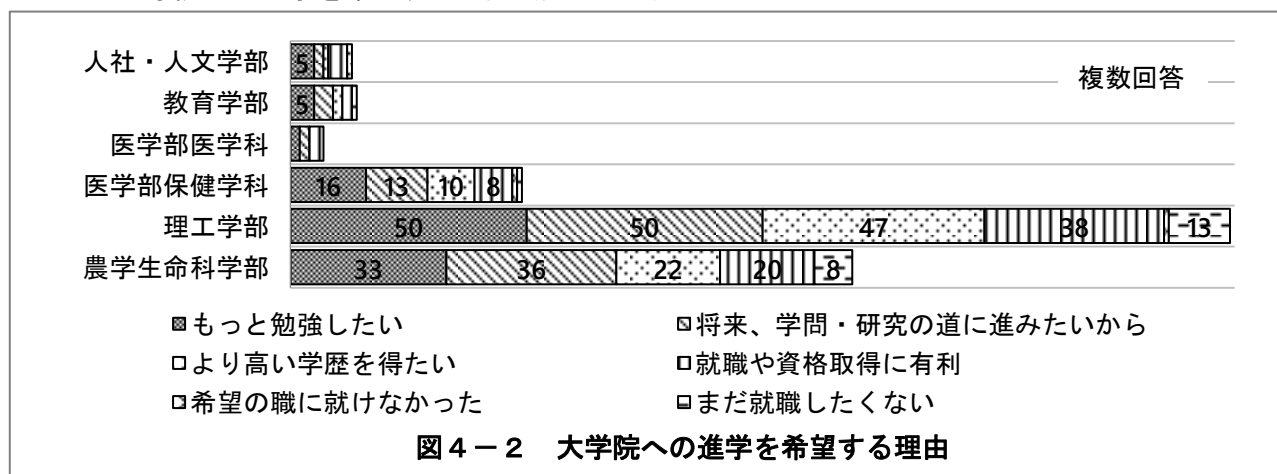
学部生の卒業後の進路希望状況を学部ごとにまとめたものが図4-1である。人社・人文学部，教育学部，医学部医学科及び保健学科では就職を希望する割合が概ね90%前後と高いのに対して，理工学部および農学生命科学部では50%台である。

本学および国内他大学も含めた大学院進学を希望する割合については，最も高いのが理工学部で合計32.0%，次に高いのが農学生命科学部で合計23.6%である。両学部とも本学大学院への志望と他の大学院への希望の割合がほぼ同程度である。他の4学部については大学院への進学希望の割合は10%に満たない。

その他の特徴として，まだ考えていない・その他の割合が理工学部と農学生命科学部で10%を超えていること，また農学生命科学部のみで専門学校への進学志望の割合が11%ほどあることである。



4. 2 大学院への進学を希望する理由（図4-2）



大学院進学を選択した学部生に，その理由について複数選択可で回答してもらった実数をまとめたも

のが図4-2である。多くの学部で「もっと勉強したいから」、「将来、学問・研究の道に進みたいから」、「より高い学歴を得たいから」、「就職や資格取得に有利だと思うから」という回答が多い。

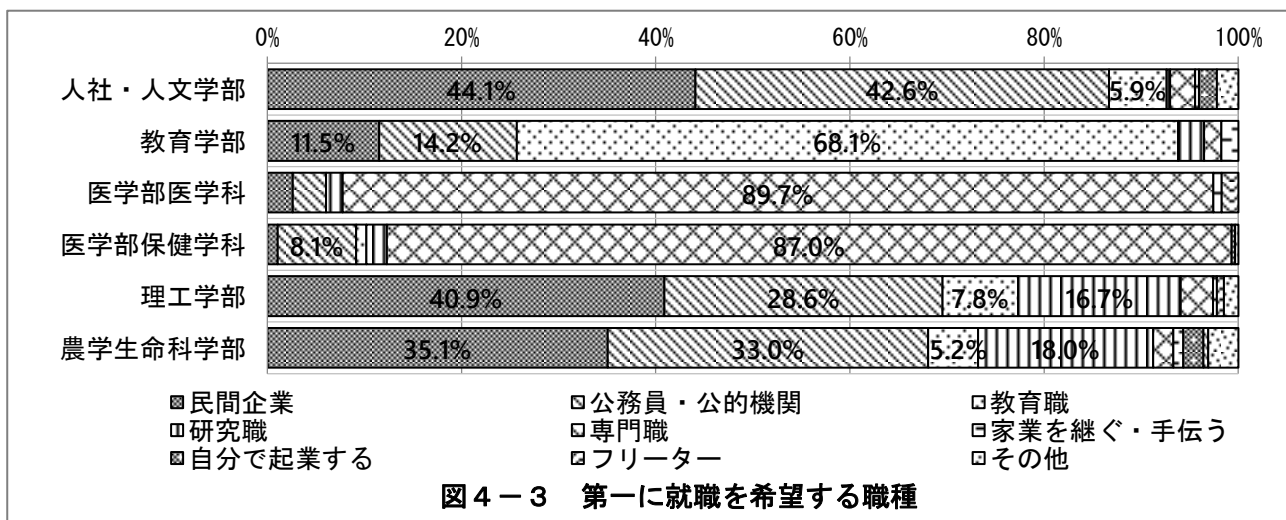
一方で、「希望の職につけなかったから」という回答は全ての学部で0または1であり、多くの学生がより良い将来を目指して大学院への進学を希望する傾向は明らかであるが、一部で「まだ就職したくないから」という回答も残る点は、引き続き留意する必要がある。

4. 3 第一に就職を希望する職種（図4-3）

図4-3は、どのような職種に就くことを第一に希望しているか、その割合を学部別にまとめたものである。民間企業への就職希望の割合が高い学部は人社・人文学部（44.1%）、理工学部（40.9%）、農学生命科学部（35.1%）である。

また、公務員や公的機関職員を希望する割合が最も高いのが人社・人文学部（42.6%）、続いて農学生命科学部（33.0%）、理工学部（28.6%）である。農学生命科学部及び理工学部では研究職を希望する割合が、それぞれ18.0%、16.7%と他の学部比べて高い。

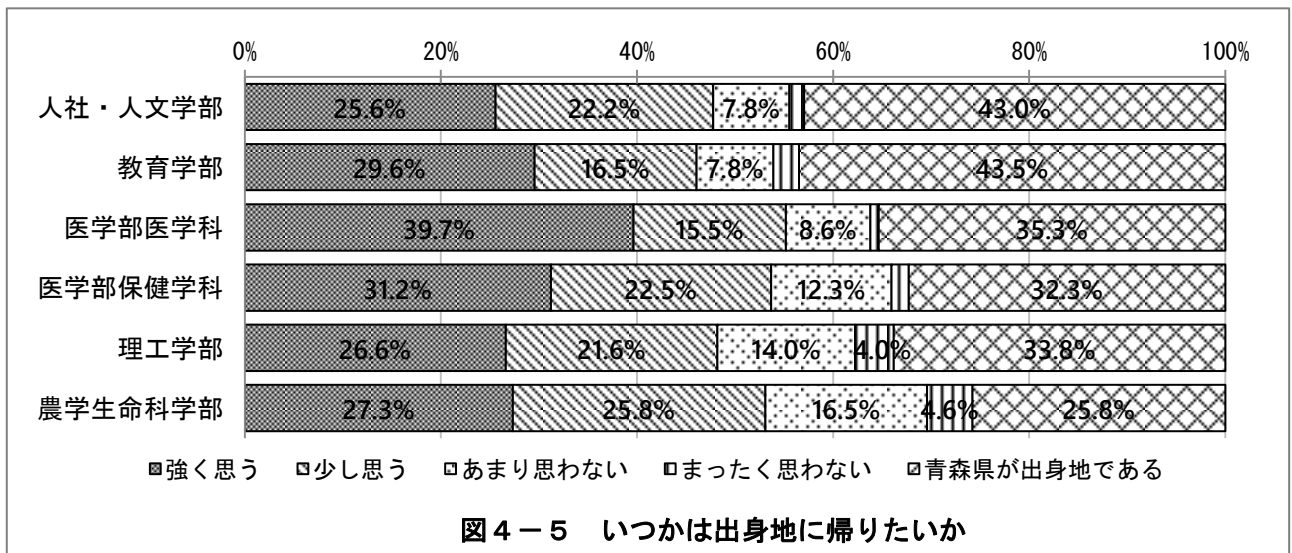
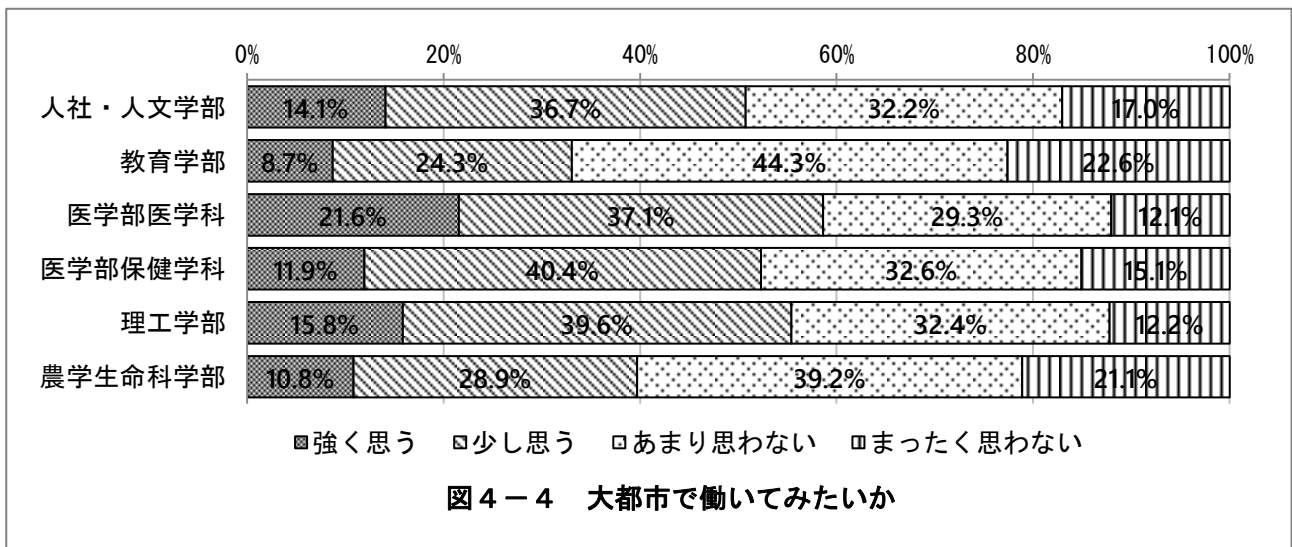
教育学部の教育職を希望する割合が68.1%と高いことや、医学部医学科及び保健学科の（医師・看護師等の）専門職を希望する割合が90%近くと極めて高いことは、それぞれの学部の特質をよく表していると考えられる。



4. 4 大都市で就労することに関する意識及び、出身地へのUターン願望（図4-4、図4-5）

大都市で働いてみたいかに対する回答をまとめたものが図4-4である。「強く思う」と「少し思う」の合計の割合が最も高いのは医学部医学科（58.8%）、続いて理工学部（55.4%）、医学部保健学科（52.3%）、人社・人文学部（50.8%）が50%を超えている。一方で、教育学部及び農学生命科学部ではその割合は低く、それぞれ33.0%及び39.7%である。

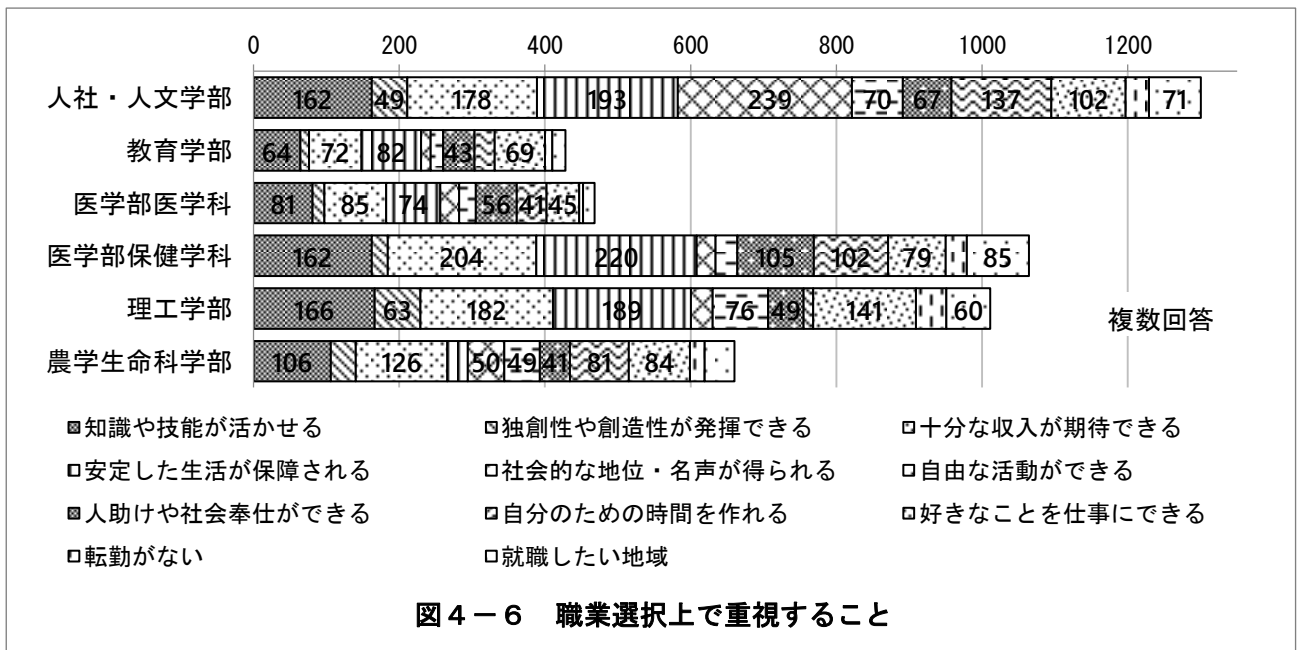
また、いつかは出身地に帰りたかに対する回答をまとめたものが図4-5である。「強く思う」と「少し思う」の合計の割合が50%を超えているのは医学部医学科（55.2%）、医学部保健学科（53.7%）、農学生命科学部（53.1%）である。50%未満の人社・人文学部、教育学部及び理工学部でも、46%以上あり、総じて出身地へのUターンの希望は大いにあることがわかる。



4. 5 職業選択上で重視することについて (図 4-6)

職業を選択する上で重視することは何かを、複数選択可で回答してもらった実数をまとめたものが図 4-6 である。人社・人文学部では、「社会的な地位・名声が得られる」を選択した学生がもっとも多く、続いて「安定した生活が保証される」、「十分な収入が期待できる」、「知識や技能が活かせる」の回答が多い。

教育学部、医学部医学科及び保健学科、理工学部では、「安定した生活が保証される」、「十分な収入が期待できる」、「知識や技能が活かせる」の回答が多く、「社会的な地位・名声が得られる」を選択した数は多くない。また農学生命科学部でも、「十分な収入が期待できる」、「知識や技能が活かせる」と回答した数は多いが、「安定した生活が保証される」と回答した数が他の学部比べて少ないことが特徴である。



4. 6 キャリアセンターの利用状況及び利用しない理由について (図4-7, 図4-8)

図4-7は、キャリアセンター利用の有無の回答の割合をまとめたものである。特筆すべきは、医学部医学科の学生では、利用しているとの回答が0であったことである。教育学部でも利用したと回答したのは8.7%であり、1割に満たない。利用していると回答した割合が最も高い人社・人文学部でも25.9%と約4分の1と低いことが気になる。就職活動中の学生だけでなく、1年生からの全学年へのアンケートであるため、一概には言えないが、全学年を通してキャリアセンターの活動の周知を検討する必要があると思われる。

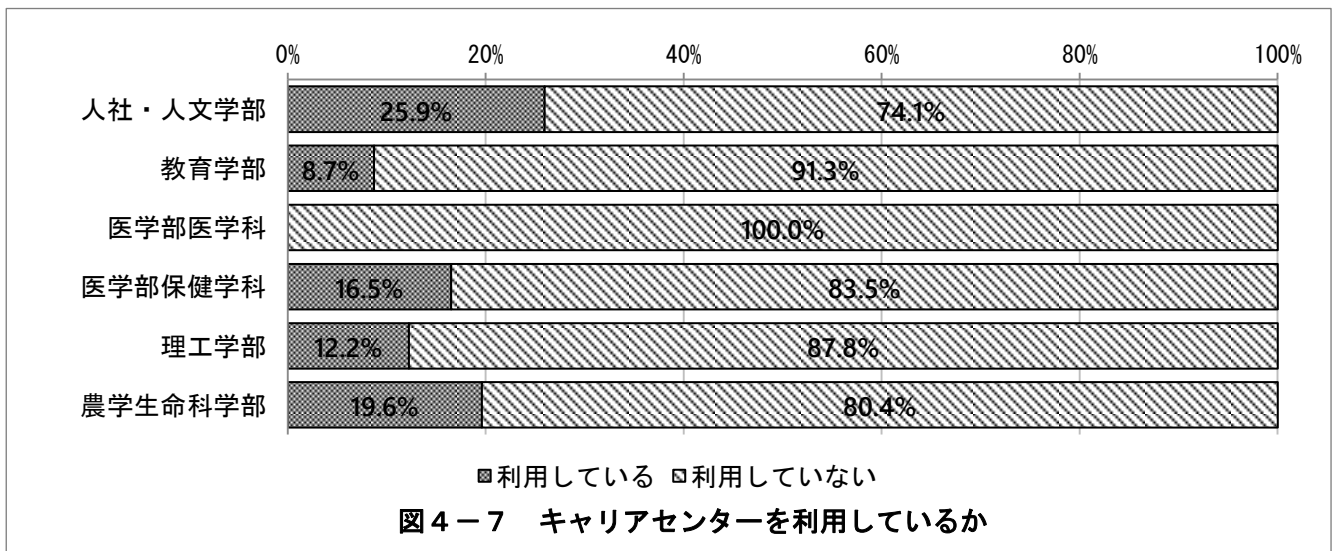
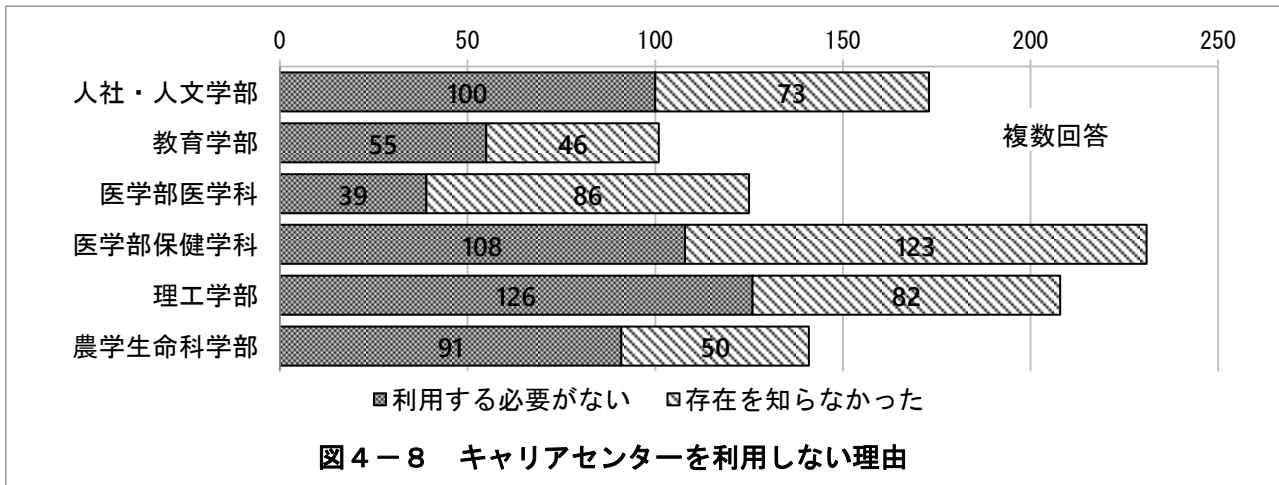
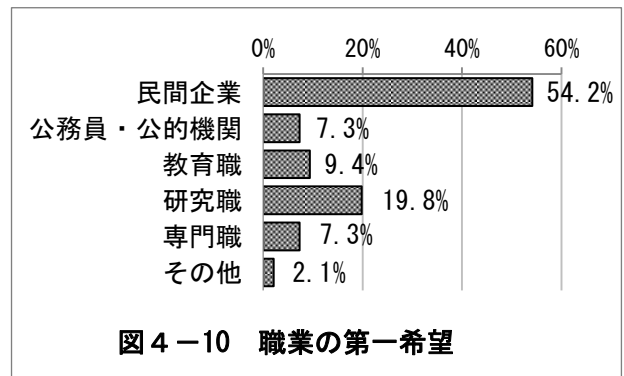
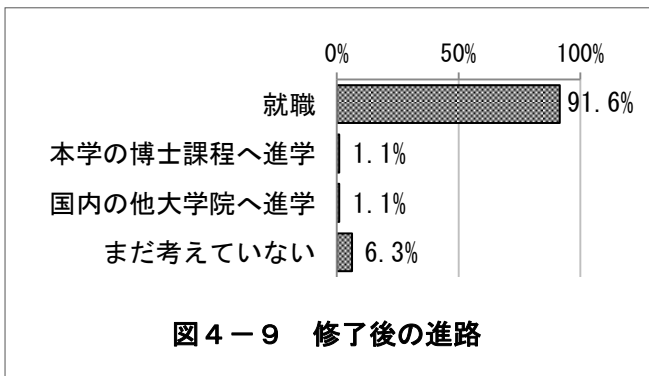


図4-8は、キャリアセンターを利用しないと回答した学生に、その理由を複数選択可で回答してもらった数である。医学部医学科では「存在を知らなかった」という回答の割合が多い。



4.7 大学院生の進路への希望と考え方 (図4-9, 図4-10)

大学院生の修了後の進路については、ほとんどが就職を希望している。また、職種別に学部生と大学院生を比較すると、民間企業を希望する学部生 25%に対し大学院生は 54.2%、専門職を希望する学部生 30.0%に対し大学院生は 7.3%、教育職を希望する学部生 10.2%に対し大学院生 9.4%であった。



4.8 大学院生の大都市で就労することに関する意識及び出身地へのUターン願望

(図4-11, 図4-12)

図4-11は、大都市で働いてみたいかに対する回答をまとめたものである。大都市への就職意識については、大都市で働いてみたいと思う大学院生は「強く思う」「少し思う」を合わせて50.8%であった。「あまりそう思わない」「全くそう思わない」を合わせて49.2%であり、前回調査54.1%から僅かながら地元志向が低下した。

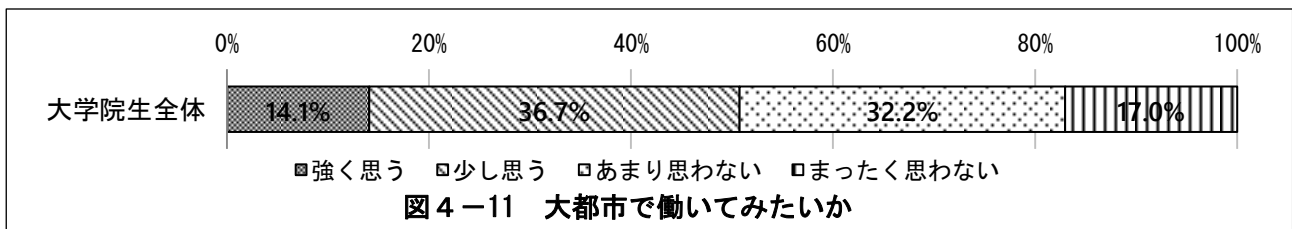
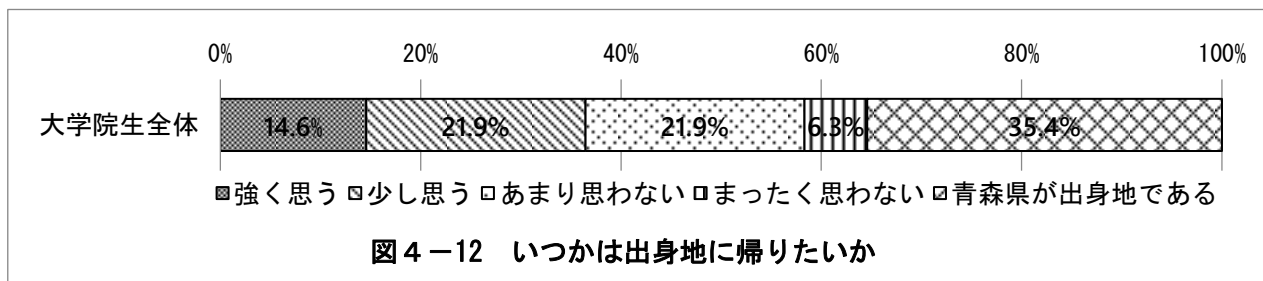
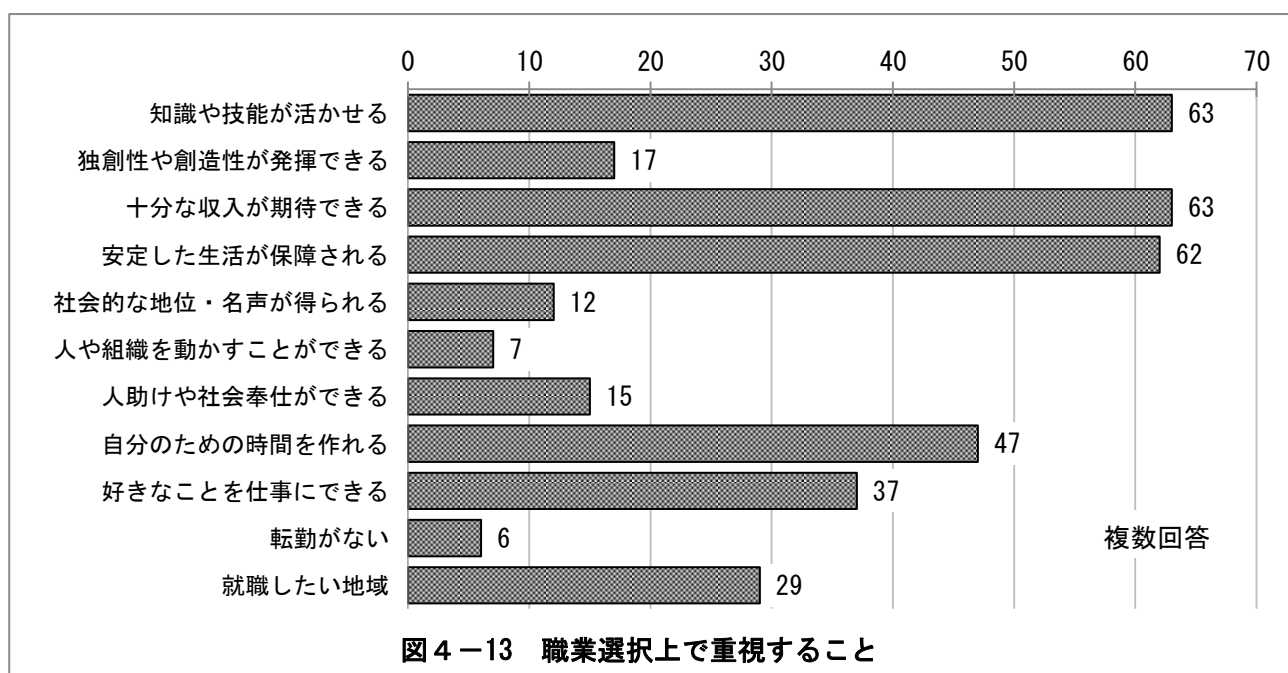


図4-12は、大都市での就職の後、いつかは出身地に帰りたいかをまとめたものである。「強くそう思う」「少しそう思う」「青森県が出身である」を合わせて71.9%となり、前回調査時81.1%より若干低下したものの、出身地への思い入れの強さが伺える結果となった。



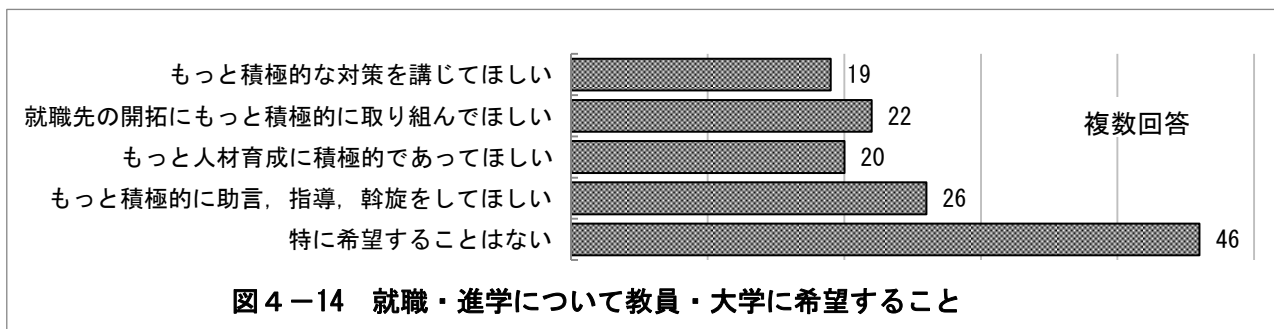
4. 9 大学院生が職業選択上で重視することについて（図4-13）

図4-13は、大学院生が職業選択上で重視することをまとめたものである。前回調査と同様の結果となっており、大学院で学んだ知識や技能を職業に活かし、十分な収入や安定した生活を望んでいることが伺える。



4. 10 大学院生が就職・進学について教員・大学に希望すること（図4-14）

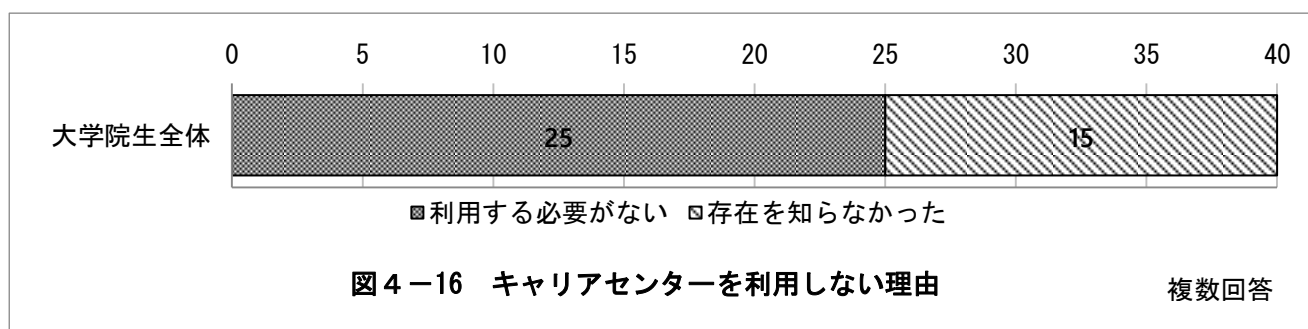
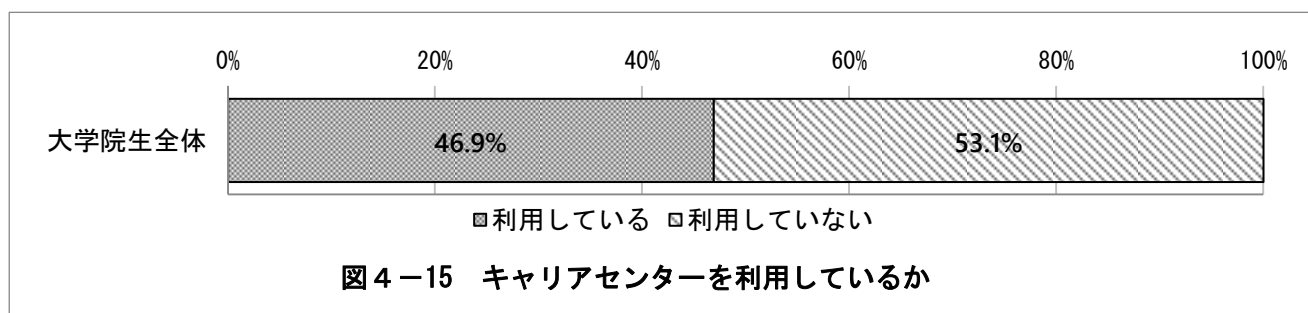
図4-14は、大学院生が就職・進学について教員・大学に希望することをまとめたものである。今回も前回とほぼ同様の傾向を示しており、「特に希望することはない」が46%と最も多い。前回調査より8%高くなっており、大学や教員に頼らずとも自律的に就職活動を行っている大学院生が多いものと思われる。



4. 11 大学院生のキャリアセンターの利用状況及び利用しない理由について（図 4-15、図 4-16）

図 4-15 は、大学院生のキャリアセンターの利用状況、図 4-16 はキャリアセンターを利用しない理由について、まとめたものである。

回答者のほぼ半数が「利用していない」と選んでおり、また、「利用していない」と選んだ回答者のうち、6割が「利用する必要がある」を選んでいることから、キャリアセンターに頼らなくても就職先を選択できているものと推測される。



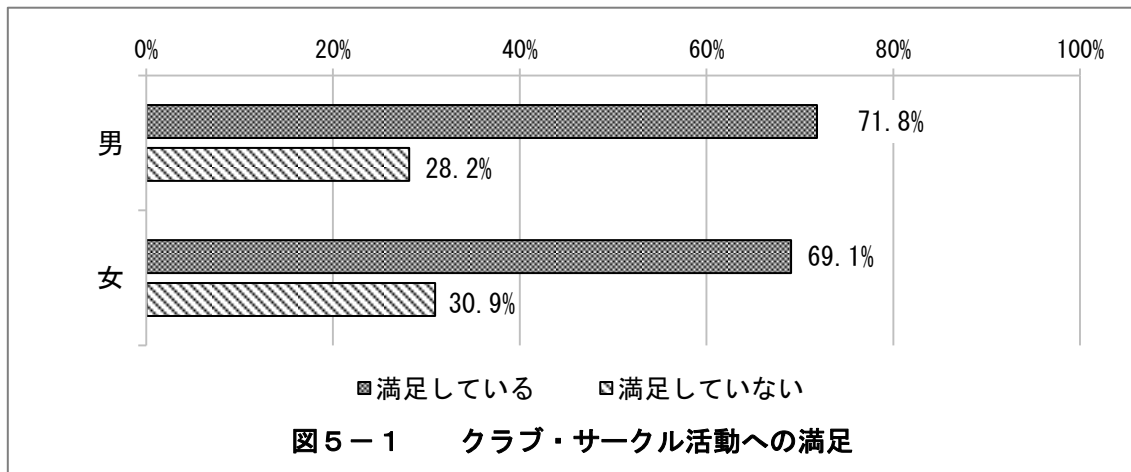
（葛西 真寿・中村 剛之）

■ 第五章 弘大生の学生生活と人間関係

学生がどのような大学生活を行ない、どのような人間関係を築いているのかは、学生生活の満足度にとって重要な意味を持つ。とくに、学生を取り巻くメディアや、グループ活動のあり方に大きな変化が生じつつある現在、彼・彼女らの生活・人間関係の実態を把握しておく必要がある。本章では、学生生活実態調査の結果に基づき、以下の6点を検討する。具体的には、「1. クラブ・サークル活動」、「2. 人間関係」、「3. 授業の空き時間の過ごし方」、「4. 社会への関心について」、「5. SNSの利用状況とトラブルについて」、「6. 通学環境について」を取り上げる。

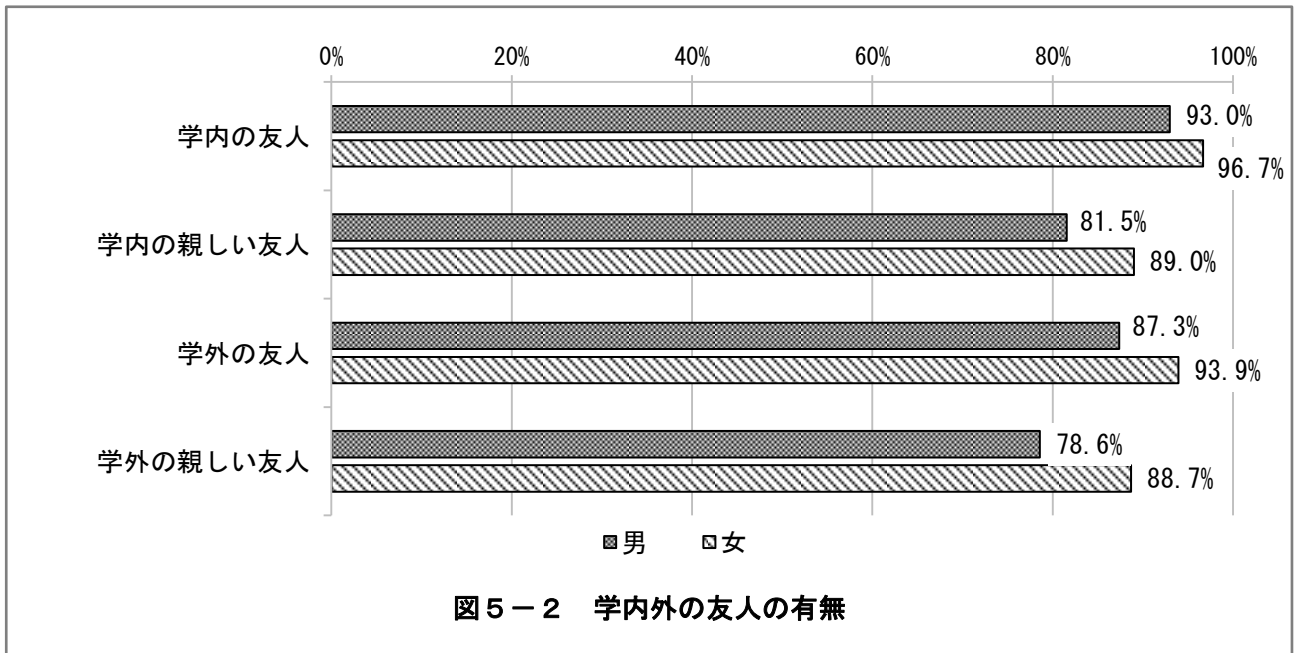
5. 1 クラブ・サークル活動 (図5-1)

クラブ・サークルに所属している割合は、76.5%であり、前回の78%と同程度であった。クラブ・サークルに所属している人に対し、大学からの支援に満足しているかを尋ねた結果、はいと答えたのは70.3%、いいえと答えたのは29.7%であった。また、いいえと答えた理由については、「活動場所が少ない」、「空調設備が整っていない」、「サークル棟の老朽化」などの施設面に関するものが78.8%と大半を占めていた。

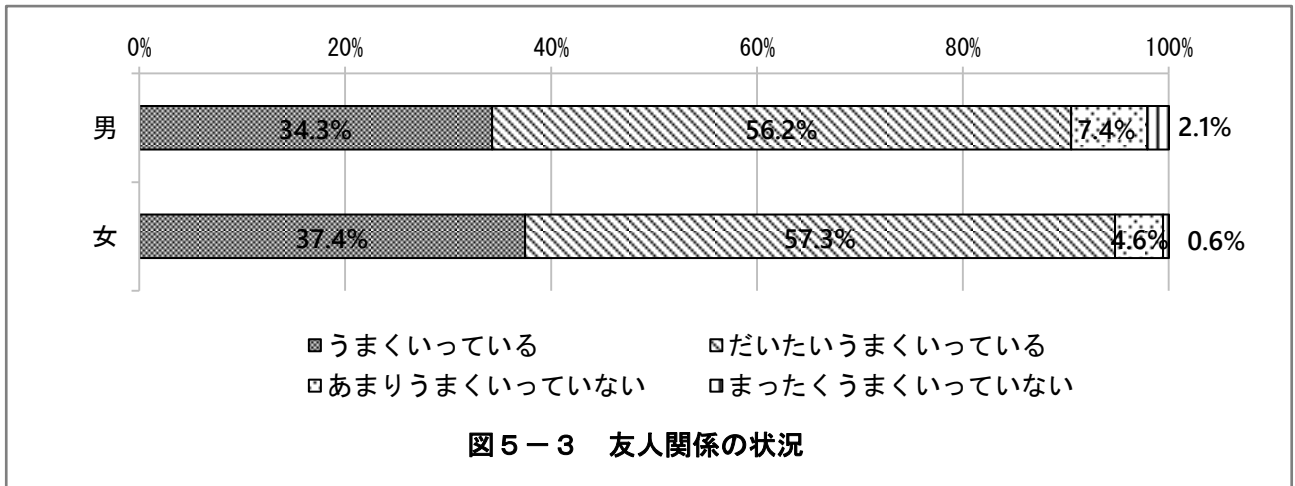


5. 2 人間関係 (図5-2, 図5-3)

学内外の友人の有無は、図5-2の通りである。女性の9割近くが学内外に友人や親しい友人がいると回答した。一方、男性は約9割が学内外に友人がいると回答し、約9割が学内外に親しい友人がいると回答した。

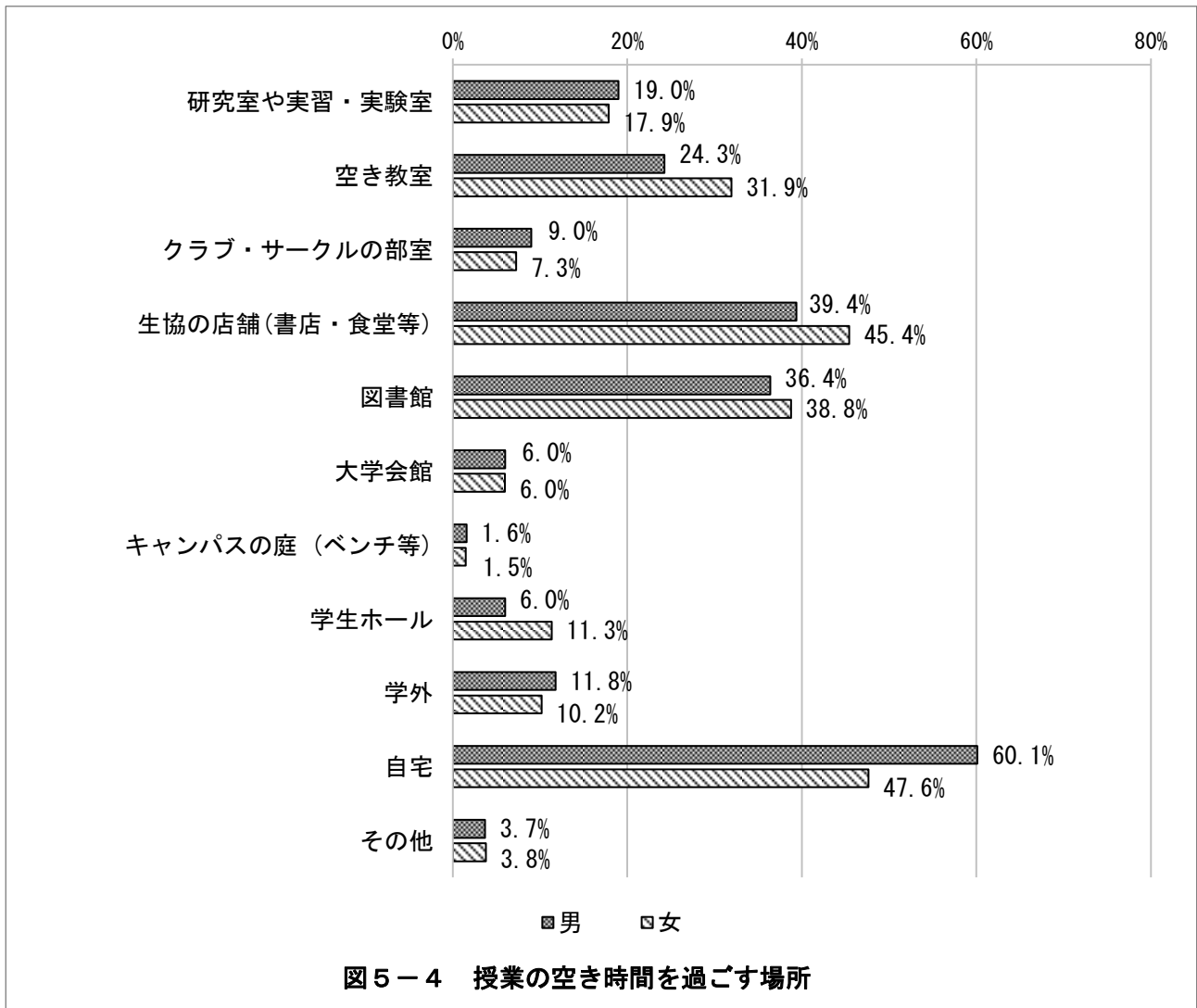


友人関係の状況については、男女ともに約9割が「うまくいっている」あるいは「だいたいうまくいっている」と回答した（図5-3）。このような回答傾向は、前回調査と同様であり、回答者が良好な友人関係を築いていることが伺える。



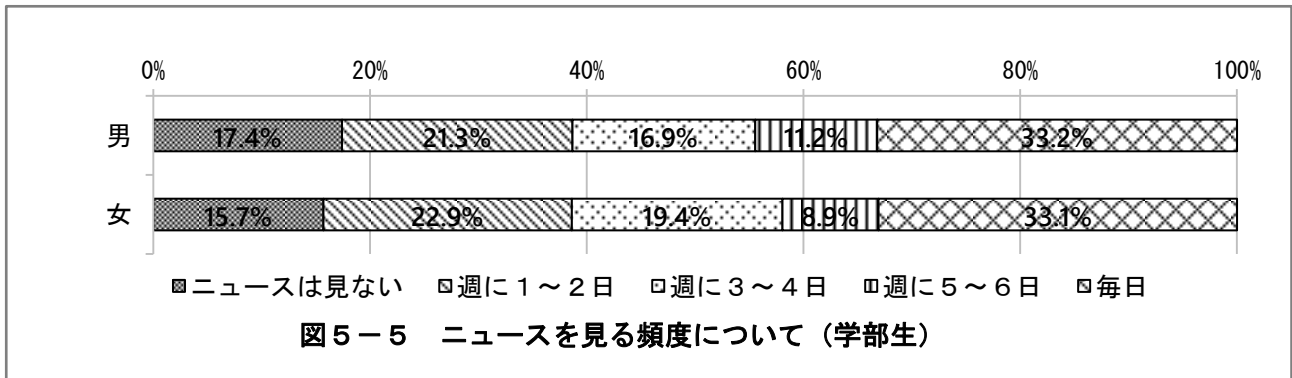
5.3 授業の空き時間の過ごし方（図5-4）

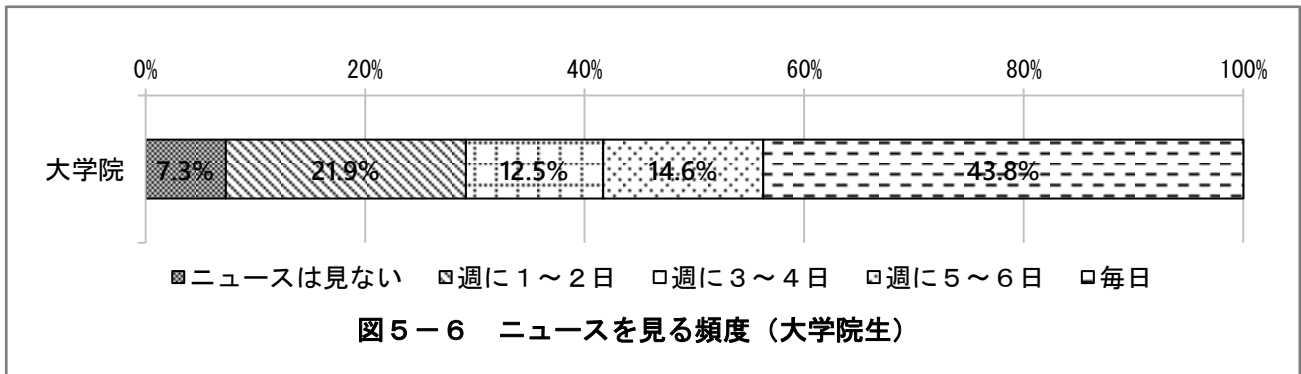
平日の授業空き時間をどこで過ごすかについては、図5-4の通りである。最も多かった回答は自宅であり、男性では60%、女性では48%が授業の空き時間を自宅で過ごしていた。次に多かった回答は、生協の店舗や図書館であり、30%~45%程度の学生が空き時間をこれらの場所で過ごしていた。半数以上の学生が授業の空き時間を自宅で過ごしていることから、空き時間を過ごす場所や自学自習をするための場所が十分ではないことが懸念される。今後、これらの点を精査し、改善していくことが望まれる。



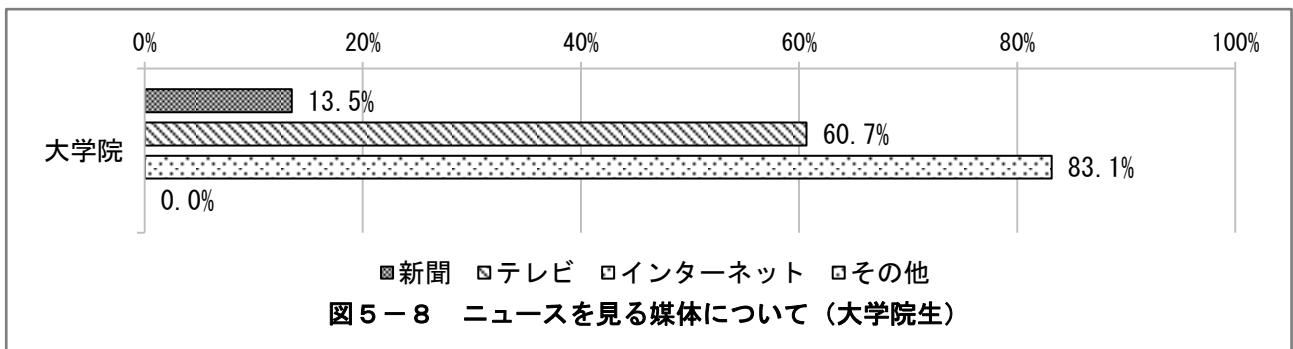
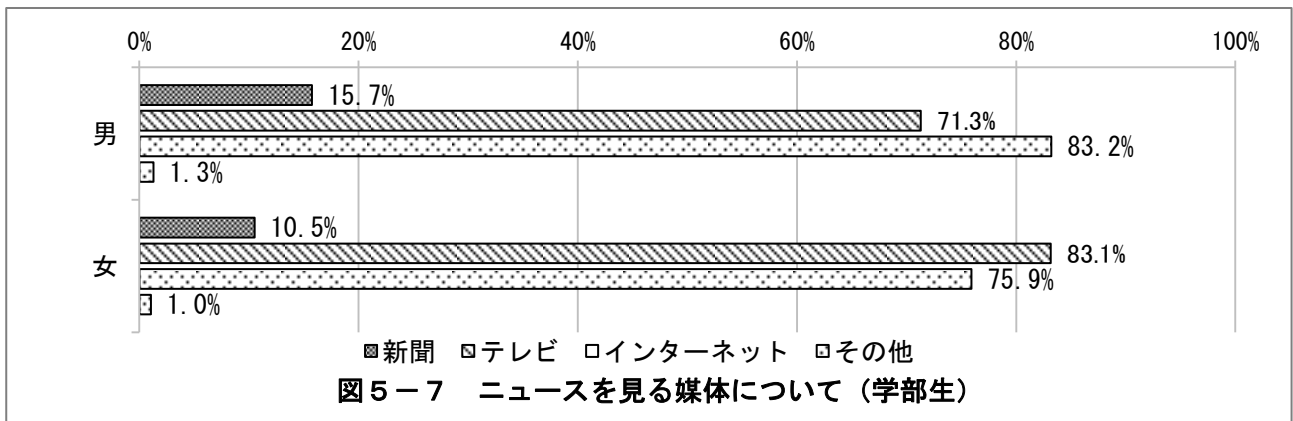
5. 4 社会への関心について (図5-5, 図5-6, 図5-7, 図5-8, 図5-9)

新聞, ラジオやテレビなどの従来のメディアに代わって, インターネットによる情報収集, 娯楽コンテンツや SNS の利用が増えてきている。この項では, ニュースに関する弘大生の興味や関心についての調査結果を述べる。

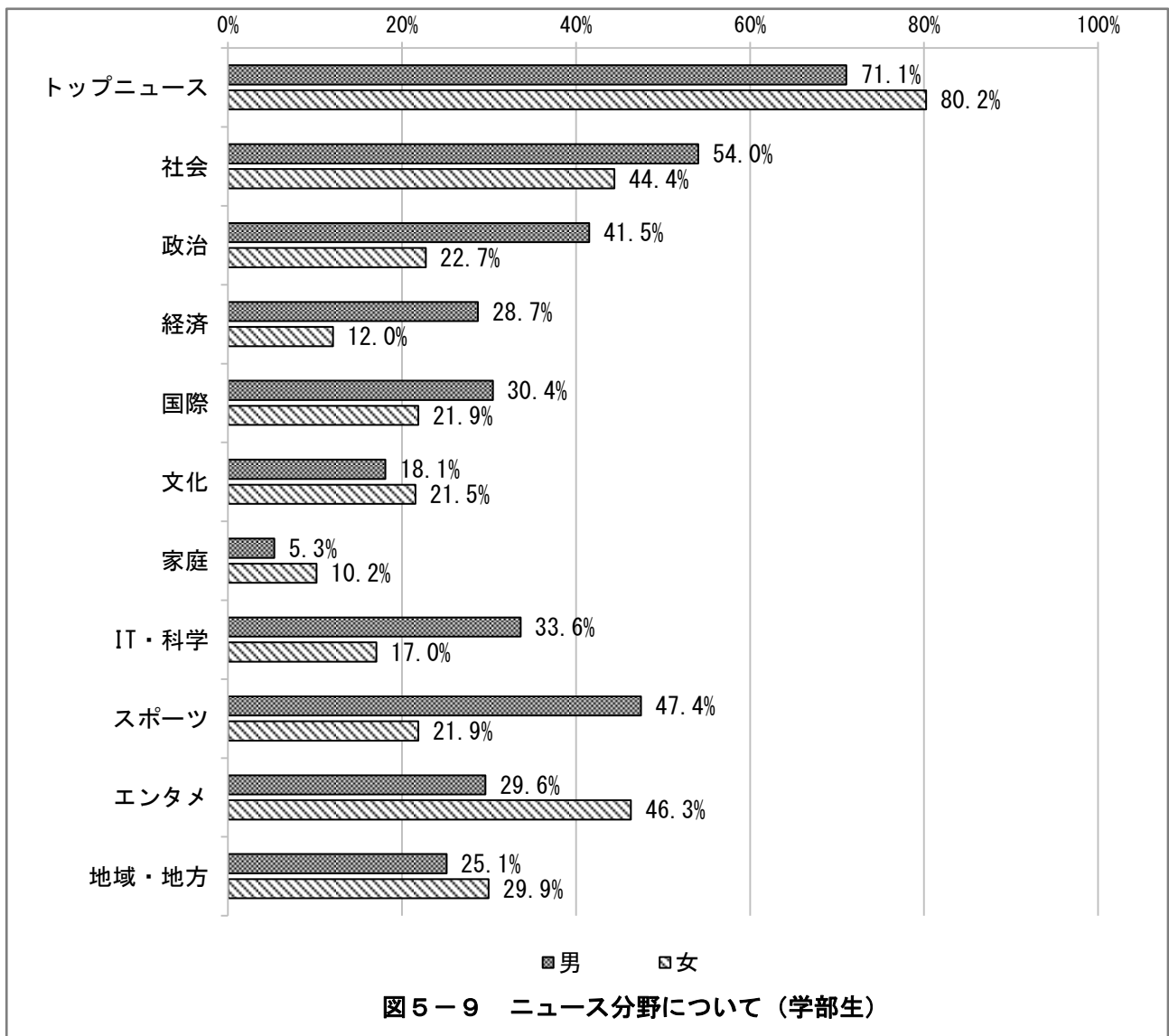




はじめに、普段どの程度の頻度でニュースを見ているかを聞いたところ、8割以上の学生が週に1～2日以上ニュースを見ているという結果になった。大学院生の場合、学部生よりもニュースを見る頻度が多く、情報を集める習慣があるように思われる。



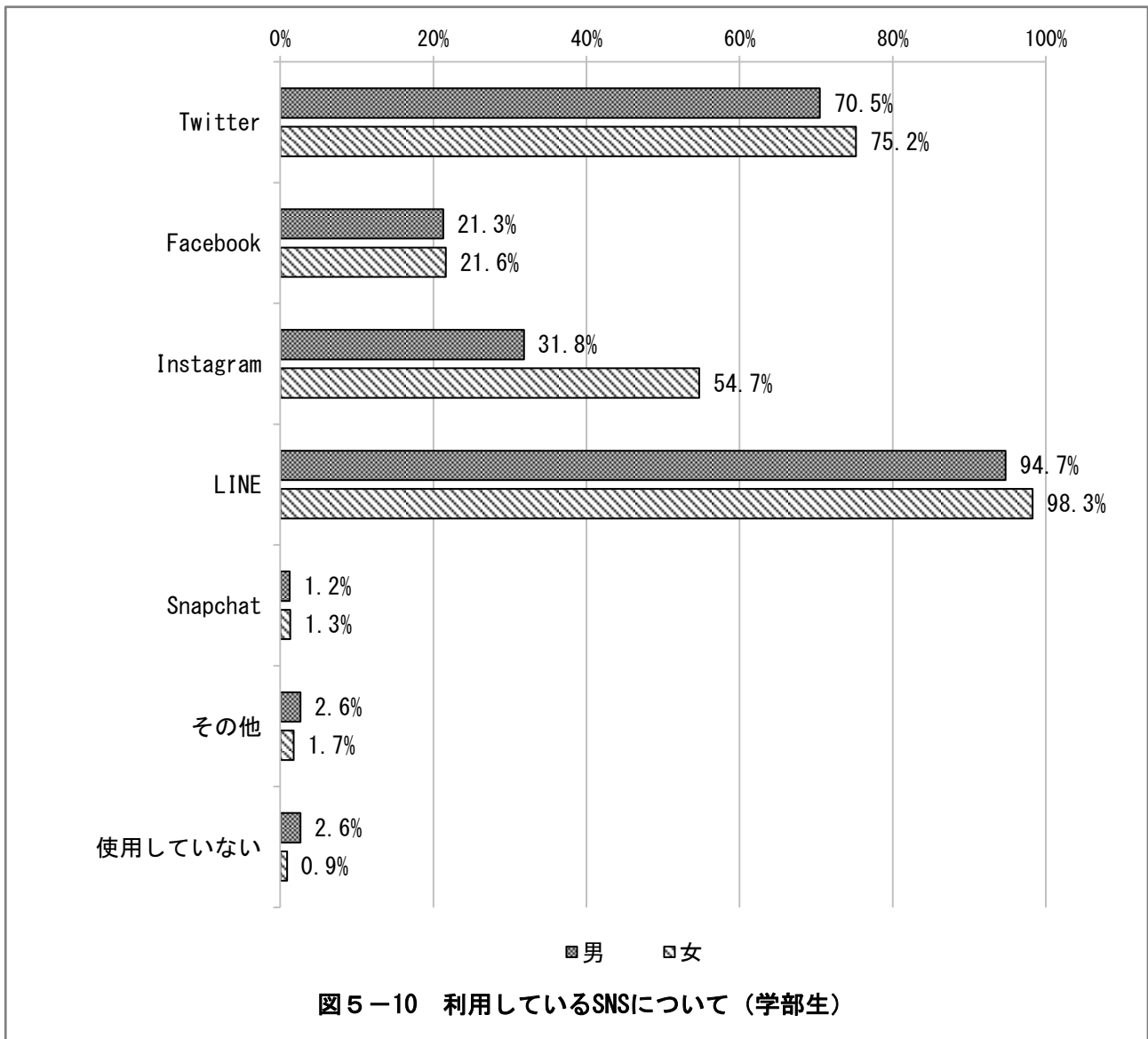
続いて、ニュースを見る媒体について尋ねたところ、多くはテレビ、インターネットによるものであった。第6回(2010年)、第7回(2014年)の調査では新聞を見ると答えた者がそれぞれ約50%、30%であり、徐々に減少してきていたが、さらに減少していることが明らかになった。一方、オンラインコンテンツが充実してきたこともあり、インターネットでニュースを見る機会が増えてきている。なお、その他にはSNS やスマートフォン・携帯電話と回答されていたものがあつたが、これらはインターネットに含んで算出したため、その他に該当するものはラジオと回答したもののみである。



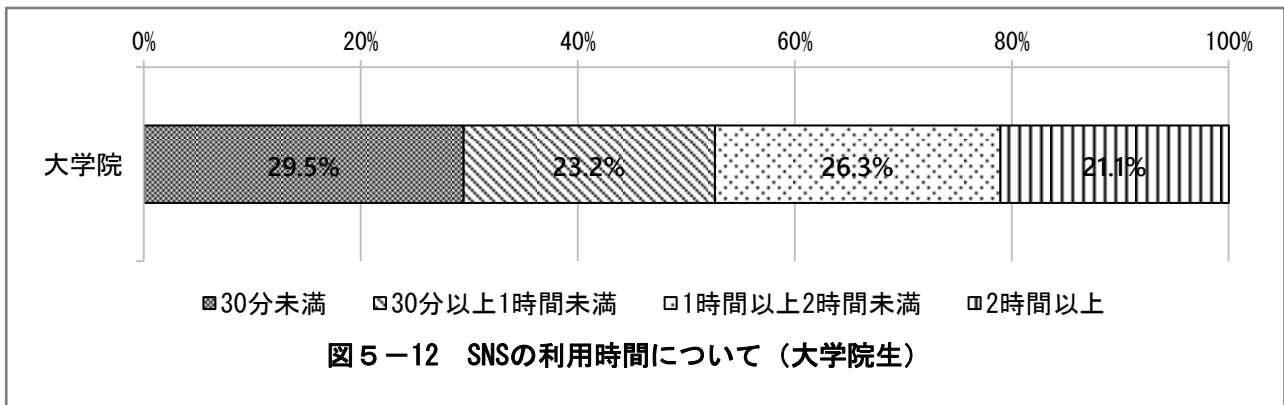
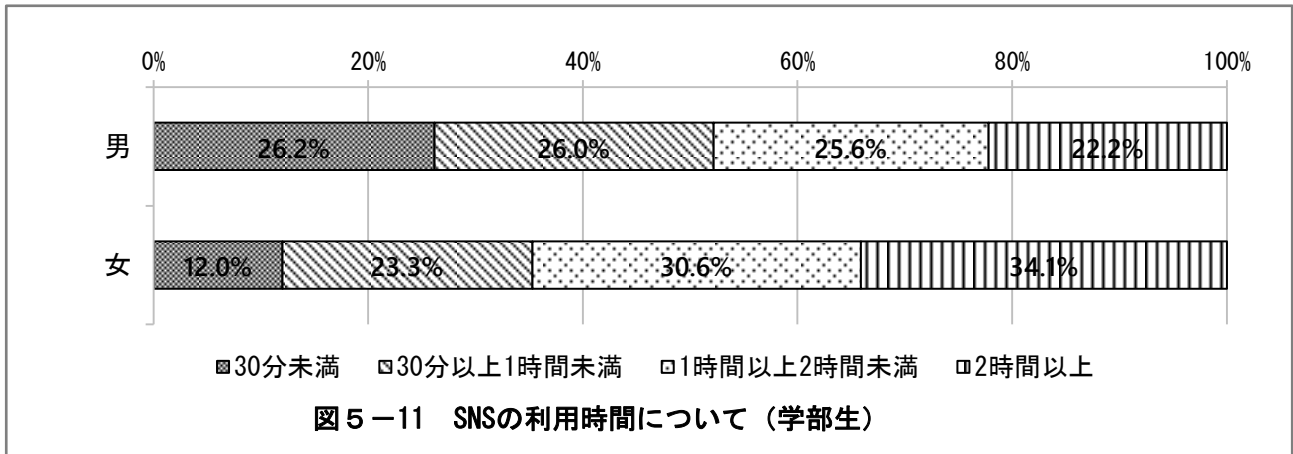
次に、どのような分野のニュースを見聞きするかを調査した。学部生、大学院ともに傾向は変わらなかったため、この項では学部生の結果を用いて説明する。第6回、第7回ともにトップニュースの割合が多く、今回も同様の結果となっている。第7回と比較すると、全体的に様々な分野のニュースを見ている傾向にあり、特に社会、政治・経済や国際関係が大幅に伸びており、社会情勢に対する関心が高いことがうかがい知れる。

5. 5 SNSの利用状況とトラブルについて (図5-10, 図5-11, 図5-12, 図5-13, 図5-14)

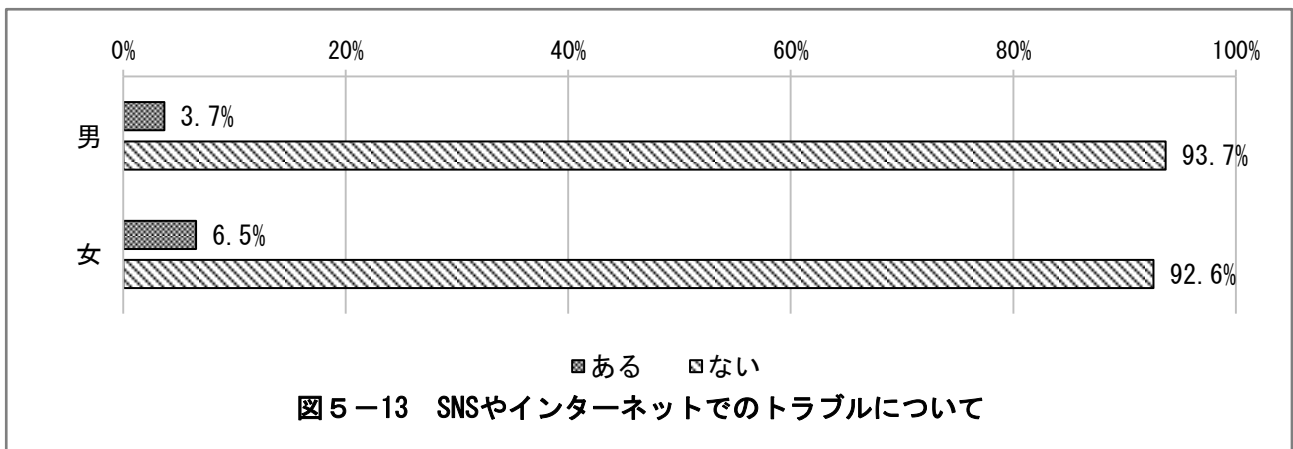
インターネットの利用増加に伴い、SNSの利用が当たり前となってきている。今回の調査では、どのようなSNSを、どの程度利用しているかを調査した結果について報告する。



今回の調査では、利用者数が減少している Mixi を項目から除外し、代わりに Instagram と Snapchat を追加した。前回の調査でも LINE の利用者数は男女別でそれぞれ 90.9%、94.5%であったが、今回はさらに増加し、それぞれ 94.7%、98.3%となった。Twitter に関しても同様に、男女いずれでも増加していたが、Facebook に関しては、それぞれ 33.9%、42.1%から 21.3%、21.6%と減少していた。今回新たに調査項目に加えた Instagram に関しては、日本語版のリリースが 2014 年であり、前回の調査時にはまだ普及していなかったが、今回の結果から女子学部生では 54.7%と利用者が多いことがわかった。これらの傾向は大学院生でも同様であった。



SNSの普及にしたがい利用時間も増加していることが想定された。実際に前回の調査では2時間以上利用する割合は男女でそれぞれ10.1%、17.3%であったが、今回は22.2%、34.1%とほぼ倍増していた。この傾向は大学院生の場合も同様であるが、学部生と比較して30分未満の回答が多かった。



SNS やインターネットの利用拡大に伴い、トラブルの増加が予想される。前回の調査結果では、男女別でそれぞれ 5.8%, 7.2%であったが、今回は 3.7%, 6.5%とわずかではあるが減少傾向にあった。

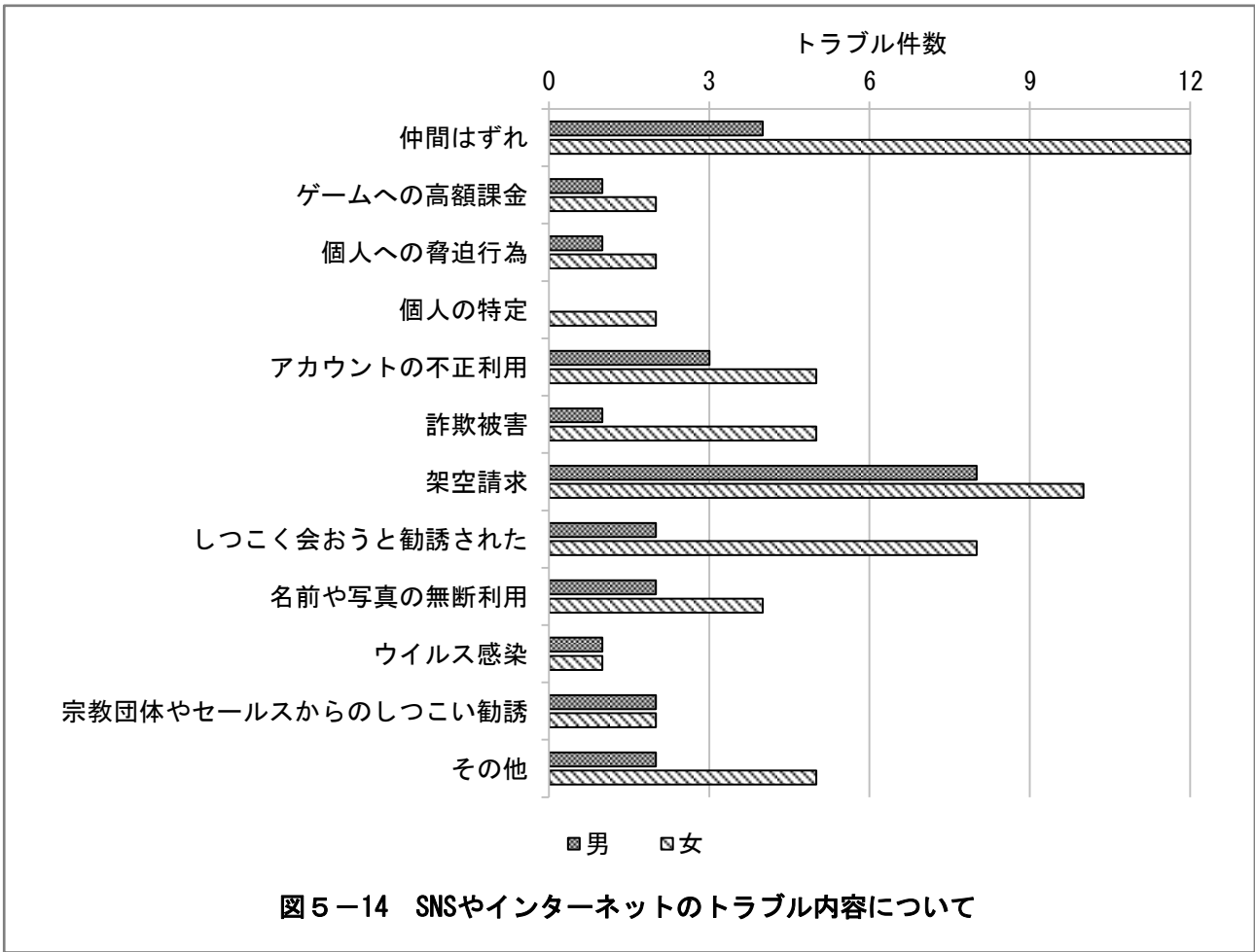
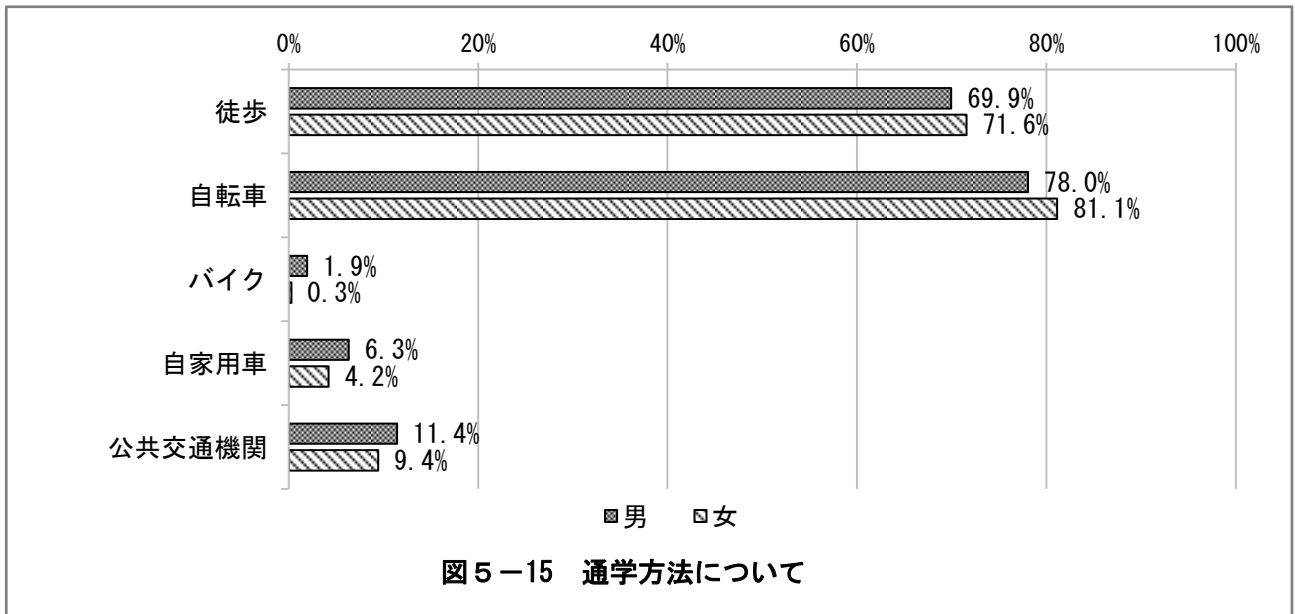


図5-14 SNSやインターネットのトラブル内容について

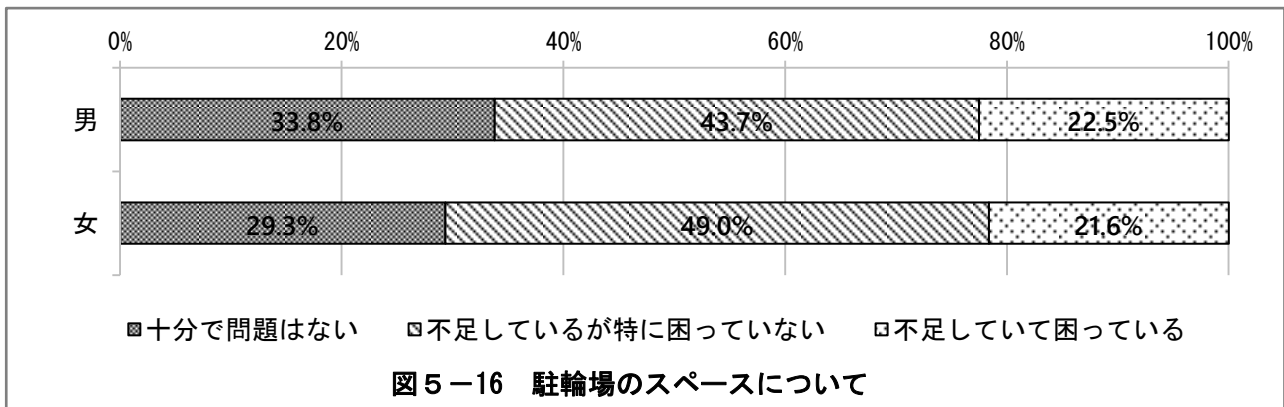
SNS やインターネットにおけるトラブル内容としては、仲間はずれが特に女子学部生で多かった。また、架空請求されたケースが前回同様多くなっている。

5. 6 通学環境について (図5-15, 図5-16)

本学のある弘前市は、都市圏と比較すると公共交通機関の利便性に乏しく、多くは大学近辺に住み、徒歩や自転車により通学するのが一般的である。中には、近隣の自治体から電車やバスなどで通学している学生もいると考えられるが、冬は大雪のせいで交通網が麻痺することもあり、利便性を考え、自家用車で送迎してもらったり自ら運転して通学する学生も一定数いると予想される。その調査結果について以下に述べていく。



弘前の冬は雪のせいで自転車通学できなくなることから、徒歩通学が多くなるため、自転車と徒歩による通学が最も多くなっている。この傾向は大学院生でも同様であるが、大学院生の場合、研究や調査活動に自由な移動手段を必要とする場合もあるためか、バイク、自家用車での通学がそれぞれ5.2%、8.3%とやや高くなっている。



自転車での通学が多いことから、駐輪スペースが十分かどうかは利便性に関わる問題である。学部生の男女ともに、8割弱が特に困っていないと回答しているが、その半数以上は不足だと感じている。これは文京町、本町キャンパスによっても認識の違いがあることも予想される。学部別での回答を調査することで、どの駐輪場の拡大が必要であるかを明らかにする必要がある。

5. 7 まとめ

本学の学生の大半は、学内外に友人や親しい友人がおり、友人関係がうまくいっていた。しかし、大学生活において友人関係が果たす役割（サポートなど）は大きいことを考えれば、その割合は少ないものの、大学内に友人がいないと回答している人がいることも看過できない。大学生活の中で学生が孤立しないようなサポートを大学が提供していく必要があるであろう。

また、授業の空き時間を自宅で過ごす学生が多かった。また、サークル活動について、活動場所など施設面に関する不満が挙げられていた。これらのことから、学生が大学の施設利用を十分にできていないことが伺える。その原因が大学にあるか、学生にあるかは本調査の結果から断定することはできないものの、大学の施設をいかに活用するかは検討する必要があるだろう。

大学生時代は高度な専門分野の勉強だけではなく、社会人になるための準備期間と考えることもできることから、客観的に社会を見る習慣や能力を養っていく必要がある。現代は情報化社会であり、様々なニュースを様々な媒体でいつでもどこでも入手することができるようになってきている。実際にテレビの次にインターネットからニュースを入手している割合が前回よりも多くなった。また、社会、政治・経済、国際に関するニュースを見る割合が前回よりも多くなってきていることから、刻々と変わる社会情勢への興味が高まっているものと考えられる。

情報化社会に伴い、双方向を持つ SNS の利用が非常に多くなってきており、特に LINE がメール、電話と同等以上の使用頻度になっているといえる。また、不特定多数に発信できる Twitter や Facebook などの利用も多いことから、トラブルに巻き込まれる可能性がある。SNS のトラブルに遭遇した割合は前回よりも減少傾向にあるが、巻き込まれないように情報リテラシーの教育・普及活動に取り組む必要性があると同時に、学生自らが巻き込まれないように、使用していくことが重要であると考えられる。

本学の学生は、寮、下宿や大学近辺のアパートに住んでいることが多いことから、徒歩や自転車での通学の割合が多くなっている。自転車での移動は便利な一方で、安全面での問題や交通ルールの順守など、気を付けなければいけない問題もある。いずれのキャンパスも近辺は道路が狭く、車の交通量も多いため、十分注意して通学する必要がある。さらに、冬期間は自転車での通学は危険であるため、不可能になることから徒歩通学になると思われ、さらなる注意が必要である。次回は、駐輪場のスペース以外にも通学に関わる問題についての調査をする必要がある。

(古村 健太郎・下山 修司)

■ 第六章 弘大生の健康

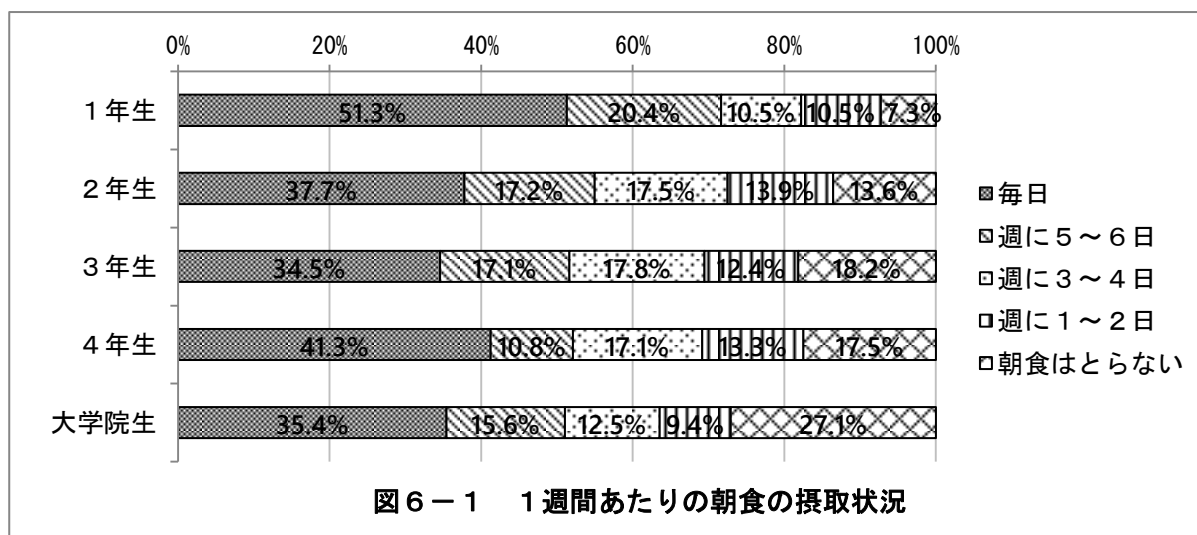
弘前大学の学部生と大学院生の健康について、基本的な生活習慣、心身の健康状態、悩みの3つの視点から述べる。

6. 1 基本的な生活習慣

(1) 朝食 (図6-1)

朝食習慣については、1週間あたりの摂取頻度を調査した。

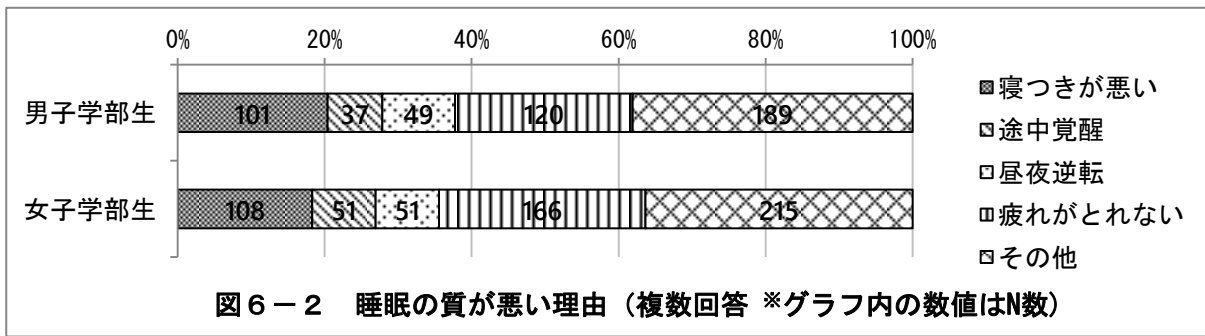
「毎日」と「週に5～6日」を合わせた割合は、学部全体で59.4%、大学院ではそれよりやや少ない51.0%であった。男女別では、男子学部生が49.3%、女子学部生が61.2%、大学院生が61.4%であった。その一方で、朝食を「とらない」学生は、男子学部生が11.6%、女子学部生が12.6%、大学院生が27.1%であった。全体を通じて女子学生の方が、男子学生より朝食を摂取する日数が多い傾向であった。学年別の摂取頻度は、1年生が最も高い傾向であった。



(2) 睡眠 (図6-2)

睡眠時間については、「7～8時間」が学部全体で59.5%と多く、大学院生が「6時間以下」が39.6%であった。

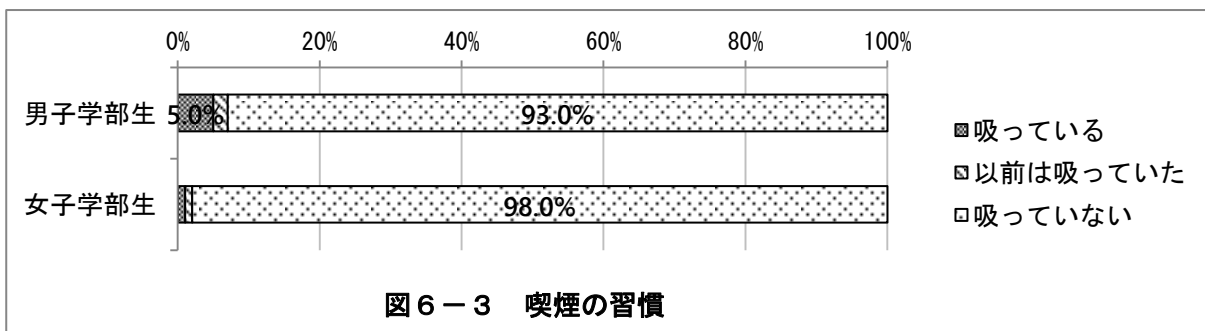
また、睡眠の質については、全体の32.1%は睡眠状況が「悪い」と回答し、その理由として「疲れがとれない」が70.8%と最も多く、次いで「寝つきが悪い」51.7%、「昼夜逆転」24.8%、「途中覚醒」21.8%であった。



(3) 喫煙 (図 6-3)

本学では、平成 18 年よりキャンパス内は禁煙となっている。

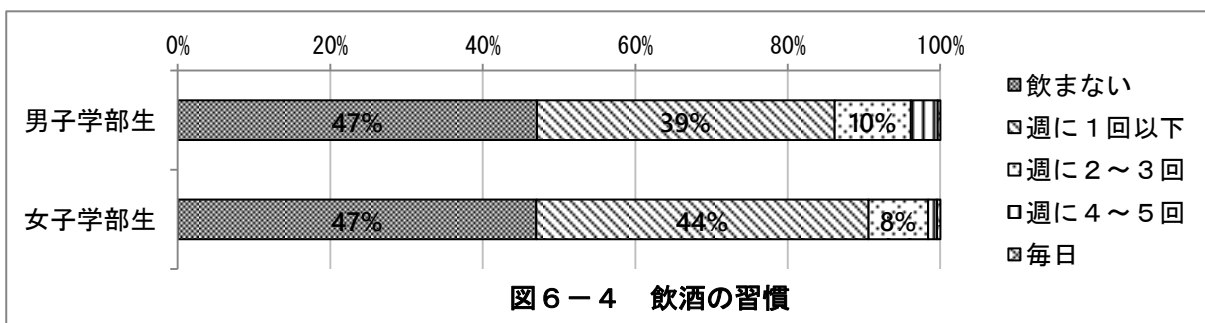
大学院生が 39.6%と高く、次いで男子学部生 19.7%，女子大学院生 16.1%であり、前回の調査よりやや増加傾向にあった。また、喫煙者の 1 日あたりの本数は、男子大学院生は 10 本が多い傾向であった。



受動喫煙の機会が、1 週間当たりどれくらいあるかについては、「毎日」と「3～6 日」を合わせた割合は、男子学部生が 20.7%，女子学部生や大学院生が 16.1%であった。受動喫煙の比率は前回の調査とほぼ同水準であった。

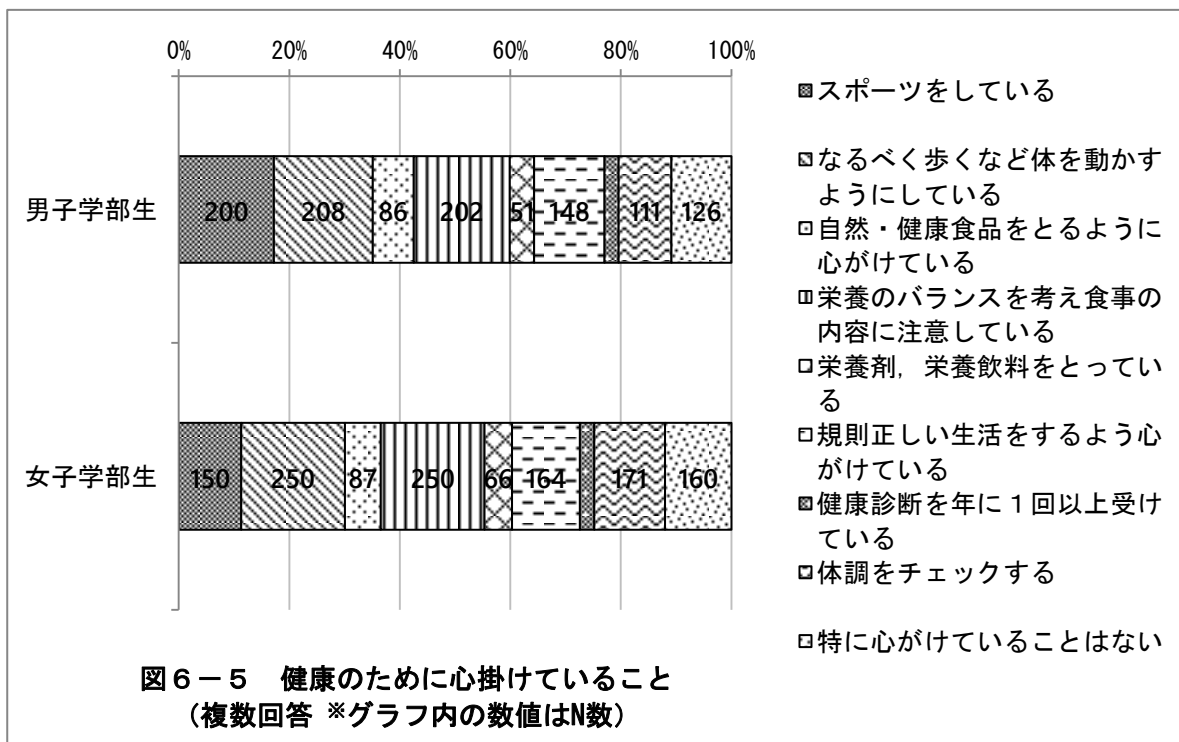
(4) 飲酒 (図 6-4)

飲酒習慣について、1 週間あたりの頻度は、「週に 1 回以下」が 41.5%と最も多く、大学院生は 25.0%であった。



(5) 健康のために心がけていること (図6-5)

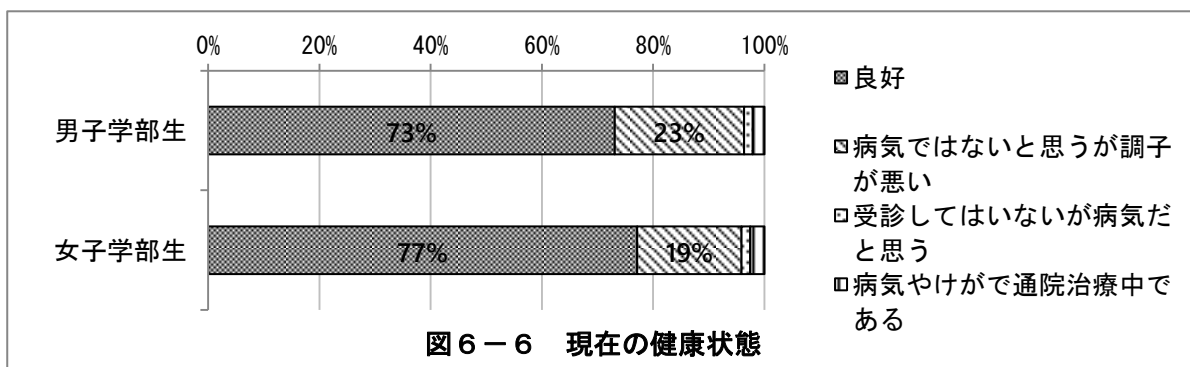
ふだん健康のために心がけていることを複数回答で尋ねた。「なるべく歩くなど体を動かすようにしている (34.7%)」、「栄養のバランスを考え食事の内容に注意している (34.0%)」などがあげられ、その他では男子学部生は「スポーツをしている」、女子学部生は「体調をチェックする」が上位であった。

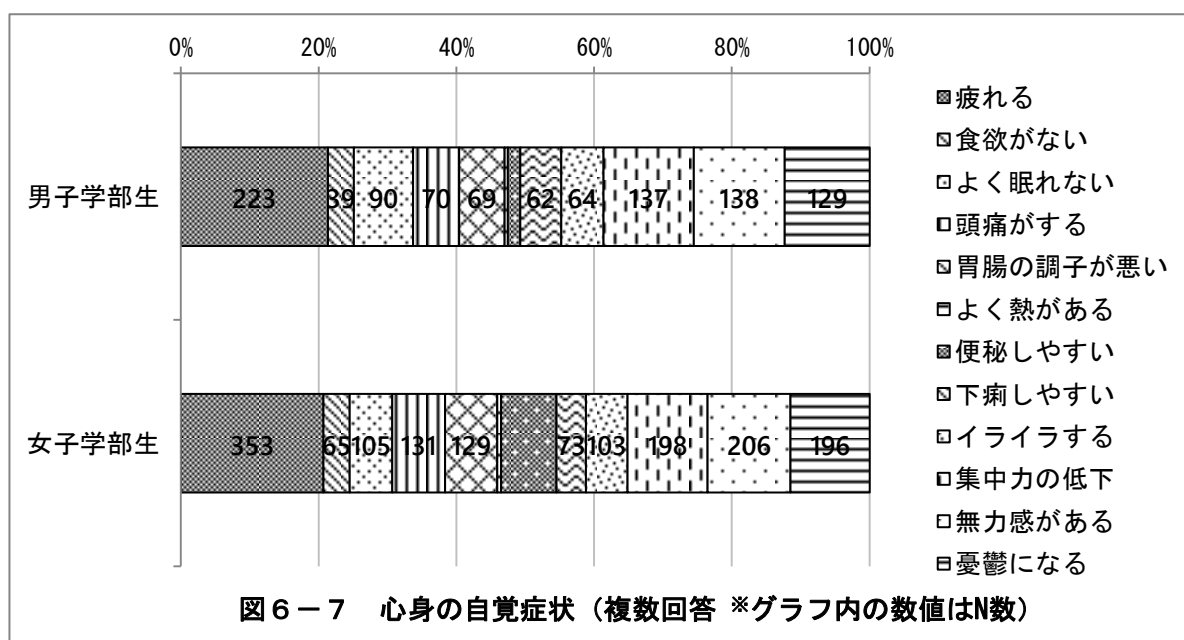


6. 2 心身の健康状態

(1) 現在の健康状態 (図6-6, 図6-7)

現在の健康状態について、「良好」は学部生が 73.1%, 大学院生 67.7%であった。なお、「調子が悪い」は学部生の 20.5%を占めた。



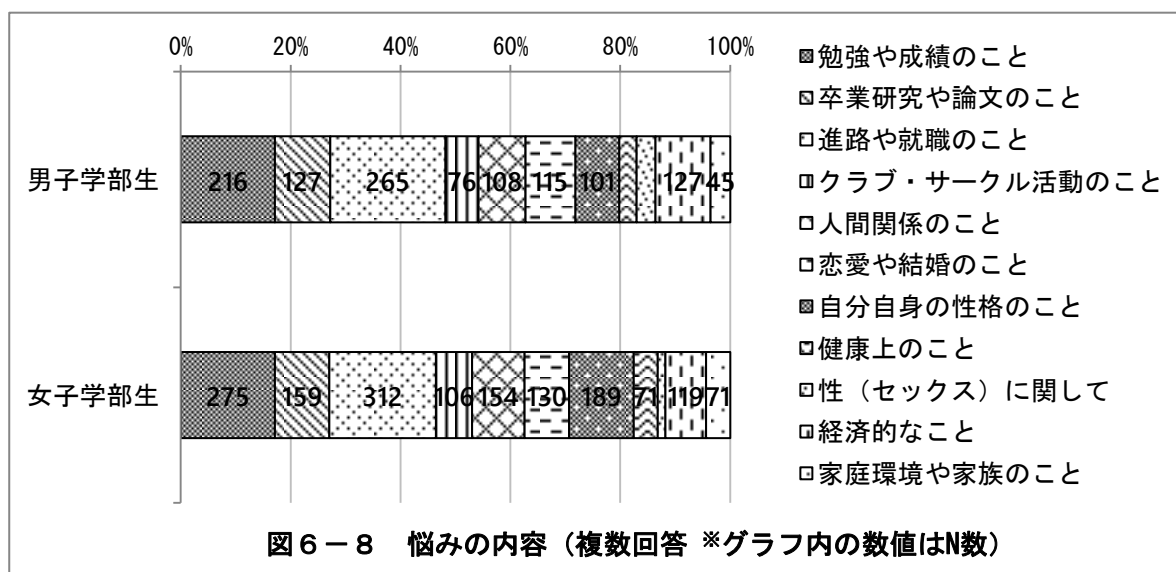


心身の自覚症状について、学部生及び大学院生ともに「疲れる」や「集中力の低下」の割合が高く、特に大学院生は「疲れる」が38.5%であった。また学部生では「無力感がある」「憂鬱になる」が男女を問わず表れていた。

6.3 悩み

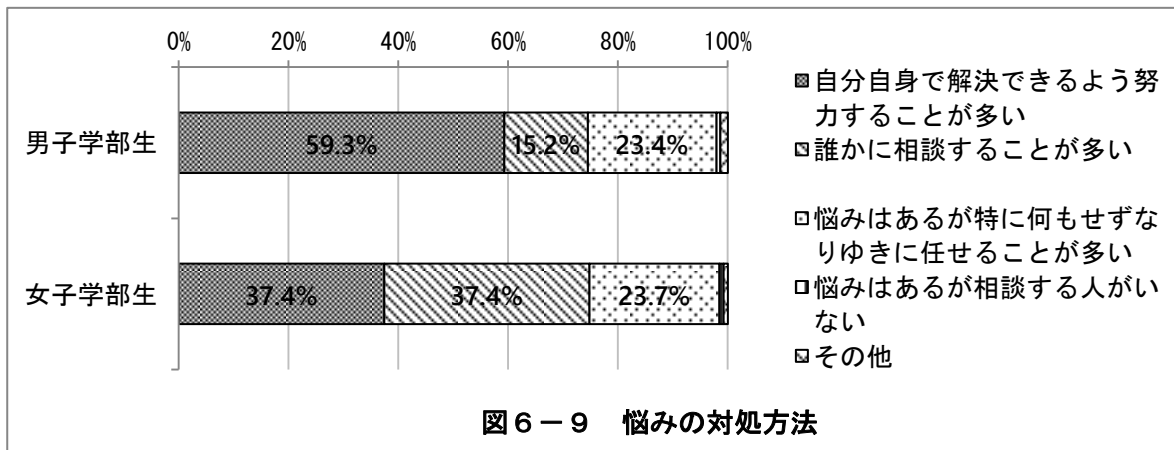
(1) 悩みの内容 (図6-8)

悩みについて、「ない」は、男子学部生が25.5%、女子学部生が8.1%であった。なお、悩みの内容について、学部生では男女ともに「進路や就職のこと」「勉強や成績のこと」の割合が高く、大学院生では「研究のこと」「修士・博士論文」が上位を占めた。

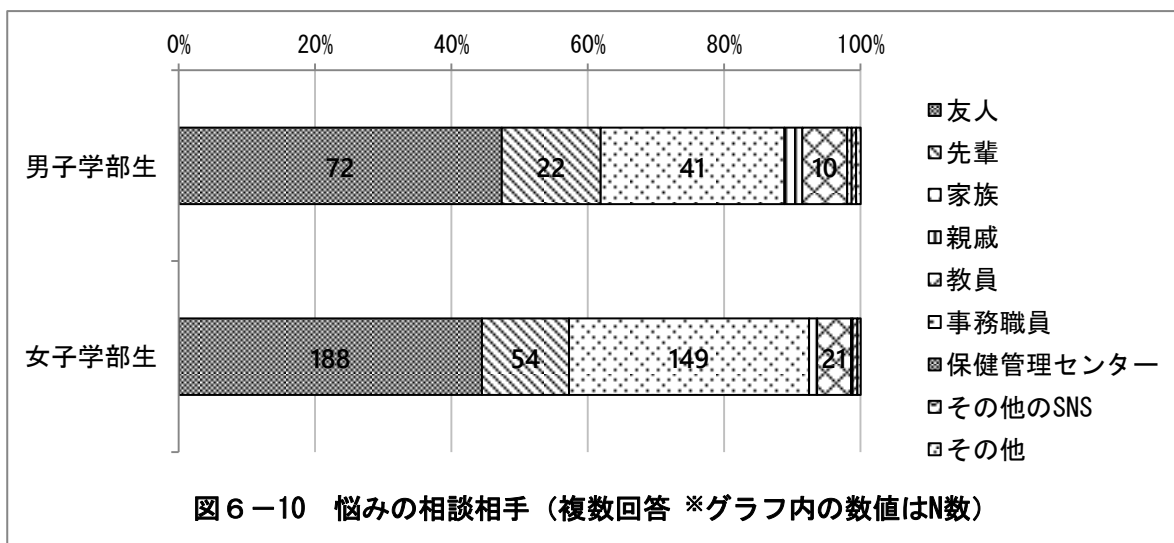


(2) 悩みの対処方法 (図6-9, 図6-10)

悩みの対処方法については、男女ともに「自分自身で解決するよう努力する」が最も高かった。



なお、女子は「誰かに相談する」が男子に比べ高い割合を示し、これについて具体的な相談相手は、学部生では「友人」、次いで「家族」であった。

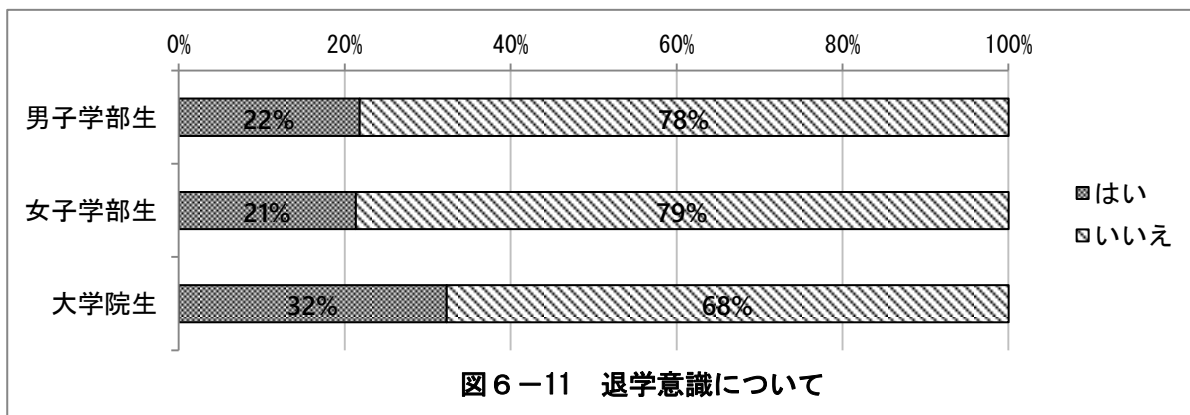


(3) 保健管理センターや学生課のなんでも相談窓口について

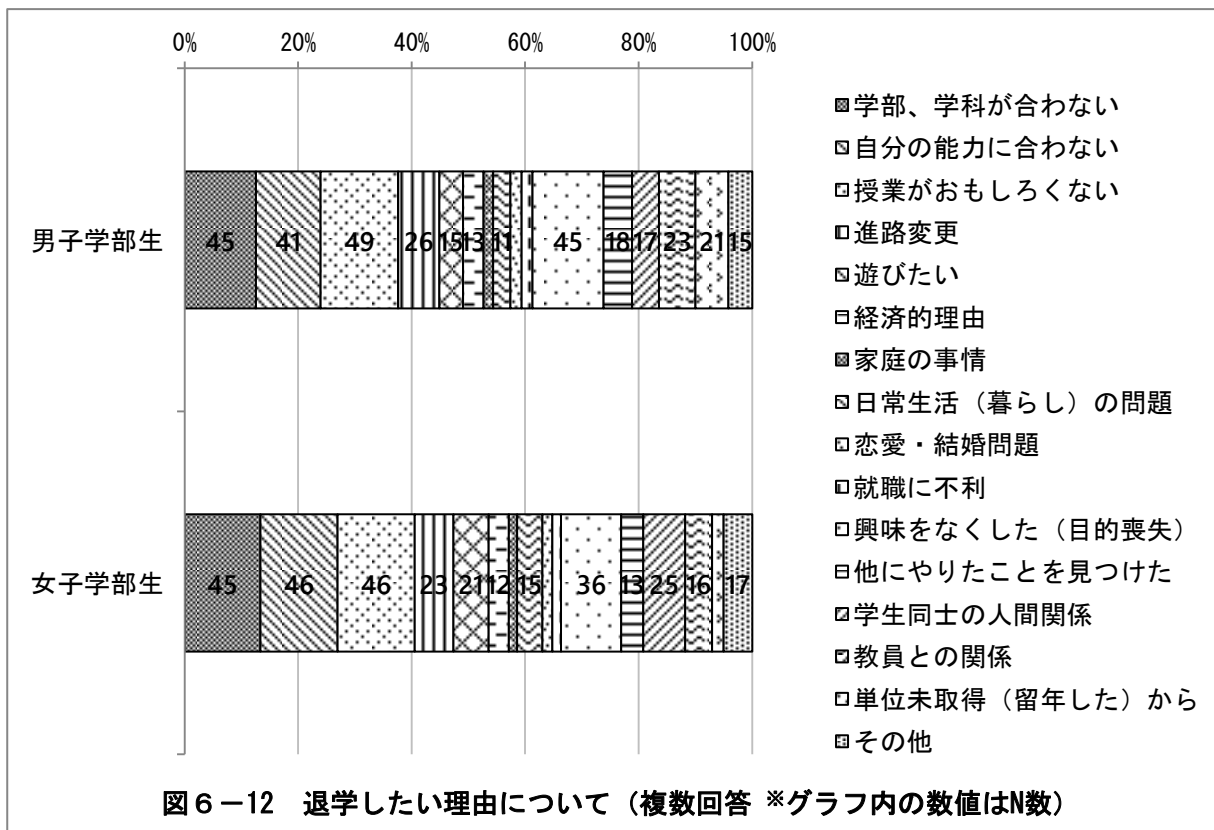
保健管理センターや学生課のなんでも相談窓口について、知っているか尋ねたところ「知っている」が学部生は57.9%で、知った経緯は「入学式の説明」が51.6%と最も高く、次いで「学生生活ガイド」が46.0%、「学部学科のオリエンテーション」が34.3%であった。

(4) 大学をやめたいと思ったことがあるか (図6-11, 図6-12)

大学をやめたいと思ったことがあるかについては、「ある」は学部生が21.5%, また大学院生が32.2%と高い傾向を示した。



やめたいと思った理由は、男女学部生ともに「授業がおもしろくない」「学部学科が合わない」「興味をなくした (目的喪失)」「自分の能力にあわない」が多く、また大学院生は「自分の能力にあわない」「教員との関係」であった。



6. 4 まとめ

本調査の分析結果は、回答率より信頼度 95%で誤差の幅を±5%を概ね満たす区分を表示した。

弘大生の生活習慣について、朝食をほぼ毎日摂っているのは、学部生が 59.4%、大学院生が 51.0%で、4年前の前回調査時よりやや減少傾向であった。朝食の摂取頻度は、女子は男子に比べ朝食を摂る習慣があった。

平均の睡眠時間は、7～8時間が多かったが、睡眠の質についてはそのうちの 31.2%が悪いと答えており、疲れがとれない傾向がみられた。

喫煙傾向については、男子にみられ、また受動喫煙は週 3 日以上で男子学部生が 20.7%、女子学部生や大学院生が 16.1%であった。なお、飲酒については週に 1 回以下が 41.5%であった。

心身の健康については、良好は学部生が 73.1%、大学院生 67.7%であったが、疲れやすい、集中力の低下、無力感、憂鬱などの自覚症状を訴える学生も少なくなかった。なお、ほとんどの学生はなんらかの悩みを持っており、その内容は勉学や研究のみならず進路や就職もあげられていた。対処法として、自分自身で解決できるよう努力する学生が多く、また相談する相手は友人や家族であった。

弘大生の健康は、前回の調査と類似した傾向であったが、学生生活に悩む学生は、本学のサポート体制を活用いただき、充実した日々を送っていただきたい。

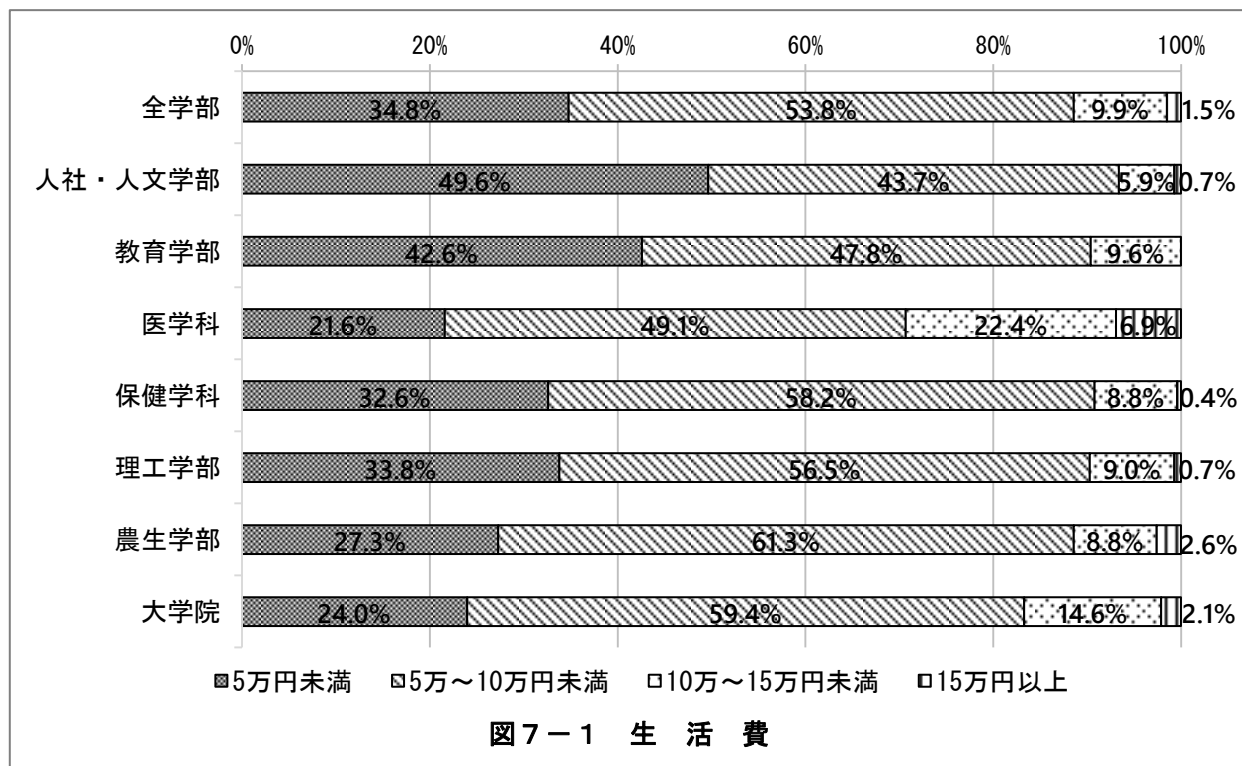
(高橋 康幸)

■ 第七章 弘大生の経済状況

学部生および大学院生の勉強・研究を支える奨学金等の過不足状況を検討するためにも、家計支持者や学生自身の経済状況の客観的把握は不可欠である。アンケートでは学部生に対しては設問 41 から設問 45 の計 5 問、大学院生に対しては設問 40 から設問 44 の計 5 問を用いて経済状況に関する質問が行われた。前回の調査では経済項目に関して性別による差異よりも学部、研究科の差異が大きいとして特に医学部医学科・医学研究科を他の学部・学科と分けて解析を行っている。今回は大学院のデータが少ない（96名）ことから、大学院はひとくくりで扱い、学部生は学科別にデータを整理する。また、学生の経済状況は奨学金の受給、居住形態により異なる。学科・大学院別に生活費、奨学金の申請・受給、授業料免除の申請・受給、アルバイト、居住形態の状況を概観したのち、居住形態の違い、主な収入源の違いの観点から経済状況を調べる。以下、医学部医学科は医学科、人社・人文学部は人文学部、医学部保健学科は保健学科、農学生命科学部は農生学部と記す。また、アンケートの問の番号は学部のアンケートの問番号を用いる。

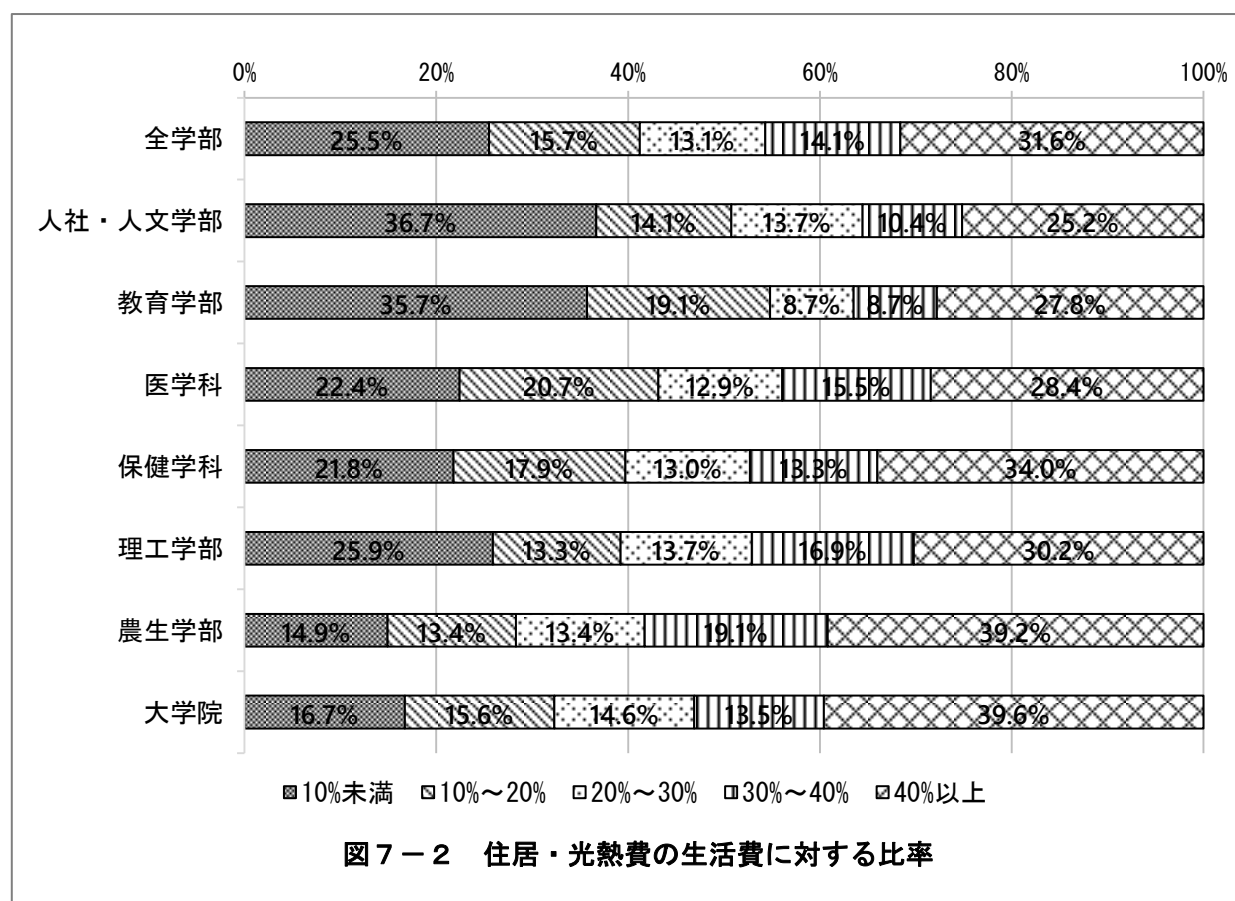
7. 1 学科別の経済状況

（図 7-1, 図 7-2, 図 7-3, 図 7-4, 図 7-5, 図 7-6, 図 7-7, 図 7-8, 図 7-9）
 学科別に学生の経済状況を概観しよう。問 41 では月々の生活費を「5万円未満」「5万円以上10万円未満」「10万円以上15万円未満」「15万円以上」の4つの選択肢から選ぶ形式で回答する。月々の生活費を学科別にまとめたものが図 7-1 である。



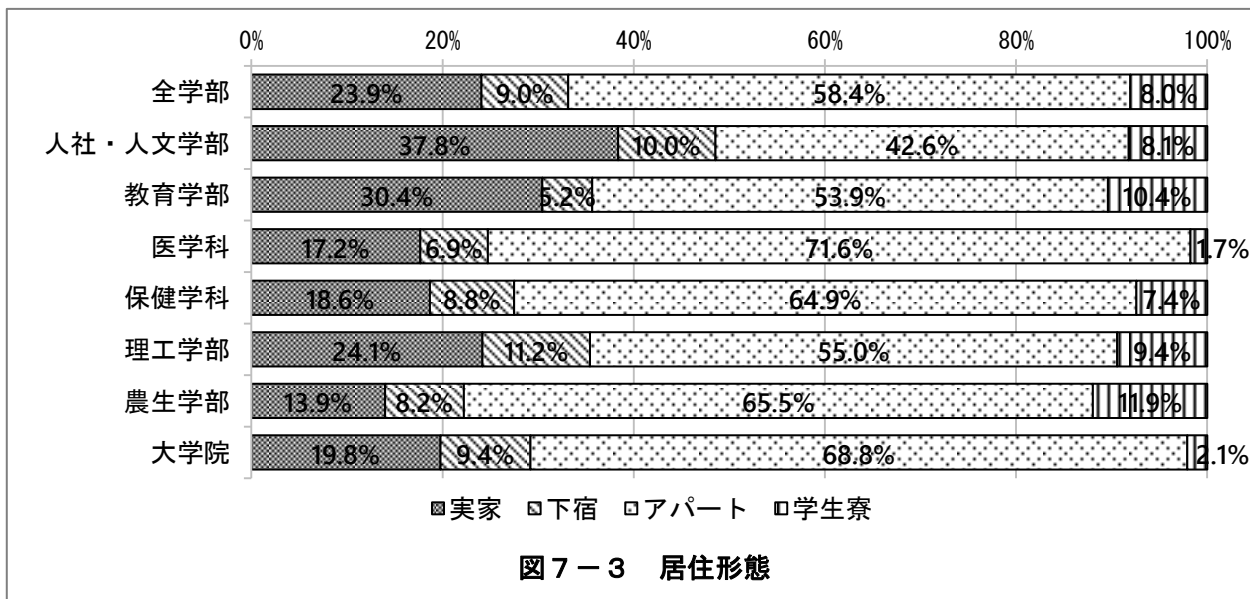
全体では5万円未満が34.8%、10万以上15万円未満が9.9%、15万円以上が1.5%である。医学科では月10万以上15万円未満と月15万以上の比率が合計で29.3%と高く（全体では合計11.4%）、5万円未満の比率が21.6%と低いことがわかる。農生学部および大学院では5万円未満の比率がそれぞれ27.3%、24.0%、また、人文学部と教育学部の5万円未満の比率がそれぞれ49.6%、42.6%と全体の34.8%より前者では低く後者では高い。医学科については前回の調査で主たる生計支援者の所得が高いことが指摘（所得1,000万以上だけで2割）されており、十分な経済的支援を受けている学生の比率が高いためであると考えられる。人文学部と教育学部については、居住形態の違いが原因であると考えられる。農生学部と大学院の学生は自宅生が少なく人文学部と教育学部の学生は自宅生の比率が高いため、住居費が嵩むか抑えられるか生活費に反映するからである。

問41に続く5つの小問では、生活費の内訳を食費、住居・光熱費、娯楽費、勉学費、通信費に対する比率を「10%未満」、「10から20%未満」、「20から30%未満」、「30から40%未満」、「40%以上」の5つの選択肢から選択する。また、居住環境については問45において、「実家」「下宿」「アパート」「学生寮」「その他」の5つの選択肢から選ぶ。「その他」の解答は記述式で選択者も少なく、また記述内容も「マンション」など「アパート」に含めてよいものが多いので解析結果は割愛する。

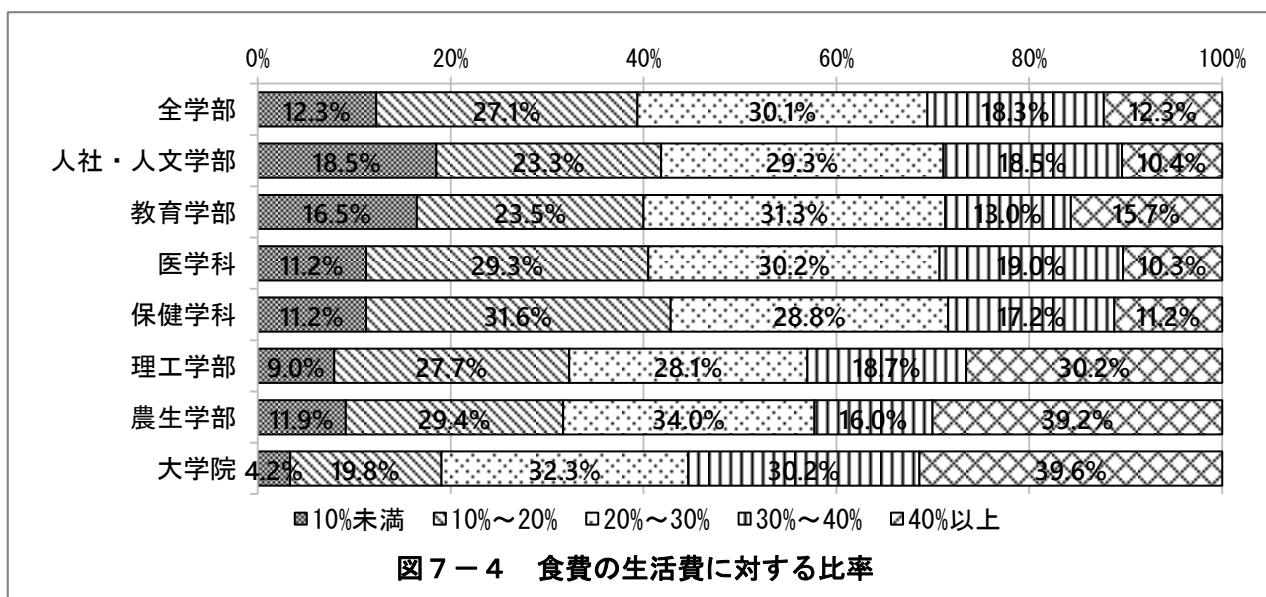


生活費の内訳で住居・光熱費についてまとめた図7-2と居住環境についてまとめた図7-3をみてみよう。全体では居住環境は23.9%が自宅、9.0%が下宿、58.4%がアパート、8.0%が学生寮に住んでいる。図7-2から人文学部と教育学部の学生の住居・光熱費の比率が10%未満の比率がそれぞれ36.7%、

35.7%と全体平均の25.5%より高いことがわかる。また図7-3からは居住環境が実家の比率がそれぞれ37.8%、30.4%で全体平均の23.9%より高い。人文学部および教育学部の学生は自宅生が多く、住宅関連の費用が抑えられている。大学院および医学科の学生は学生寮に居住するものの比率がそれぞれ1.7%、2.1%と低く、アパートに住むものの比率がそれぞれ71.6%、68.8%と高い。農生学部では学生寮に住むものの比率が11.9%、アパートに住むものの比率が65.5%とどちらも高い。こうした居住環境の違いが生活費の住居・光熱費に反映し、学科別の生活費の違いとなっていることが分かる。

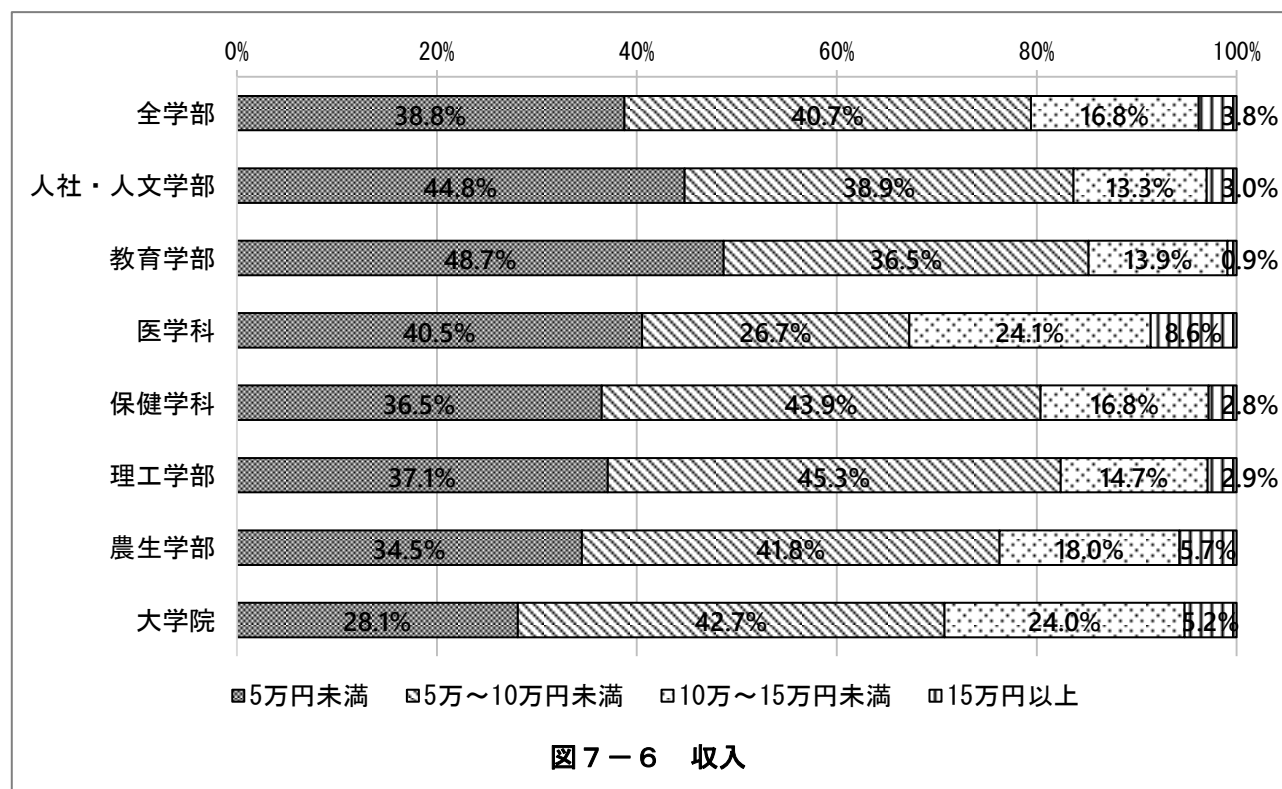
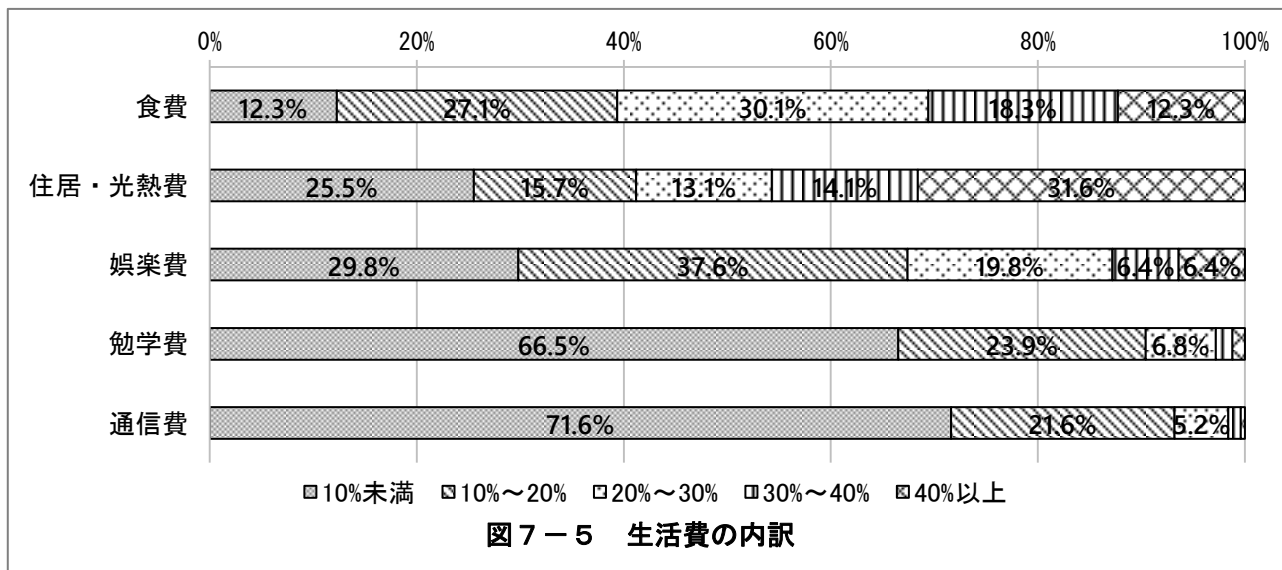


同じ傾向が生活費の内訳のうち食費についても確認できる。図7-4は食費の生活費に占める比率をまとめたものである。自宅生の多い人文学部および教育学部の学生の生活費に占める食費の比率が10%未満の比率は18.5%、16.5%と全体平均の12.3%より高い。自宅生の場合、実家で食事が提供され、生活費に占める食費の比率が低いと考えられる。

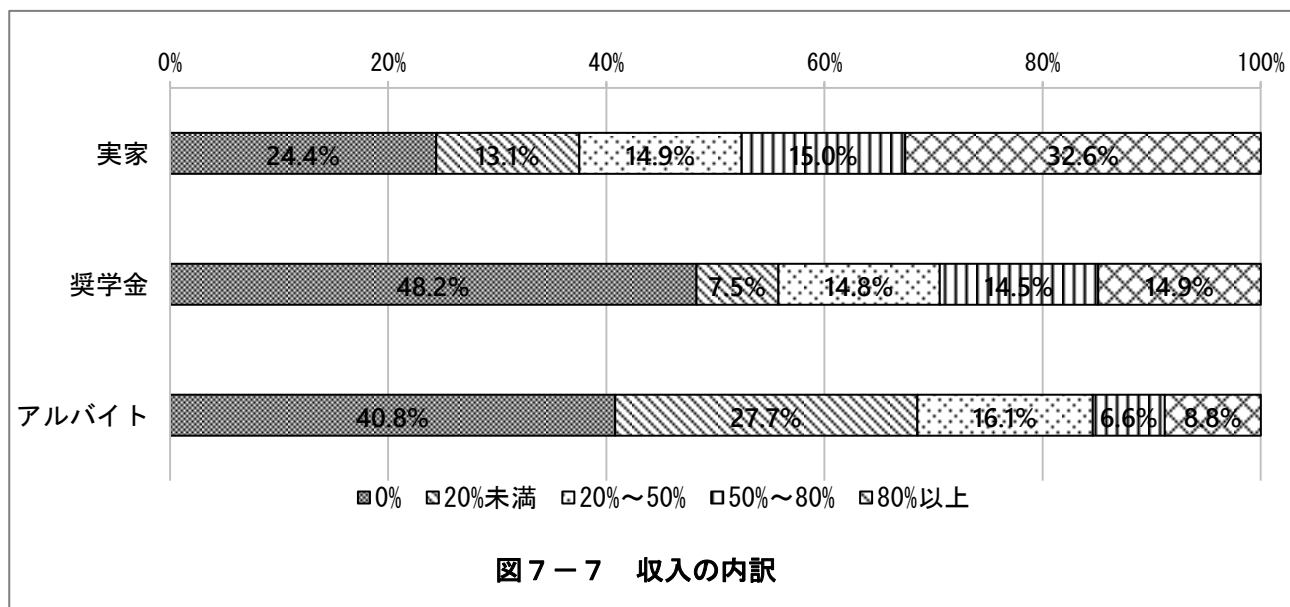


生活費は居住環境が大きく影響するため、学科ごとに生活費の内訳を示しても煩雑になるだけである。生活費の内訳は全体に対する結果のみ示し、居住環境による差異は後程述べることとする。図7-5は全データを用いて、生活費の内訳をまとめたものである。

内訳として食費、住居・光熱費、娯楽費、勉学費、通信費の5項目に対する比率である。住居・光熱費は10%未満が25.5%なのに対し40%以上が31.6%であり、自宅生とアパート・下宿生の差異を反映している。また度数が最大の階級をしてみると食費には20から30%、娯楽費には10から20%、そして勉学費、通信費には10%未満消費することが分かる。



生活費の内訳のあとの間で収入について生活費と同じ4択で選択してもらった。学科別に収入をまとめたものが図7-6である。生活費と同じ傾向が確認できる。医学科では10万円から15万円と15万円以上の比率がそれぞれ24.1%、8.6%で合計32.7%あり、全体の合計20.4%より高い。また、人文学部および教育学部で5万円未満の比率はそれぞれ44.8%、48.7%で全体の38.8%より高い。大学院でも10万円から15万円と15万円以上の比率が合計で29.2%であり全体の合計値20.4%より高くなっている。



収入の金額の回答のあとに収入の内訳について、実家から、奨学金、アルバイトについての比率を問うている。比率は生活費の内訳と同じく5択からの選択である。全体に対する収入の内訳をまとめたものが図7-7である。収入の80%以上を占める比率が実家からが32.6%、奨学金が14.9%、アルバイトが8.8%となっている。こうした収入源の違いは学生の置かれている状況が完全に異なっていることを意味する。後に収入の80%以上が実家、奨学金、アルバイトの学生別に経済状況を確認してみることにする。

問42はアルバイトに関して、問44は奨学金と授業料免除に関しての間である。アルバイトしているか、また、している場合の頻度と深夜アルバイトに関して、また、奨学金では日本学生支援機構とその他の奨学金を分けて申請・受給状況についての問いである。奨学金と授業料免除の申請・受給率、およびアルバイトをしている比率について学科ごとにまとめたものが表7-1である。奨学金の申請では、日本学生支援機構に申し込んだことがあるか、その他の奨学金に申し込んだことがあるか、受給では日本学生支援機構からの奨学金を受けているか、その他の奨学金を受けているかそれぞれの比率も示してある。また、奨学金の受給は平成30年度の実績に関するものである。6割以上の学生が奨学金に申請し6割弱の学生が受給していることが分かる。学部生に関しては日本支援機構以外からの奨学金の比率が無視できないが、大学院生はほとんどが日本支援機構からの奨学金に頼っていることが分かる。学部生では約2割は授業料免除で、半数以上がアルバイトしているが医学科のアルバイト率は低いことが分かる。大学院では約4割の学生が授業料免除となっている。

表 7-1 奨学金・授業料免除の申請率及び受給率

(%)

	申請		申請率	受給		受給率	授業料免除		アルバイト率
	日本学生 支援機構	その他 奨学金		日本学生 支援機構	その他 奨学金		申請率	免除率	
全学部	56.6	12.0	61.9	51.9	8.8	57.2	23.9	19.5	55.0
人社・人文学部	58.1	11.1	62.2	53.7	5.9	57.4	26.3	18.1	62.6
教育学部	58.3	12.2	62.6	57.4	9.6	62.6	28.7	23.5	66.1
医学部医学科	41.4	36.2	59.5	32.8	34.5	54.3	12.9	13.8	35.3
医学部保健学科	64.2	12.6	70.5	57.9	10.2	64.2	22.1	18.9	55.8
理工学部	57.2	7.9	60.4	54.0	5.0	56.5	20.1	17.6	48.2
農学生命科学部	47.4	6.2	50.0	45.9	4.1	48.5	19.1	15.5	56.7
大学院	63.5	7.3	65.6	52.1	1.0	52.1	51.0	40.6	58.3

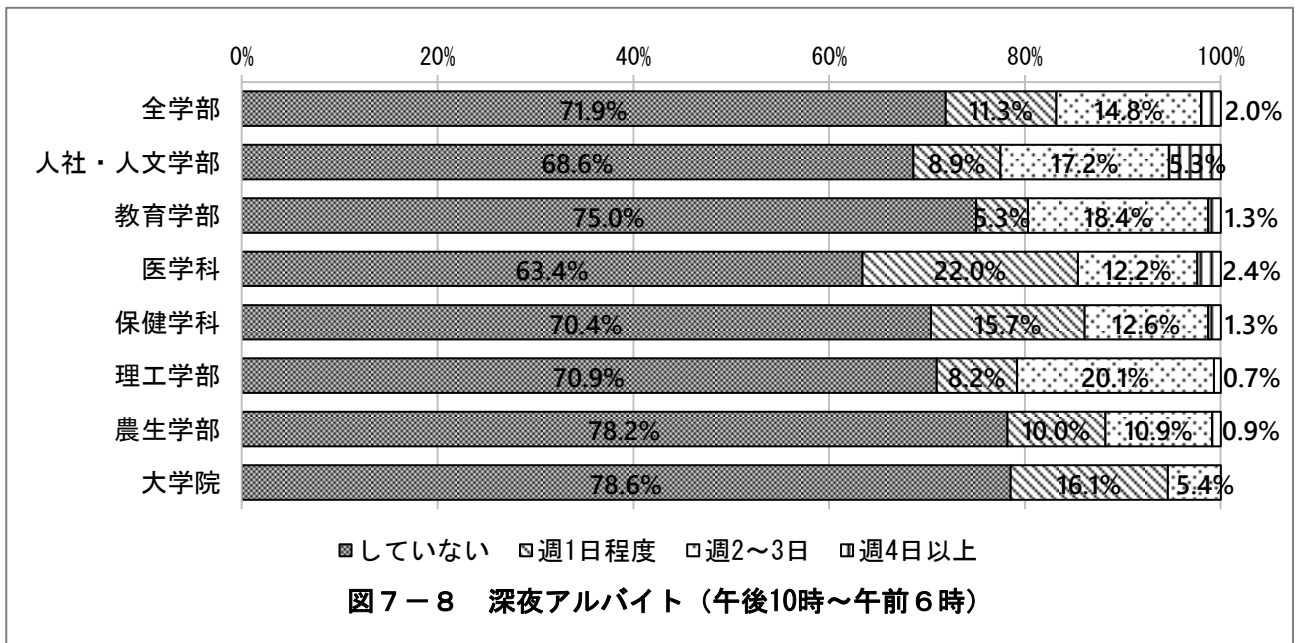
表 7-2 アルバイトの週あたりの日数とアルバイト時間

(%)

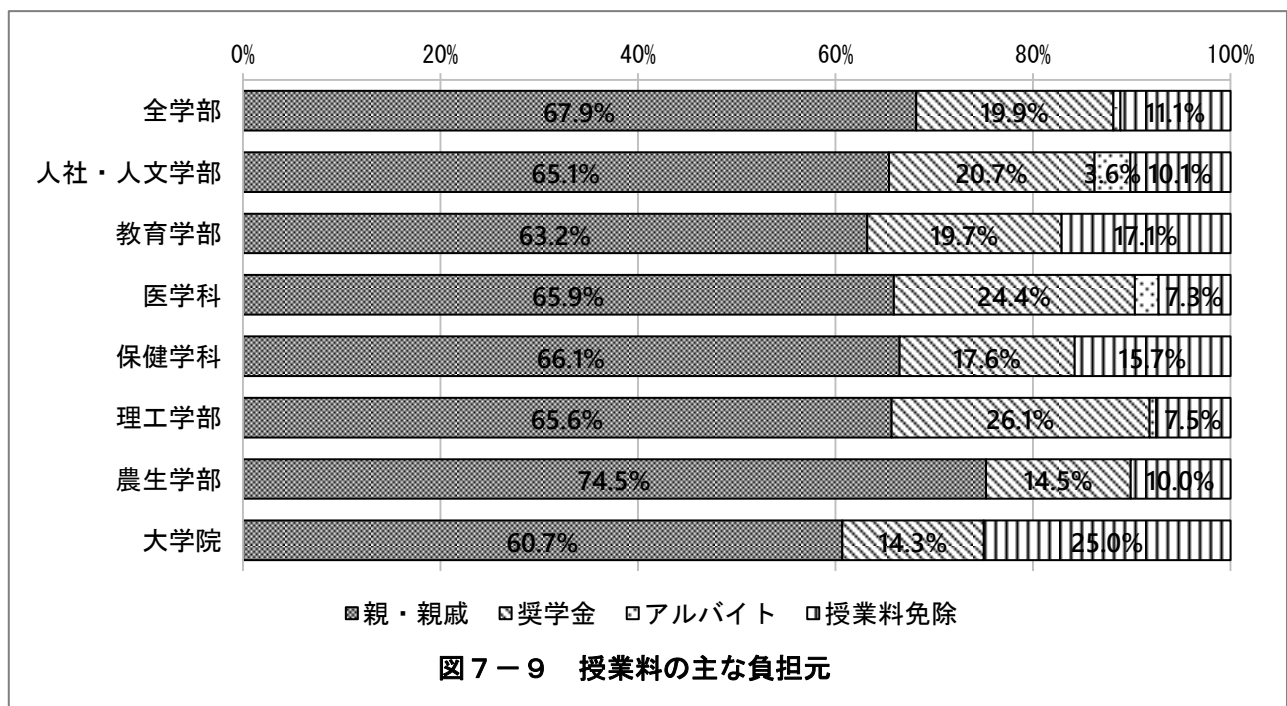
日数	1~3日	4~6日	毎日	不定期	2時間未満	2時間以上
全学部	60.9	20.5	1.3	17.2	9.6	73.2
人社・人文学部	56.3	28.4	1.2	14.2	8.3	77.5
教育学部	55.3	28.9	0.0	15.8	3.9	80.3
医学科	68.3	9.8	2.4	19.5	22.0	58.5
保健学科	68.6	12.6	0.0	18.9	4.4	76.7
理工学部	61.9	19.4	0.7	17.9	8.2	73.9
農生学部	56.4	20.9	2.7	20.0	10.0	70.0
大学院	62.5	17.9	5.4	14.3	30.4	55.4

アルバイトしていると回答した学生に対して、週あたりの勤務日数と1回あたりのアルバイト時間をまとめたものが表7-2である。アルバイト時間数は週あたりの勤務日数が不定期でないもののみが回答している。アルバイトは週3日以内が6割だが、人文学部および教育学部では週4から6日の比率が28.4%、28.9%と全体の20.5%より高い。一方、医学科、保健学科では週4から6日の比率が9.8%、12.6%と低い。1回あたりのアルバイト時間は医学科と大学院を除くと2時間以上が7割から8割である。アルバイトに精を出す医学科生は少ないことが分かる。一方、毎日アルバイトしているという回答が全体で1.3%、医学科で2.4%ある。学生の経済状況に極端な違いがあることを示唆している。

週あたりの深夜アルバイトの日数をまとめたものが図7-8である。ここで深夜とは午後10時から午前6時の時間帯としている。2割強の学生が深夜の時間帯にアルバイトを行っている。週4日以上深夜アルバイトを行う学生が全体の2%も存在している。

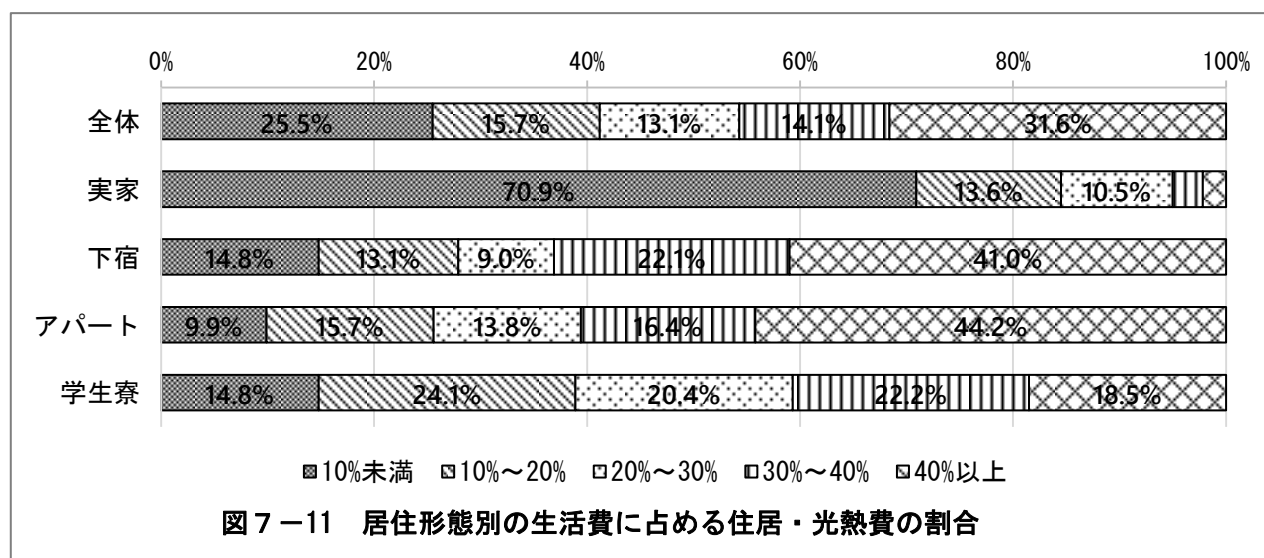
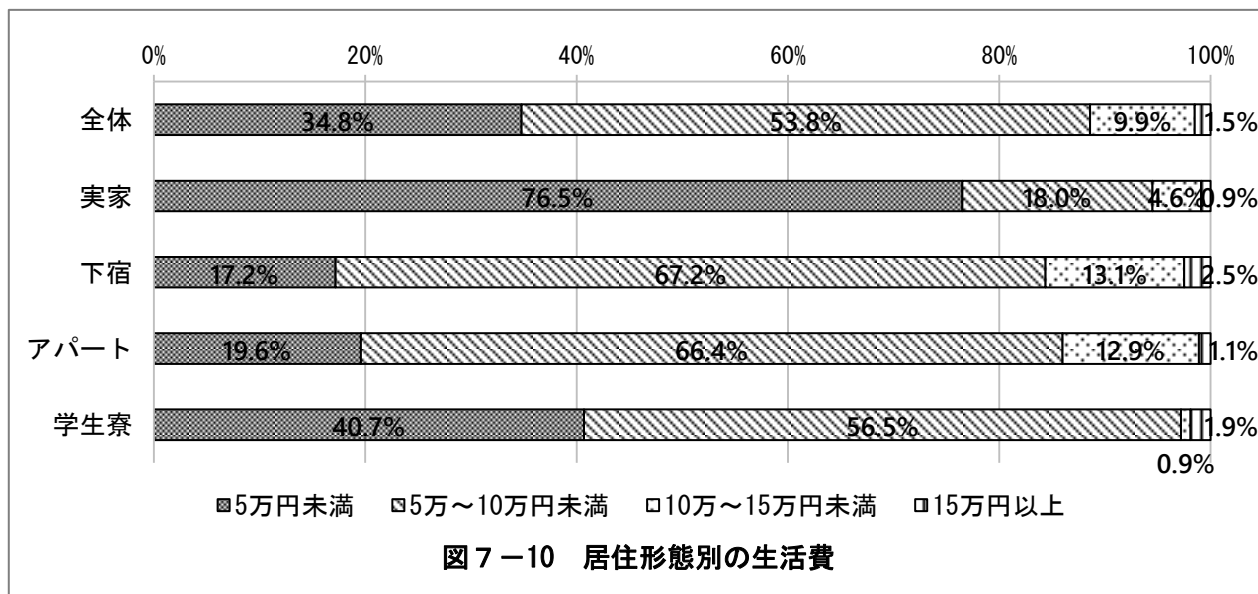


問 43 は「授業料の支払いに必要なお金は主として誰から出ていますか」に対し、親、親戚、奨学金、アルバイト、授業料免除の 5 つの選択肢から選択するものである。親戚の比率が低いため、親・親戚と一緒にし、授業料の負担者についてまとめたものが図 7-9 である。7 割弱を親・親戚が負担、2 割を奨学金、1 割が授業料免除で賄うことが分かる。アルバイトの比率は全体で 0.7%，アルバイト収入は授業料ではなく生活費にまわしていることも読み取れる。



7. 2 居住形態別の経済状況（図7-10, 図7-11, 図7-12, 図7-13, 図7-14）

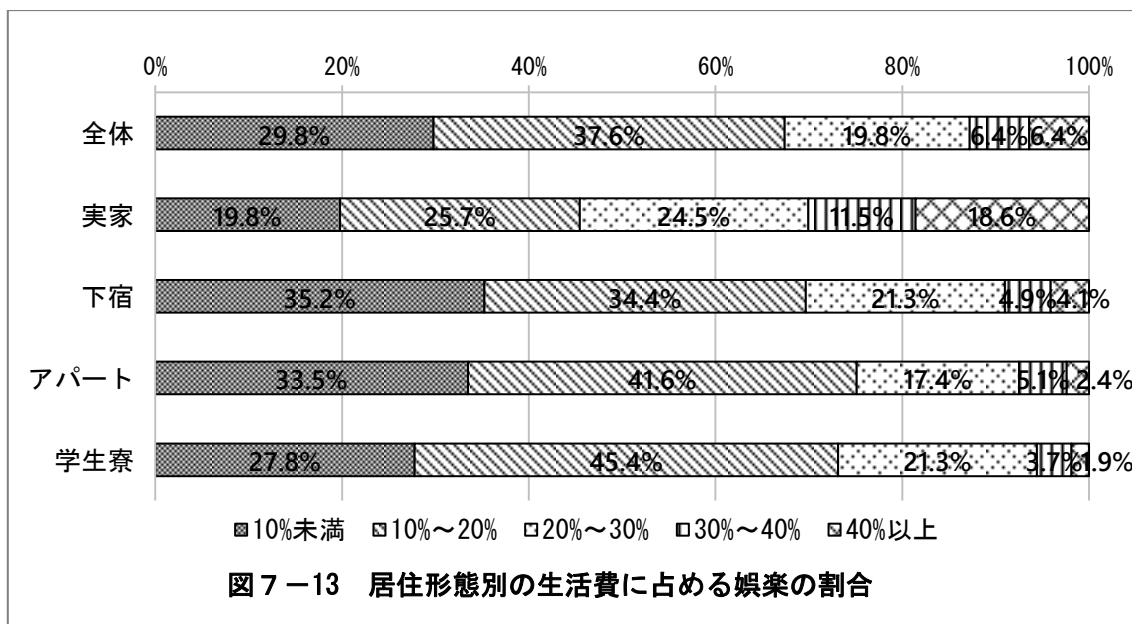
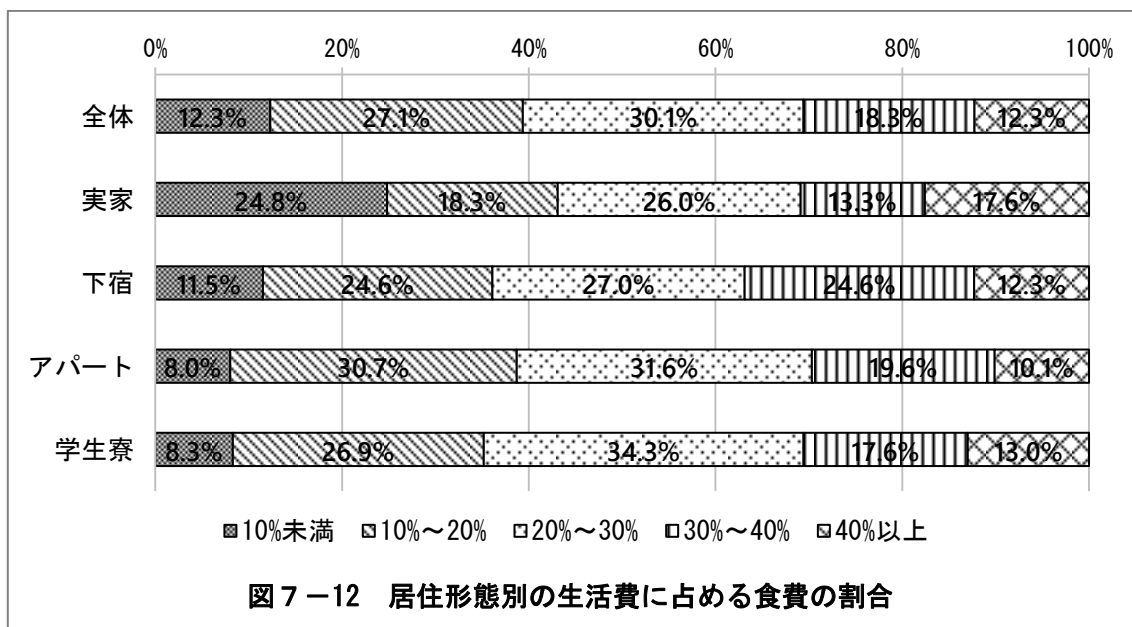
次に学部学科・大学院別ではなく居住形態別に経済状況をまとめていく。居住形態別に生活費をまとめたものが図7-10である。予想どおり、実家で暮らす学生の生活費で5万円未満の比率は8割弱と全体の34.8%と比べて高くなっている。次に高いのは学生寮の学生の40.7%である。下宿とアパートには顕著な差はない。



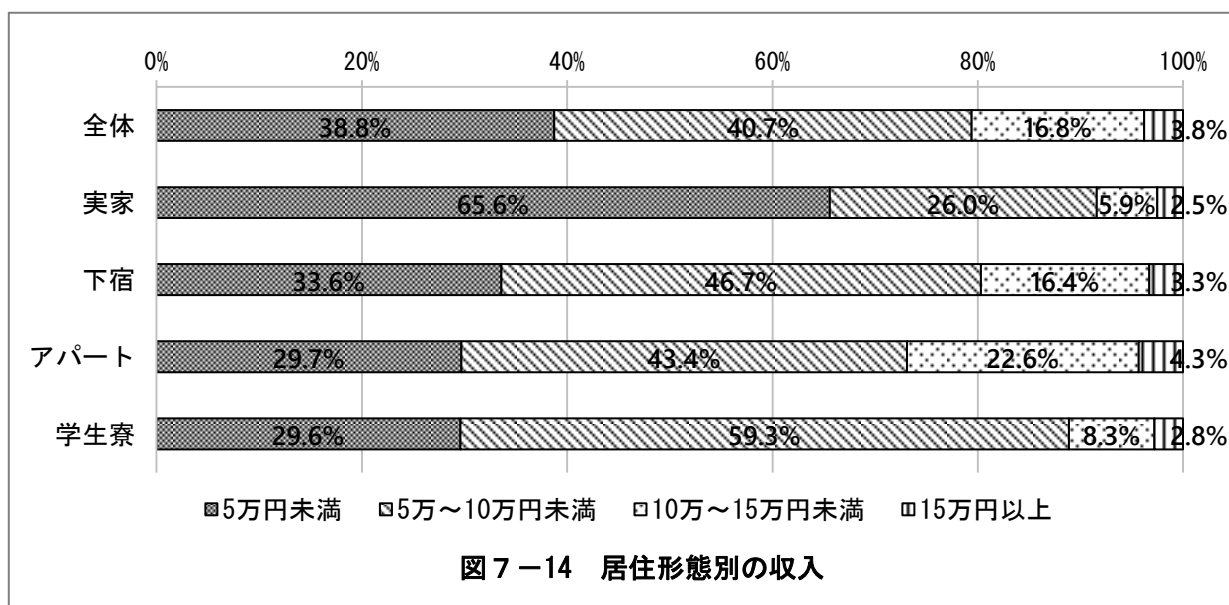
居住環境別に生活費の内訳のうち、住居・光熱費の比率をまとめたものが図7-11である。ここでも実家の学生の住居・光熱費は低い。自宅生の場合、生活費の大きな部分を占める住居・光熱費の負担がないか、あっても軽く、それで生活費を抑えられることが分かる。生活費と同じく住居・光熱費の比率で下宿とアパートに顕著な差はなく、カテゴリーを同じとして扱っても問題ないように思われる。

居住環境別に生活費の内訳のうち食費の比率をまとめたものが図7-12である。食費についても実家

の学生の生活費に占める比率は小さい傾向があるのは住居・光熱費と同じであるが住居・光熱費ほど差が顕著ではない。これは食費が同じという意味ではなく、自宅生の生活費は低い傾向があるため、同じ比率でも金額に差があるからである。食費に関しては下宿とアパートで差が確認できることを期待したが、顕著な相違はないことが分かる。



居住環境別に生活費の内訳のうち娯楽費の比率をまとめたものが図7-13である。10%未満と10~20%の合計が実家で45.5%、下宿で69.6%、アパートで75.1%、学生寮で73.2%と実家の学生で娯楽費の比率が高い層が若干多いが、食費と同じく生活費が低い金額にそれほど違いはないと考えられる。



居住環境別に収入をまとめたものが図 7-14 である。生活費と同じ傾向が読み取れる。実家の多くは 5 万円未満の層に属し、下宿とアパートに顕著な差は確認できない。学生寮の場合、10 万円以上の収入は 11.1%で、下宿の 19.7%，アパートの 26.9%より低い、住居・光熱費の差によるものと考えられる。

居住環境と奨学金の受給率，授業料免除率，アルバイト率をまとめたものが表 7-3 である。学生寮の学生の奨学金受給率，授業料免除率が他と比較して高いことが分かる。アルバイトについては顕著な差は確認できない。

表 7-3 居住形態別の奨学金受給率・授業料免除率，アルバイト率 (%)

	奨学金受給率	授業料免除率	アルバイト率	深夜アルバイト率
全体	57.2	19.5	55.0	28.1
実家	57.9	21.4	59.8	18.7
下宿	48.4	16.4	48.4	25.4
アパート	56.0	17.4	54.2	32.6
学生寮	73.1	32.4	52.8	26.3

7.3 収入の内訳と経済状況の関係 (図 7-15, 図 7-16)

居住形態の違いによる経済状況の違いは、学生寮居住者の奨学金受給率，授業料免除率の違いと実家に居住する学生の生活費・収入の低さでしかなかった。そこで、経済状況の違いをより深く観察するために、収入の内訳の違いに着目した解析を行った。収入の内訳のうち、実家，奨学金，アルバイトからの比率が 80%以上の学生に注目する。それぞれ全体の 32.6%，14.9%，8.8%の比率である。それぞれの分類に対して生活費をまとめたものが図 7-15 である。実家と奨学金が収入の 80%以上の学生の生活費に顕著な差はなく、アルバイトが収入の 80%の学生は生活費が 5 万円未満の比率が高いことが分かる。これは、アルバイトの学生が生活費をそれほど必要としない実家に居住する学生であることを示唆する。

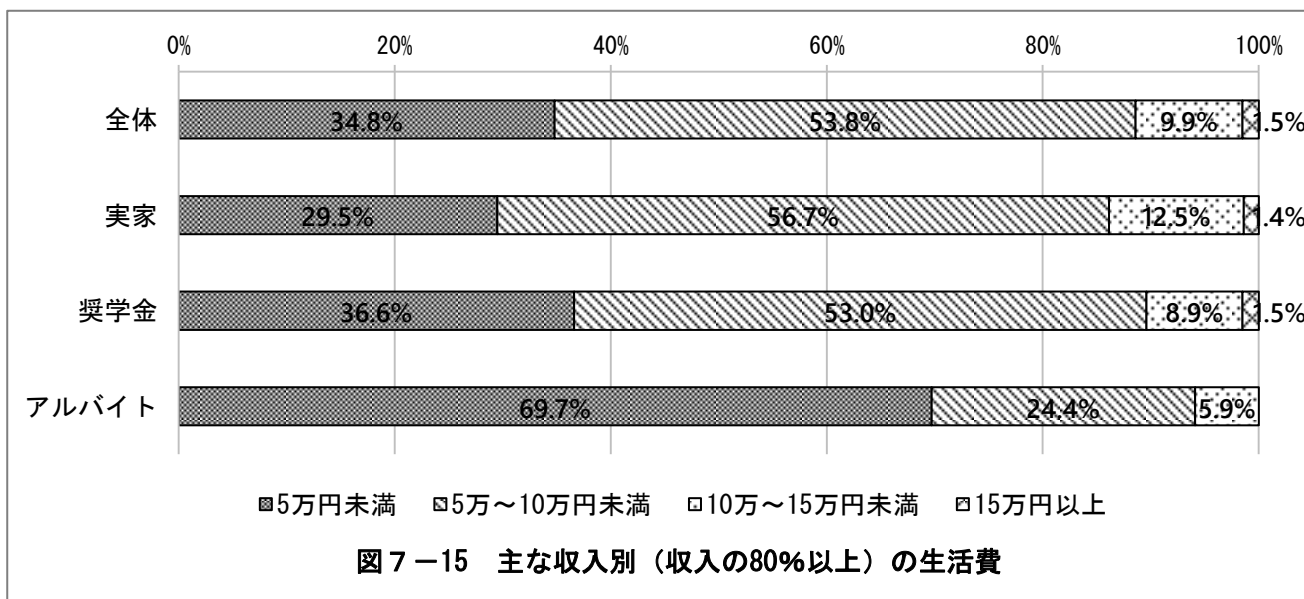
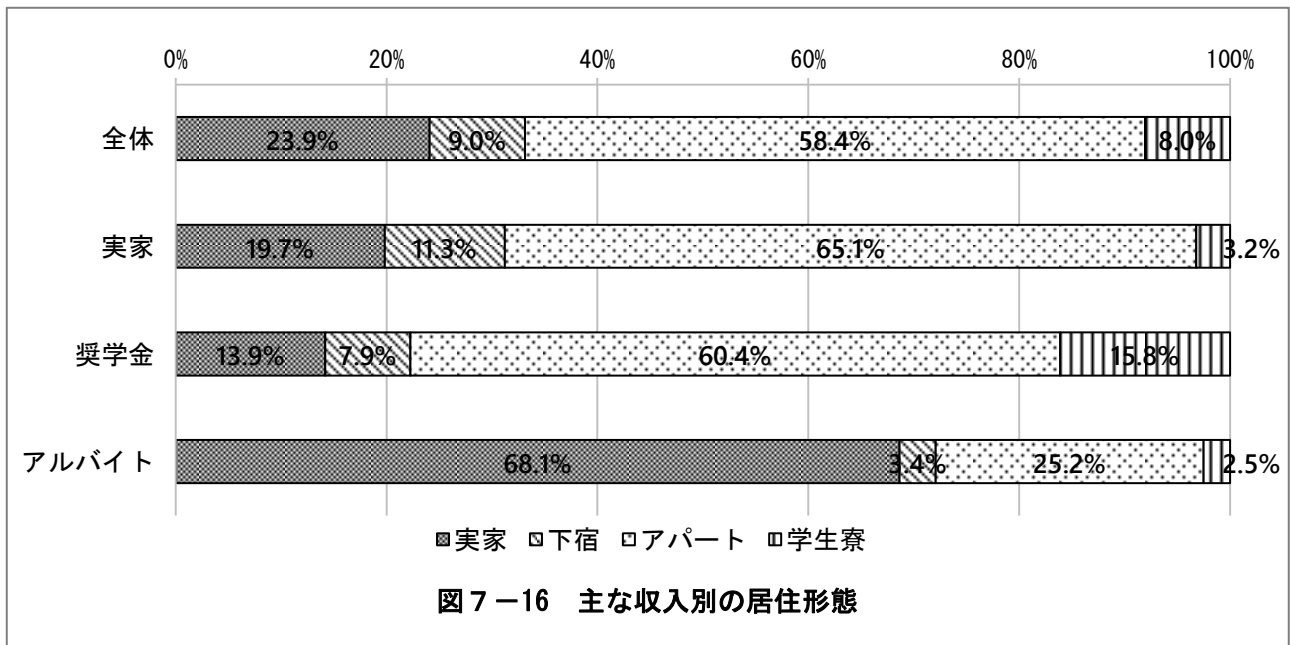


表 7-4 主な収入別の奨学金受給率，授業料免除率，アルバイト率，深夜アルバイト率 (%)

	奨学金受給率	授業料免除率	アルバイト率	深夜アルバイト率
全体	57.2	19.5	55.0	28.1
実家	21.8	9.3	32.4	18.9
奨学金	99.5	99.5	99.5	99.5
アルバイト	43.7	17.6	99.2	36.4

奨学金の受給率，授業料免除率，アルバイト率をまとめたものが表 7-4 である。実家からの収入が 80% 以上の学生は奨学金受給率，授業料免除率，アルバイト率が低い。実家から十分な経済的支援を受けているか，または自宅生で住居・光熱費の負担が軽い分，経済的に困難な状況にはないことが分かる。アルバイトが収入の 80% 以上の学生も全体より奨学金受給率，授業料免除率が低い。これは生活費でも述べた実家に居住するものが多いためと考えられる。注目すべきは奨学金が収入の 80% 以上の学生である。授業料免除率，アルバイト率はほぼ 100% である。つまり，実家からの経済的な支援は限定的で，奨学金とアルバイトで生活費を賄っている。深夜アルバイト率もほぼ 100% ということは生活費を賄うには深夜の時間帯のアルバイトも必要であることが推察される。



学生の居住環境をまとめたものが図 7-16 である。実家からの収入が 80%の学生の居住形態は全体より下宿・アパートの率が高く、学生寮の比率が低い。経済的に十分なサポートを実家から受け、実家または下宿・アパートで生活していることが分かる。アルバイトが収入の 80%以上の学生は実家住まいが 70%弱、3 割弱が下宿・アパートである。下宿・アパートに居住する比率（合計 28.6%）と収入が 5 万円以上の比率（30.3%）がほぼ等しいことから、このグループの 3 割の学生はかなりのアルバイトを行って生活費を工面していることが分かる。深夜アルバイト率も 36.4%で同程度である。奨学金が収入の 80%以上のグループでは下宿・アパートの比率が 68.3%で生活費が 5 万円以上の比率の合計 63.4%と近い。生活費の多く（80%以上）を奨学金に頼りながら下宿・アパートの家賃などの生活費を賄うべくアルバイトしていることが分かる。

7. 4 まとめ

学部別では医学科の学生で実家から十分に経済的な支援を受けて恵まれた学生生活が経済状況の統計では目立つ一方で、毎日アルバイトを行う学生や深夜アルバイトを週 4 日以上行う学生が存在するなどが確認できた他は特筆すべき傾向はうかがえなかった。学生の経済状態の把握には学部の区別に大きな意味がないことが分かる。

次に居住形態で分けて統計を調べたところ、下宿とアパートに顕著な差は確認できずカテゴリーを分ける必要性はないことが分かった。また、下宿・アパートの学生の生活費は高いが、その他で顕著な点はない。学生寮の学生は奨学金の受給率、授業料免除率が高いがアルバイト率、深夜アルバイト率ともに全体とほぼ同じで、経済的に困難な状況にあることは確認できなかった。

最後に収入のうち 80%が実家から、奨学金、アルバイトの 3つのグループで経済状況を調べたところ、奨学金を主な収入としながら収入が 5 万円以上で下宿・アパートに住むグループは住居費・光熱費などの生活費の工面のためアルバイト率、深夜アルバイト率がほぼ 100%と高いことが分かった。また、ア

アルバイトが収入の80%以上の学生のうち、実家に居住する学生は生活費も低く、アルバイトも負担が軽いことが推察される。一方、下宿・アパートに暮らす生活費が5万円以上のグループでは深夜アルバイトなどで必要な生活費を得ていると推察される。奨学金が収入の80%以上を占め下宿・アパートに住む学生の比率は約10%、アルバイトが収入の80%以上を占め下宿・アパートに暮らす学生の比率は約3%であり合計13%になる。こうしたグループの学生は勉学の継続にアルバイトによる生活費の補填が必須という不安定な経済状況にあり、病気などでアルバイトが出来なくなったとき、学生生活の継続が直ちに困難になる。奨学金のグループでは授業料免除率もほぼ100%であり大学として経済的支援を行っている。一方、アルバイトが収入の80%以上で下宿・アパートのグループに関しては奨学金受給率47%、授業料免除率27%、深夜アルバイト率68%であり、奨学金や授業料免除などを必要に応じて利用できるかどうか、また、住居・光熱費の負担が軽くなる学生寮に入ることは出来なかったのか、など経済的支援が十分かどうか調査・フォローの必要があると考える。

(守 真太郎・橋本 美佐子)

付録 1 経年変化に関する結果

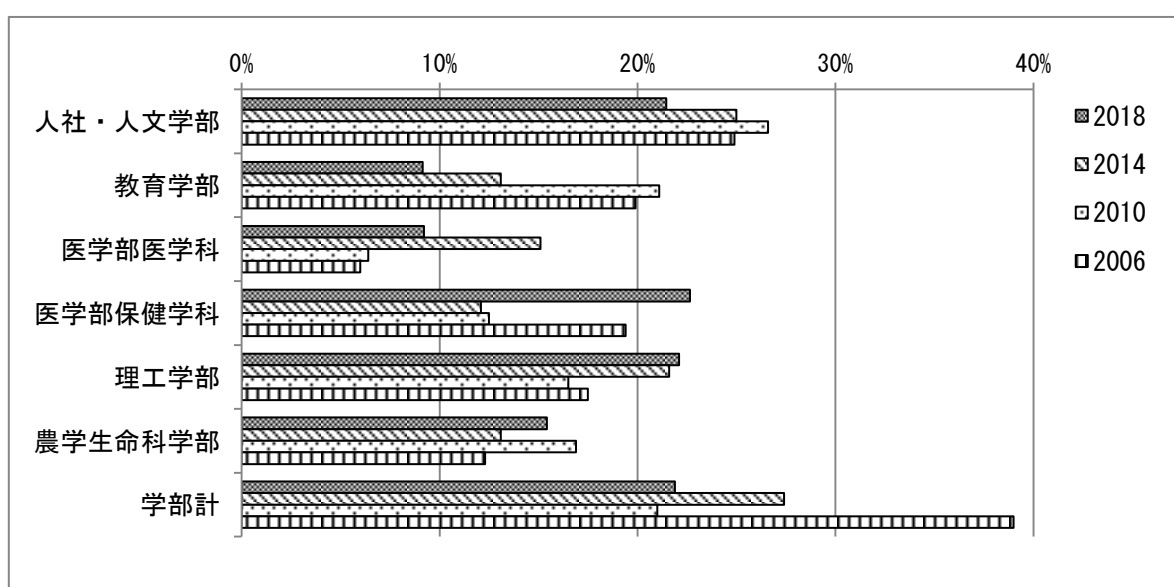
本学学生の生活や意識の変化を捉えるために、2006年から2018年までに実施された4期分の調査結果を用いて、12年間にわたる経年変化に関する結果を整理した。

なお、第8回調査にあたって、質問内容と数量の大幅な見直しを行ったため、図書館の利用目的、パソコン室の利用頻度、パソコン室の利用目的、仕事（アルバイト）の時間についての結果は除外している。

【学部生】

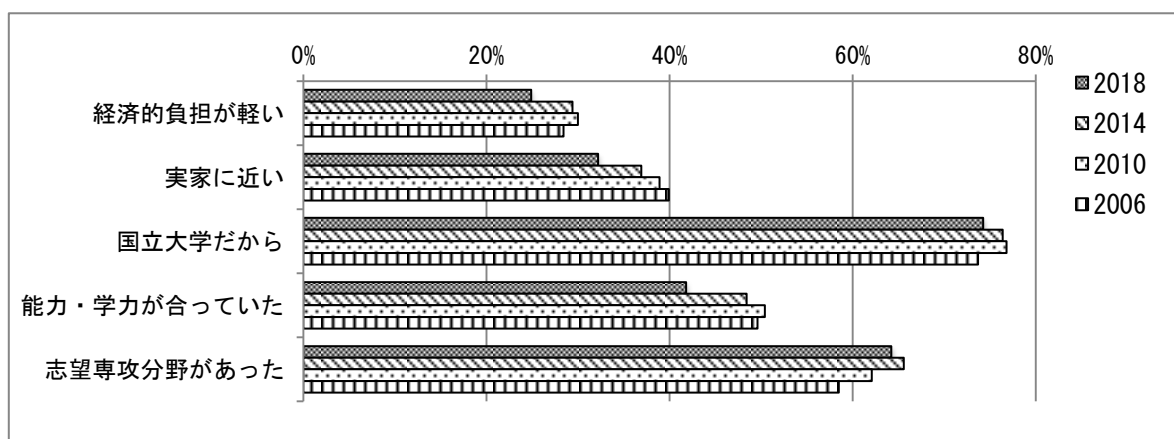
（1）学部学科別回収率の推移

2006年度調査の回答率は、約4割程度であったが、2010年からは3割を下回っている。Webベースに切り替えた2014年は多少の回復傾向は見られたが、今回の回答率は21.9%に留まった。



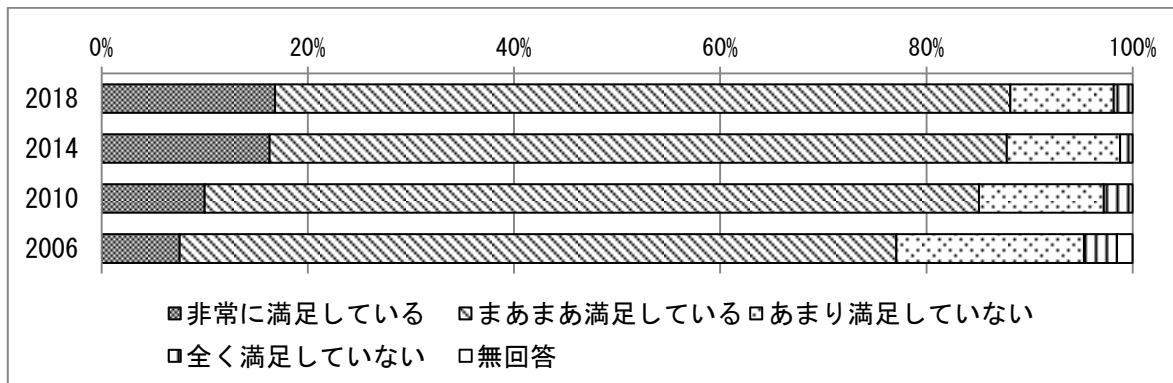
（2）弘前大学への志望理由（複数回答可）

例年と同様、志望理由として国立大学であること、志望専攻分野があったことが主な選択理由となっている。



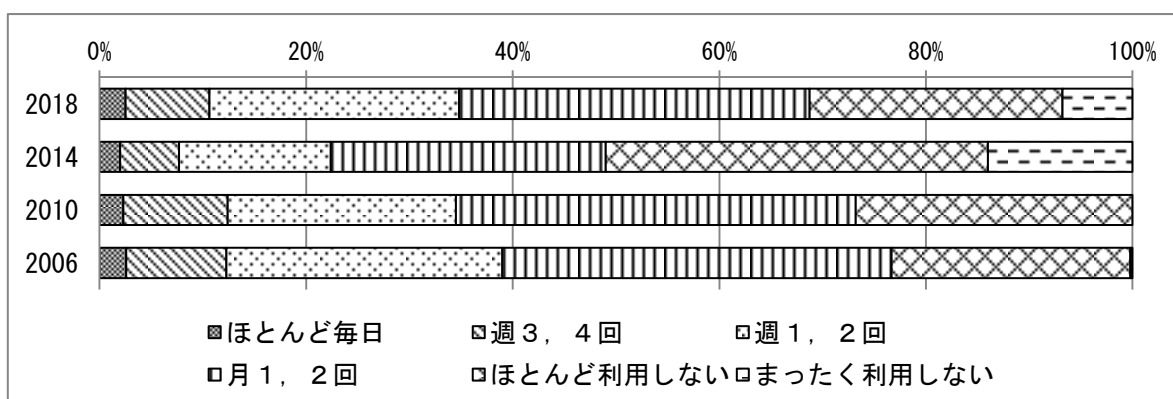
(3) 授業の満足度

学部生の授業満足度（非常に満足している，まあまあ満足している）は，年々上昇してきており，2018年度には，合わせて88%を超えている。



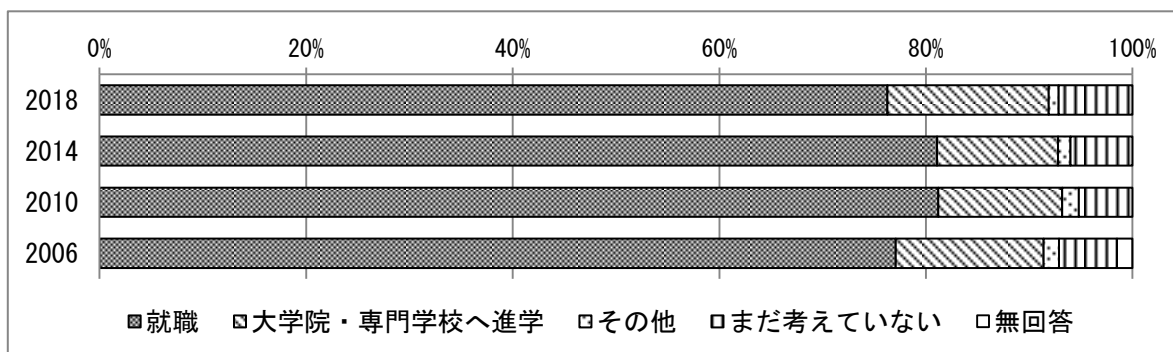
(4) 図書館の利用頻度

図書館の利用頻度は，2014年度に改修工事が行われたため落ち込んでいるが，2018年度は平年ベースに回復してきている。



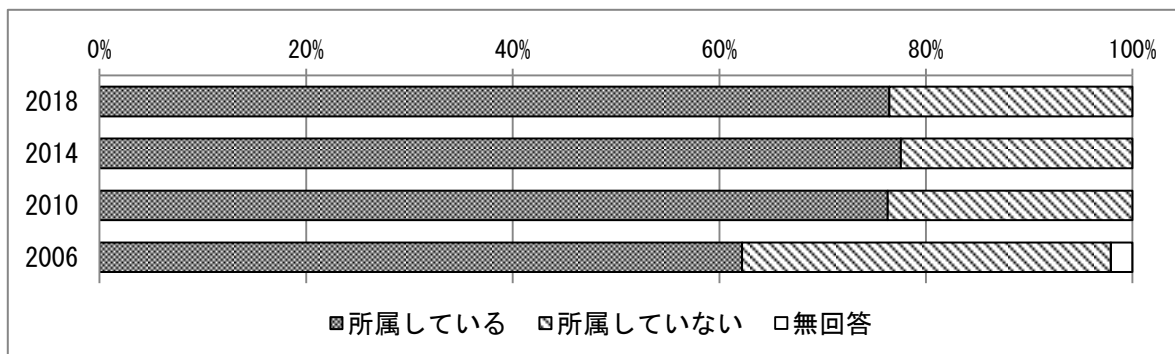
(5) 卒業後の希望進路

2018年度は就職希望がわずかに減少し，大学院・専門学校への進学が増加しており，これまでのうち，最高値である15.6%となった。



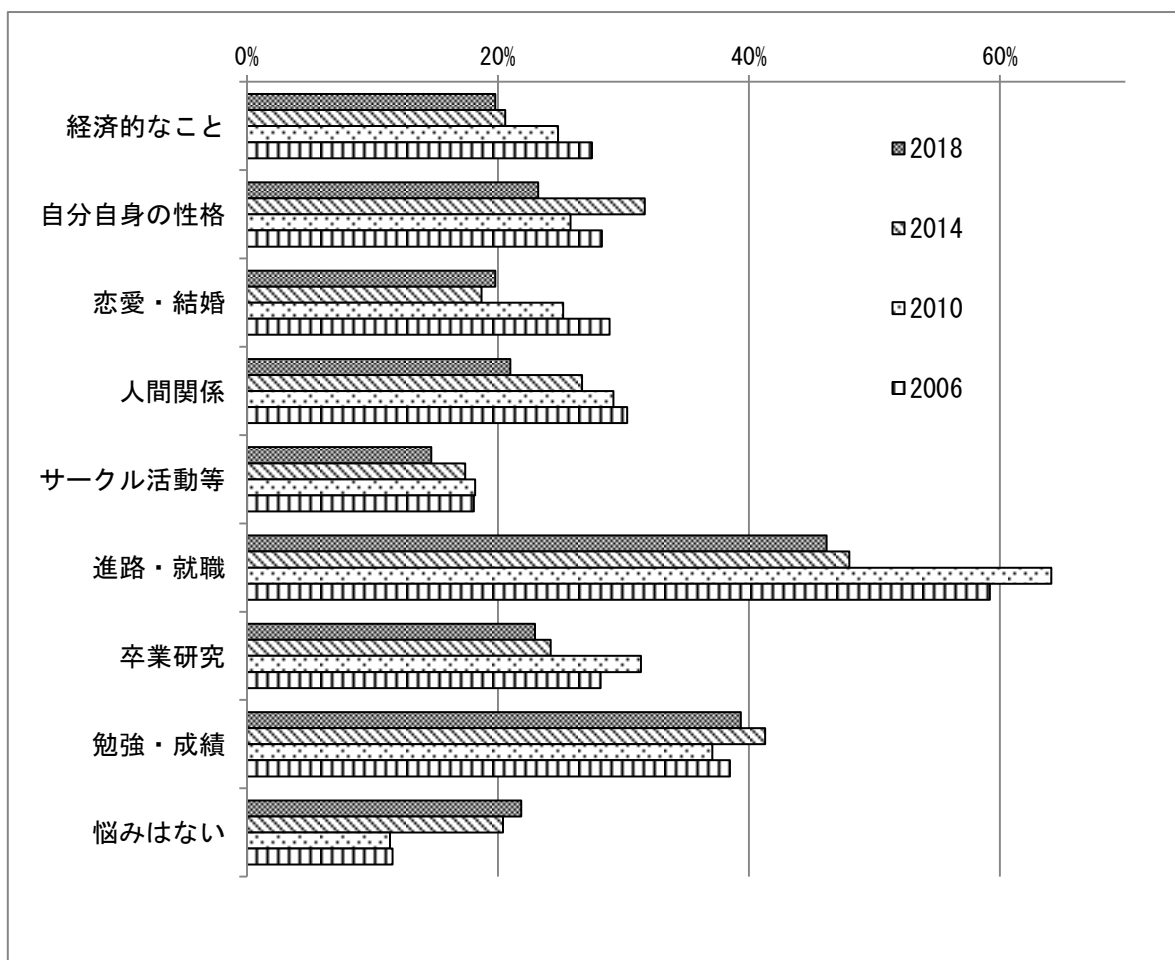
(6) クラブ・サークルへの所属

これまでの調査と同様の傾向となっており、80%弱の学部生がクラブ・サークルに所属している。



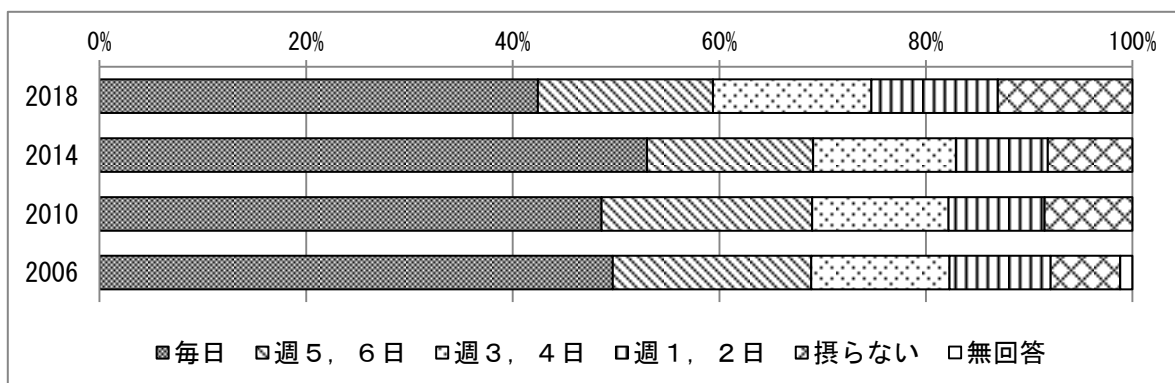
(7) 現在の悩み (複数回答可)

経済的なこと, 自分自身の性格, 人間関係の悩みが減少し, 「悩みがない」と回答する比率がわずかながら増加している。進路・就職, 勉強・成績の割合が多いのは, これまでと同様の傾向である。



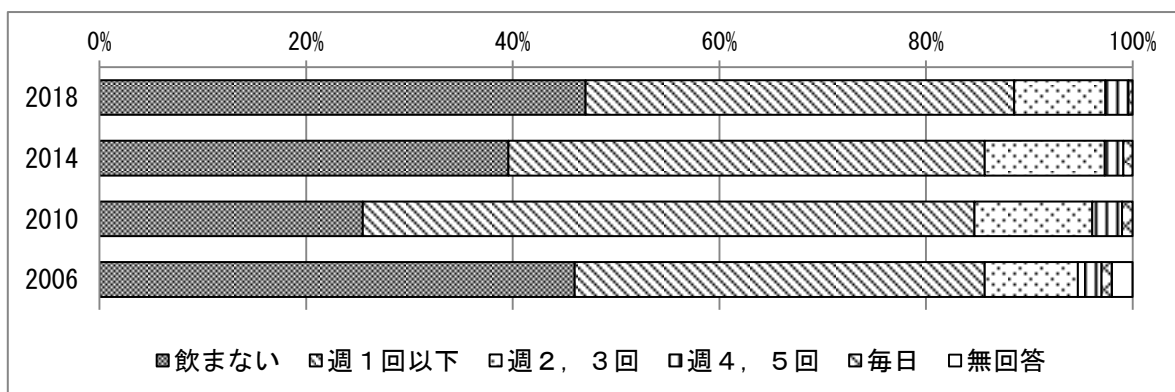
(8) 朝食を摂るか

朝食を毎日摂る割合が減少に転じ、摂らない割合が増加している。



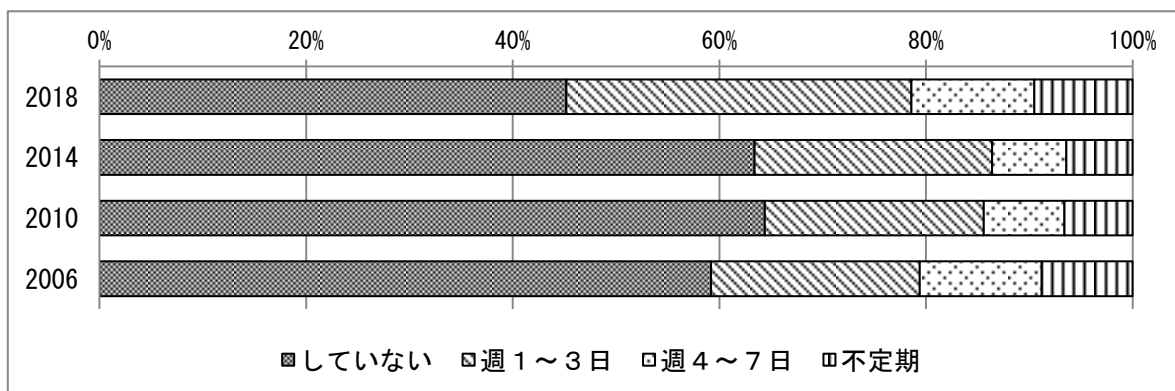
(9) 飲酒の頻度

これまで、「飲まない」または「週1回以下」の割合が85%程度であったのに対し、2018年度は88%を超え、増加傾向にある。



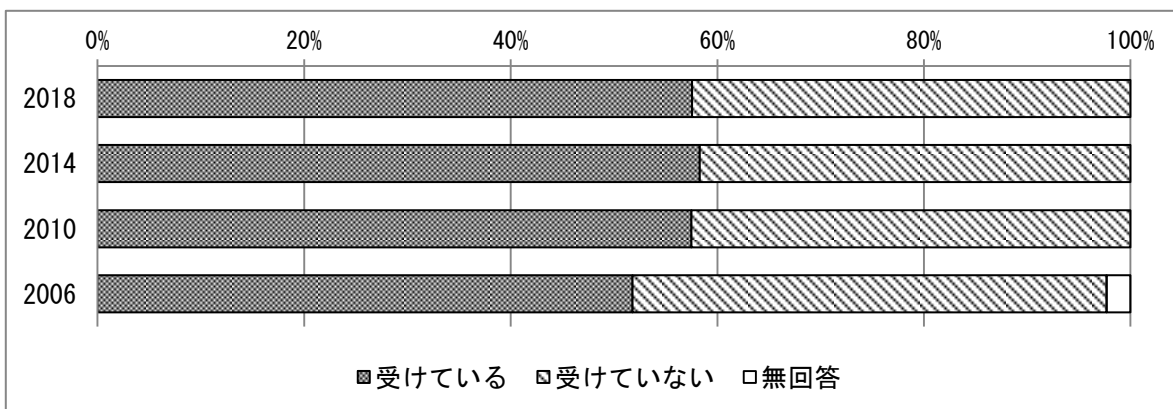
(10) アルバイトの頻度

これまで、アルバイトをしている学部生の割合は35%から40%程度であったが、2018年度は50%を超え、増加傾向にある。



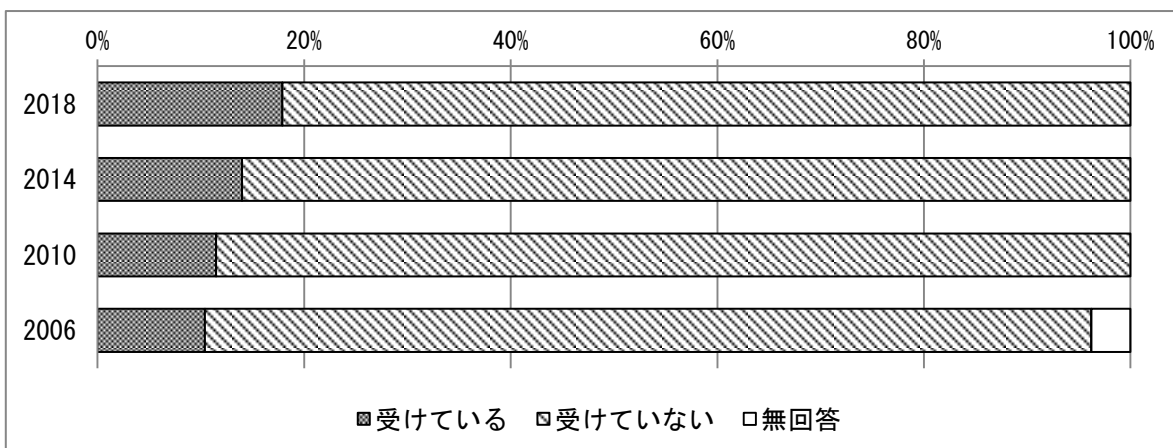
(11) 奨学金の受給状況

奨学金受給者の割合は、60%弱と例年同様の傾向となっている。



(12) 授業料免除の受給状況

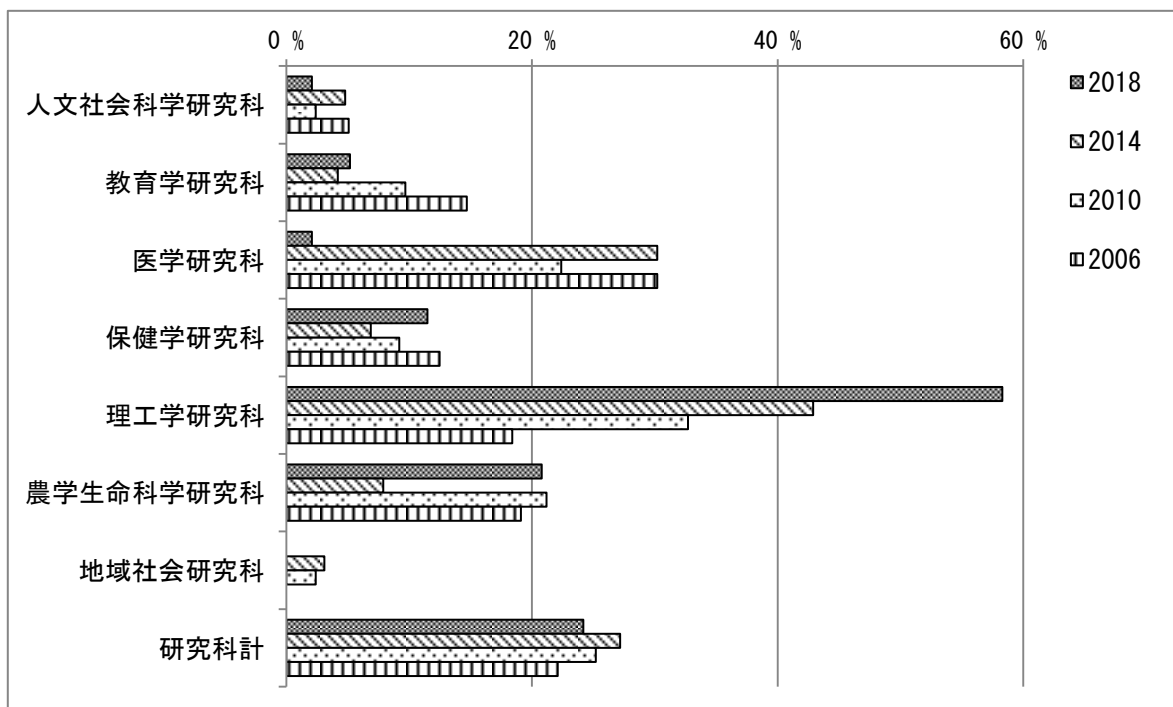
授業料免除者の割合は、年々、増加傾向にある。



【大学院生】

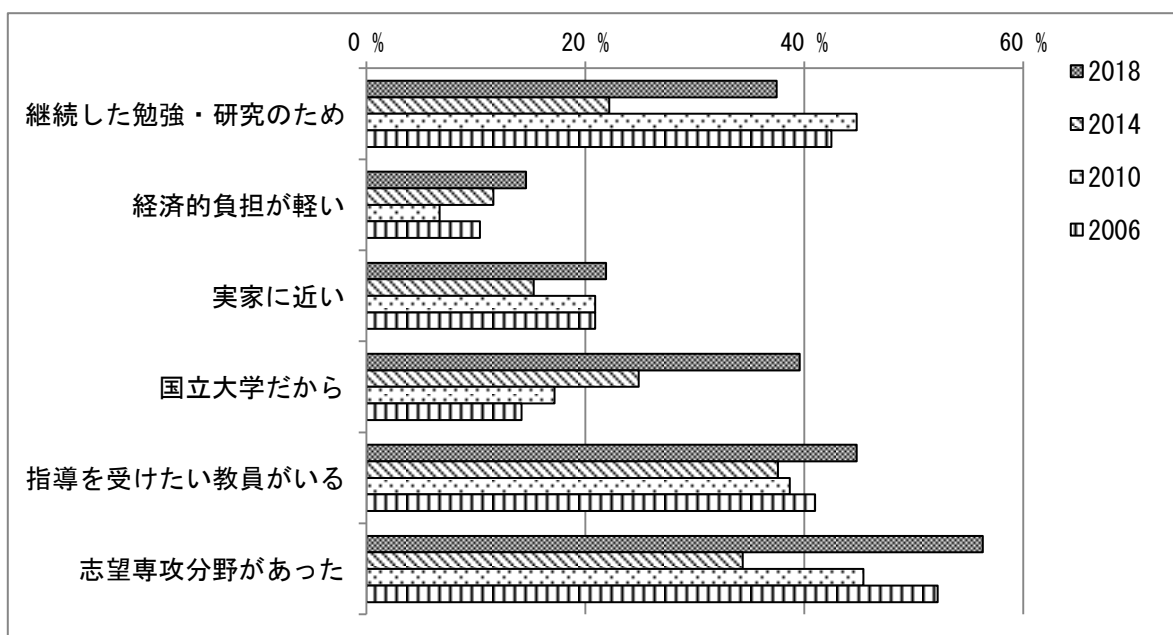
(13) 研究科別回収率の推移

2006年度調査の回答率は約2割強であり、2018年度まで20%台で推移している。



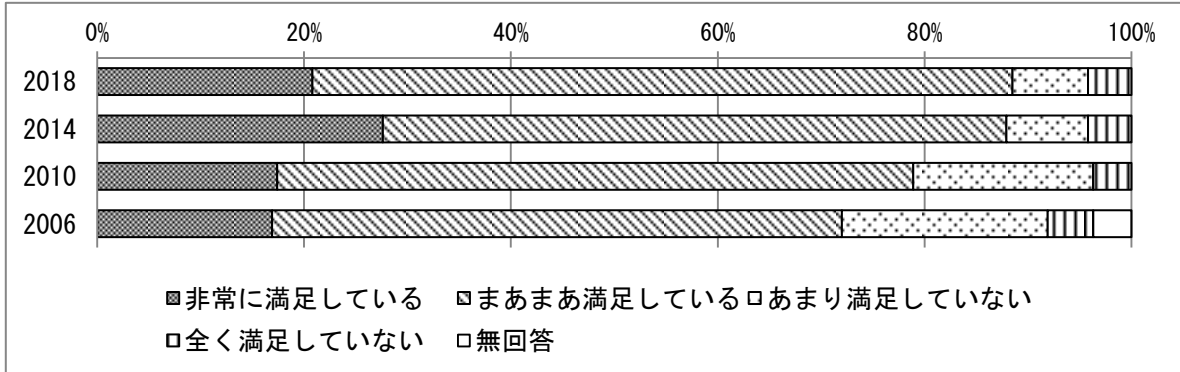
(14) 弘前大学大学院への志望理由（複数回答可）

継続した勉強・研究のため、国立大学であること、指導を受けたい教員がいること、志望専攻分野があることを志望理由にあげる大学院生の割合が大幅に増えている。



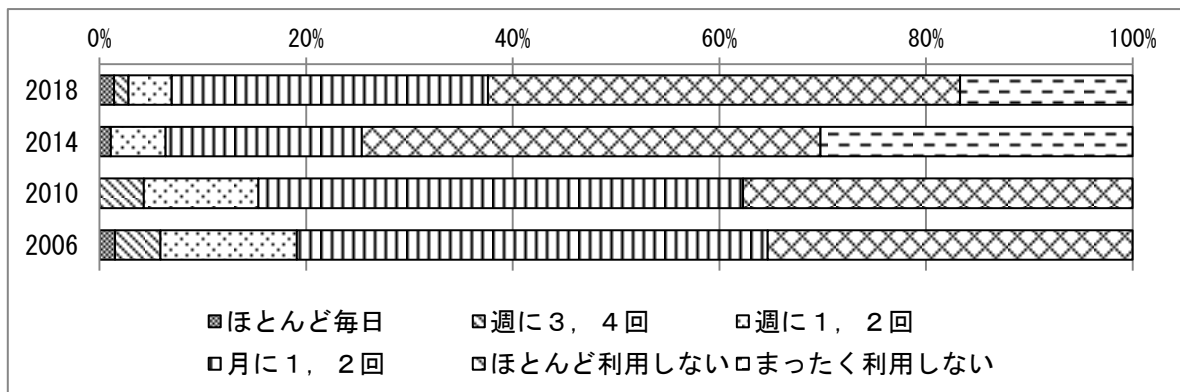
(15) 授業の満足度

大学院生の授業満足度（非常に満足している，まあまあ満足している）は，年々上昇してきており，2018年度には合わせて88%を超えている。



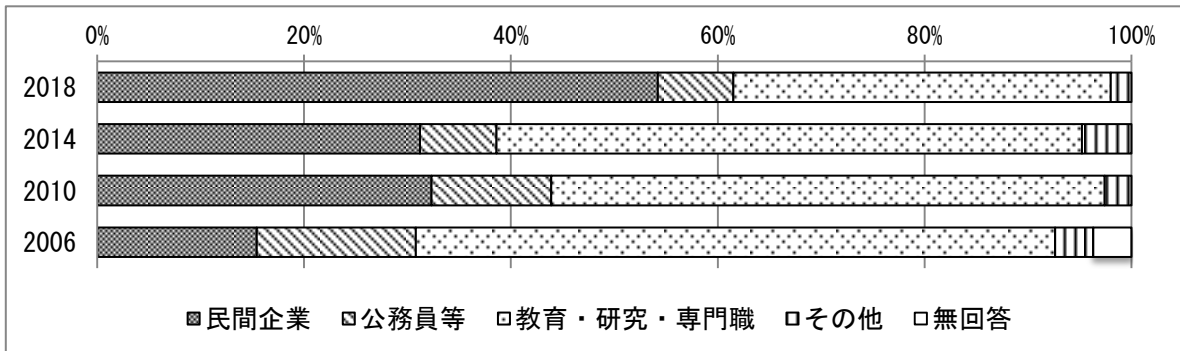
(16) 図書館の利用頻度

図書館の利用頻度は，2014年度に改修工事が行われたため落ち込んでおり，2018年度は利用者の割合は落ち込んでおり，2010年度及び2006年度と比較すると利用しない大学院生の割合が増加している。



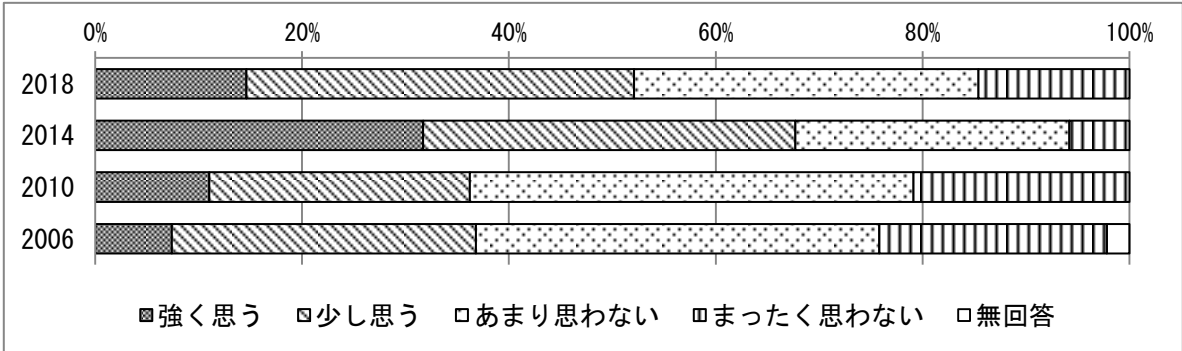
(17) 職業第一希望

2018年度は，民間企業への希望が著しく増加し，教育・研究・専門職への希望が20%程度の減少となった。



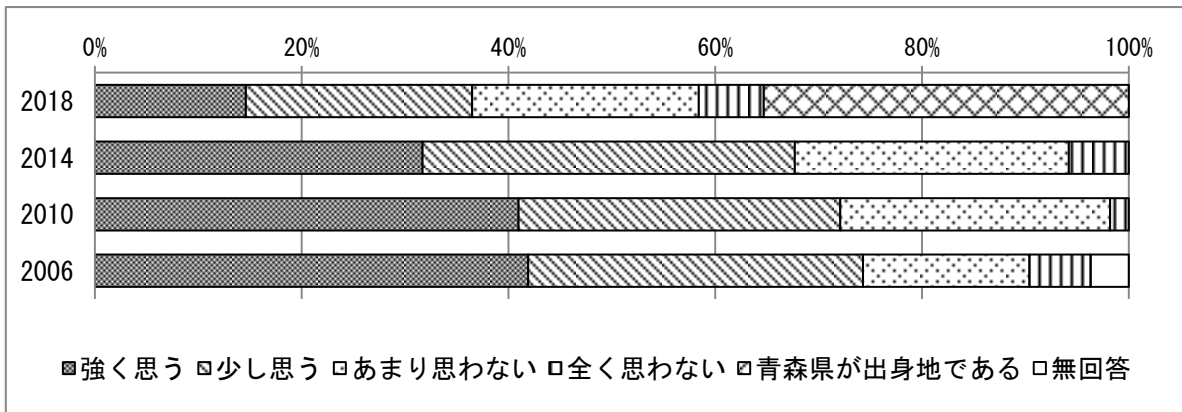
(18) 大都市で働いてみたいと思うか

前回調査と比較して、2018年度は「強く思う」の割合が17.1%減少し、「あまり思わない」の割合が6.8%増加している。



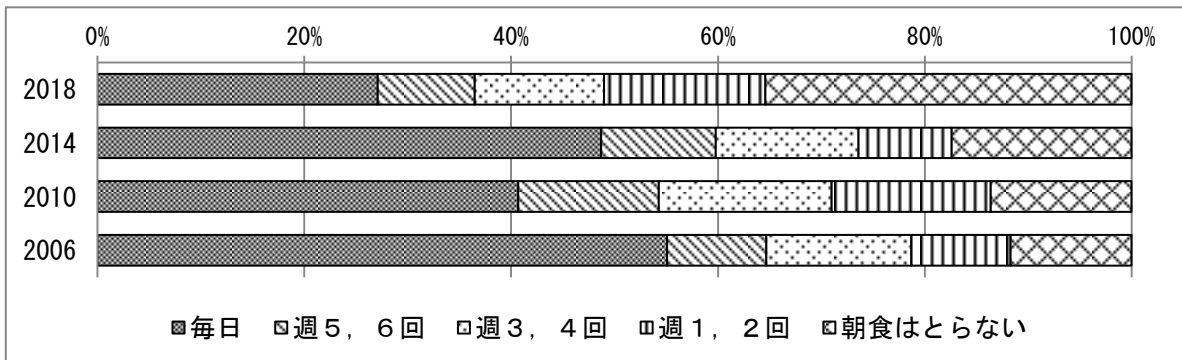
(19) いつかは出身地に戻りたいと思うか

「強く思う」の割合が大きく減少し、「あまり思わない」の割合も4.6%減少している。「青森県が出身地である」は、新しい回答項目である。県外出身者のうち、「強く思う」・「少し思う」大学院生は36.5%、「あまり思わない」・「全く思わない」者が28.2%となっている。



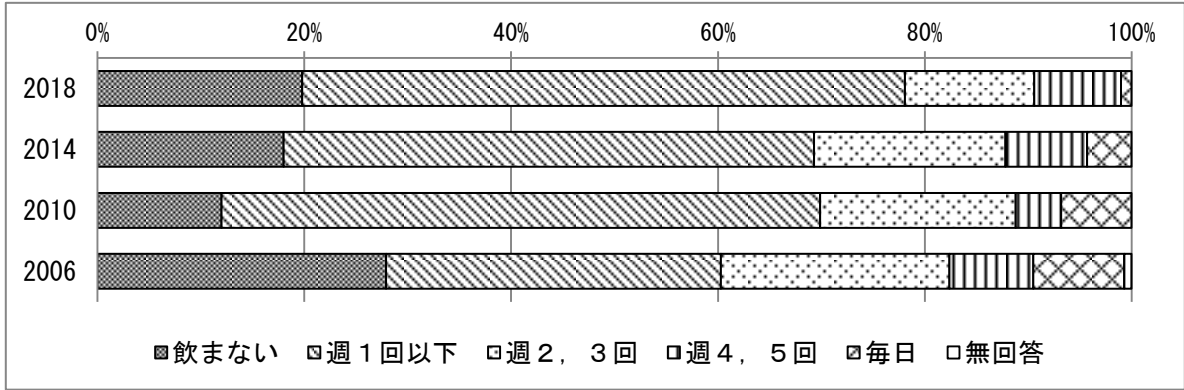
(20) 朝食を摂るか

学部生と同様、朝食を毎日摂る割合が減少に転じ、摂らない割合が増加している。



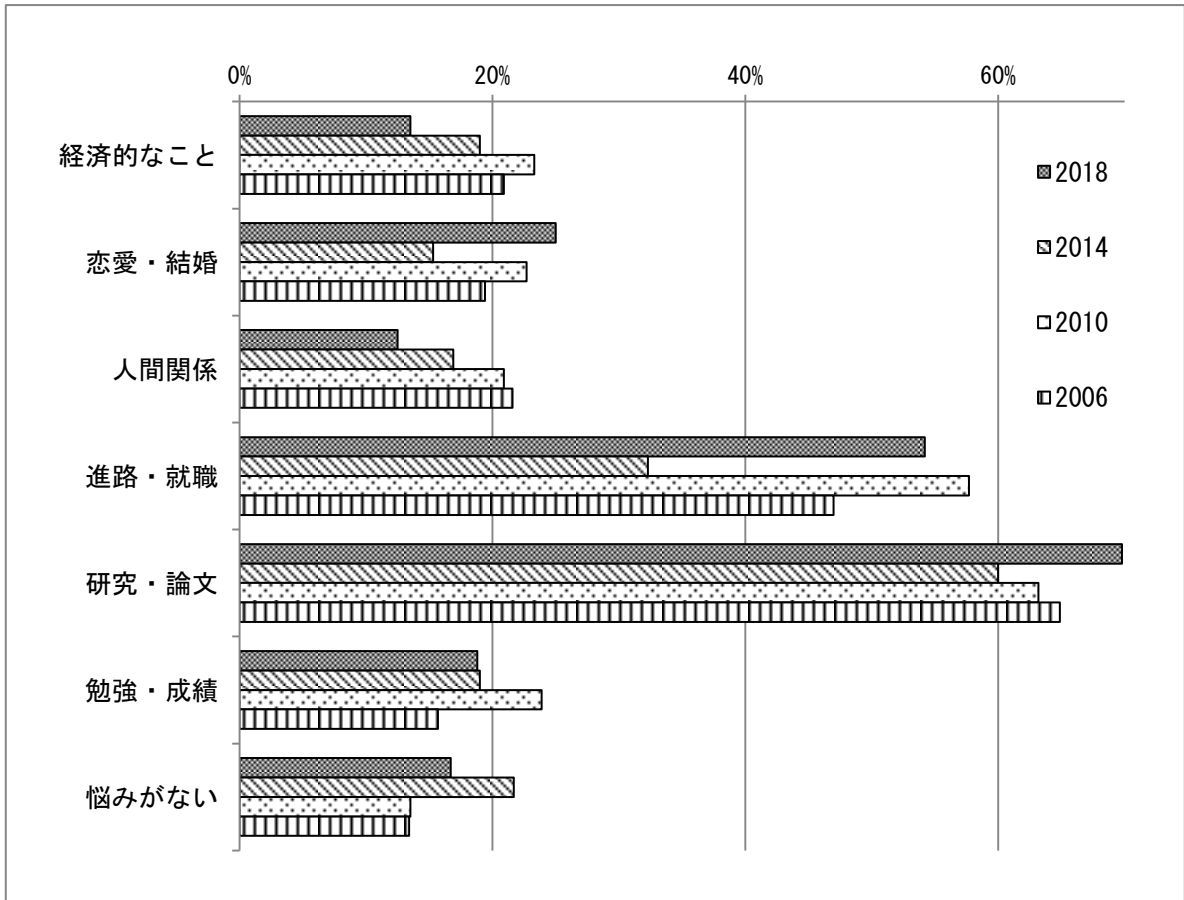
(21) 飲酒の頻度

これまで、「飲まない」または「週1回以下」の割合が70%未満であったのに対し、2018年度は78%を超え、増加傾向にある。



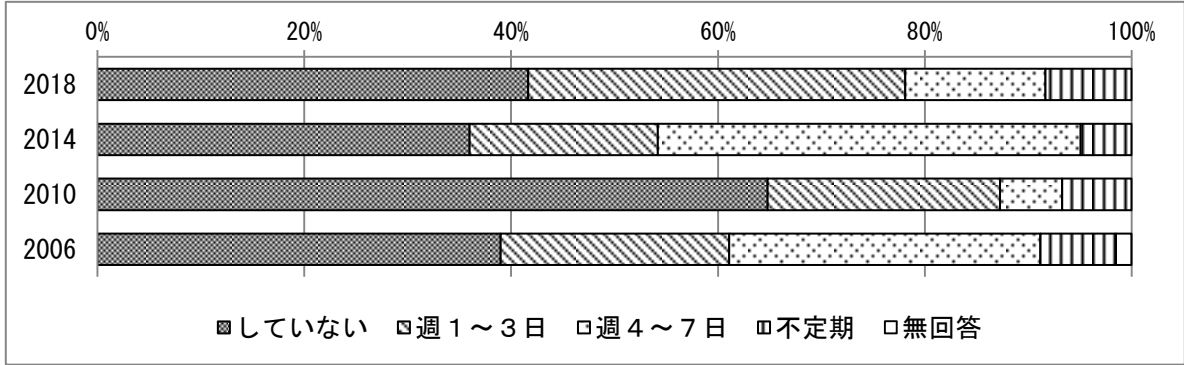
(22) 現在の悩み (複数回答可)

2018年度は、経済的なことの悩みは減少している。進路・就職，研究・論文に関する悩みの割合は同様の傾向を示しているが、悩みとして選択した大学院生の割合は増加している。



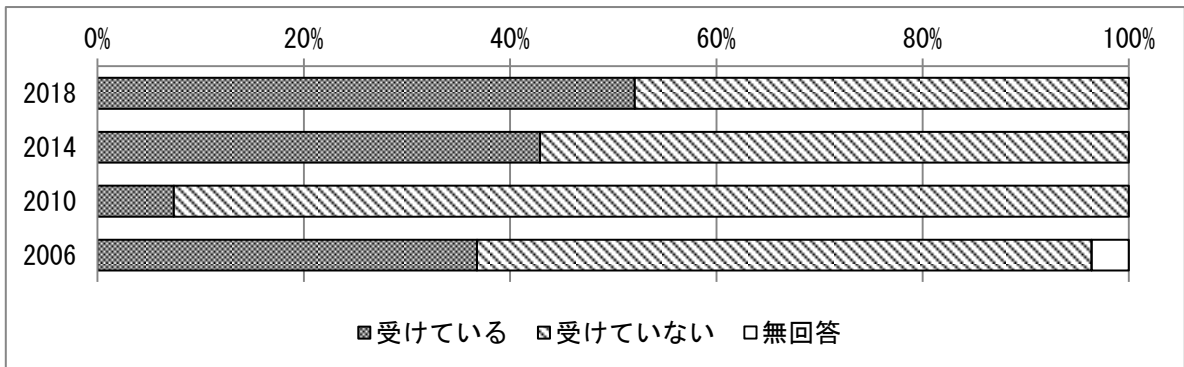
(23) アルバイトの頻度

アルバイトをしていない大学院生の割合は平均 45.4%であり，2018 年度も 41.7%で平均的な割合となっている。また，週 1～3 日の割合がこれまでの調査で最も多い 36.5%となっている。



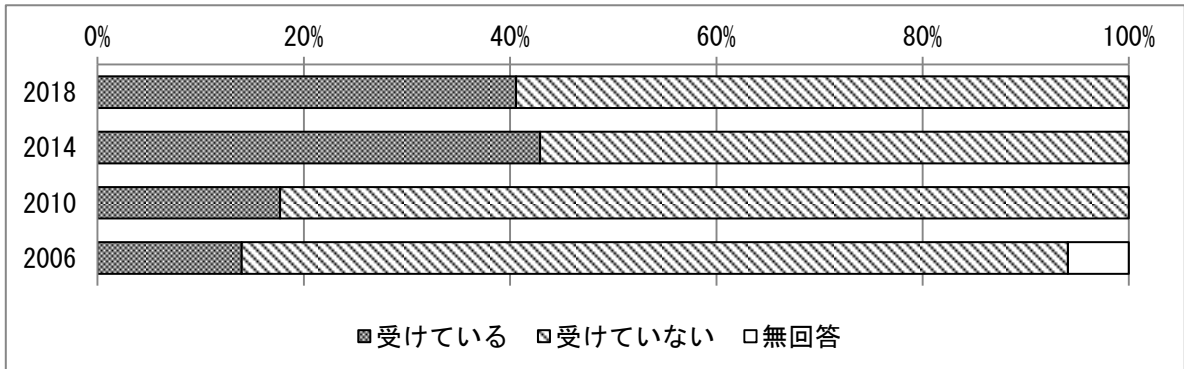
(24) 奨学金の受給状況

奨学金受給者の割合は，これまでの調査で最も多い 52.1%となっていて，初めて 50%を超えた。



(25) 授業料免除の受給状況

授業料免除者の割合は，前回の調査と比較して多少の減少となったが，約 4 割の大学院生が授業料免除を受けている。



(学生課 成田勇一)

付録2 WEB ベース調査による回答状況

第7回調査から、紙調査票ベースの調査をWebベースの調査に切り替えたことから、回答時間や回答を完了せずに終了したケース（回答未完了者）の特徴について、捕捉可能となった。

これらの情報から、アンケート調査設計上の問題点を整理しておきたい。

表A-1 回答完了者と回答未完了者の傾向 平成26年10月調査時

学部別	通知文 配付部数	回答 完了者数	回答完了率	回答 未完了者数	回答 未完了率
	a 人	b 人	$c=b \div a$ %	d 人	$e=d \div a$ %
人文学部	1,296	367	28.3	26	2.0
教育学部	883	193	21.9	21	2.4
医学部医学科	675	222	32.9	44	6.5
医学部保健学科	776	178	22.9	13	1.7
理工学部	1,078	317	29.4	24	2.2
農学生命科学部	653	191	29.2	17	2.6
学部名不明				19	
計	5,361	1,468	27.4	164	3.1
大学院生	695	189	27.2	29	4.2

表A-2 回答完了者と回答未完了者の傾向 平成30年10月調査時

学部別	調査対象 学生数	回答 完了者数	回答 完了率	回答 未完了者数	回答 未完了率
	a 人	b 人	$c=b \div a$ %	d 人	$e=d \div a$ %
人文社会学部	1,159	271	23.4	57	4.9
教育学部	776	115	14.8	18	2.3
医学部医学科	775	114	14.7	30	3.9
医学部保健学科	792	285	36.0	47	5.9
理工学部	1,401	279	19.9	64	4.6
農学生命科学部	845	194	23.0	59	7.0
学部名不明					
計	5,748	1,258	21.9	275	4.8
大学院生	397	96	24.2	4	1.0

まず、表 A-1 および A-2 に回答未完了者の傾向をまとめた。表 A-1 は平成 26 年 10 月、表 A-2 は平成 30 年 10 月調査時のデータである。

表 A-1 で学部生の場合、回答完了率 27.4%、回答未完了率 3.1%となっており、回答未完了者が最後まで回答していた場合、回答率は 30%を超えることとなる。

同じく、表 A-2 で学部生の場合、回答完了率 21.9%、回答未完了率 4.8%となっており、回答未完了者が最後まで回答していた場合、回答率は 25%を超えることとなる。

どちらも、回答未完了者が最後まで回答できていれば、より多くの学生の声を集めることができたものと思われる。

なお、大学院生の場合もほぼ同様の傾向が見られるが、サンプル数が少ないため、トータルでの掲載とした。

表 B-1 回答未完了者が回答に要した時間の分析（学部生）

回答に要した時間	人数	比率
10分未満	675人	53.7%
10～15分未満	332人	26.4%
15～20分未満	122人	9.7%
20～25分未満	42人	3.3%
25～30分未満	22人	1.7%
30～35分未満	15人	1.2%
35～40分未満	8人	0.6%
40分以上	42人	3.3%
計	1,258人	100.0%

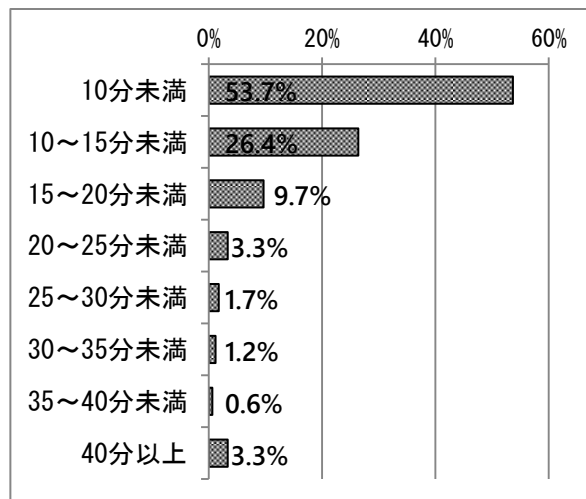
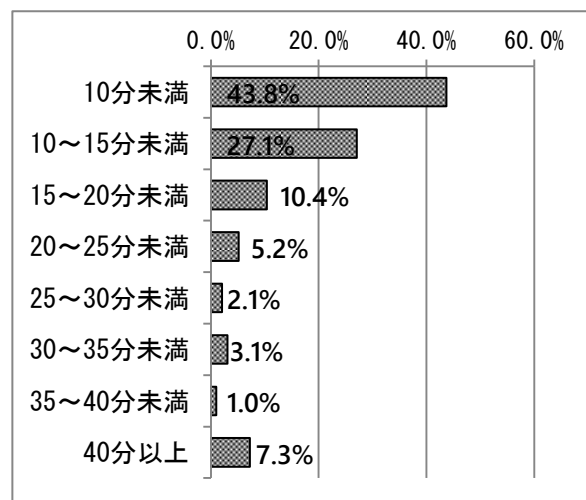


表 B-2 回答未完了者が回答に要した時間の分析（大学院生）

回答に要した時間	人数	比率
10分未満	42人	43.8%
10～15分未満	26人	27.1%
15～20分未満	10人	10.4%
20～25分未満	5人	5.2%
25～30分未満	2人	2.1%
30～35分未満	3人	3.1%
35～40分未満	1人	1.0%
40分以上	7人	7.3%
計	96人	100.0%



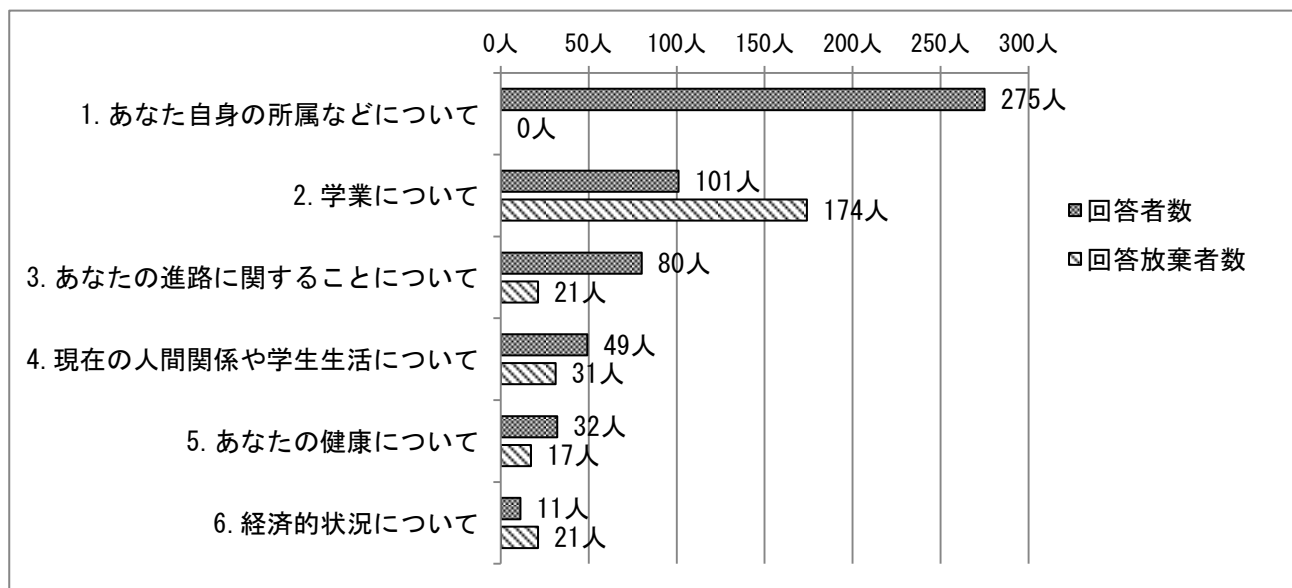
次に、表 B-1 および B-2 に全問回答完了者の回答に要した時間についてまとめた。表 B-1 は学部生、表 B-2 は大学院生のデータである。

今回のアンケートでは、質問数および質問内容の大幅な見直しを行ったことにより、回答に要する時間の短縮化が図られている。学部生も大学院生も 70%以上が 15 分未満で全問の回答を終えている。

表 C 回答未完了者の分析（学部生）

質問項目	質問項目の回答者数	質問項目の回答放棄者数	回答放棄率	回答に要した平均時間
1. あなた自身の所属などについて	275 人	0 人	0.0%	00 分 09 秒
2. 学業について	101 人	174 人	63.3%	03 分 28 秒
3. あなたの進路に関することについて	80 人	21 人	7.6%	05 分 39 秒
4. 現在の人間関係や学生生活について	49 人	31 人	11.3%	09 分 51 秒
5. あなたの健康について	32 人	17 人	6.2%	10 分 33 秒
6. 経済的状況について	11 人	21 人	7.6%	12 分 19 秒

学部生の回答未完了者数	275 人
-------------	-------



最後に表 C に回答未完了者の分析をまとめた。回答未完了者全員が質問項目 1 には回答し、質問項目 2 で 50%以上が回答を止めて終了している。

また、質問項目 6 まで回答しておきながら、回答未完了となっているのは、次の「ご意見、ご要望、ご批判」の後にある送信ボタンを押さずに画面を閉じた可能性もある。

よって、今後、項目内の質問数や送信ボタンの配置について、再考が必要と思われる。

(学生課 成田勇一)

付録3 調査票

第8回弘前大学学生生活実態調査

平成30年10月（学部生用）

学生生活実態調査専門委員会

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひとも率直に答えていただくよう、お願いいたします。
2. このアンケートは、個人差はありますが15分程度で回答が終わるもので、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号にチェックしていただくものがほとんどです。
3. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、何らかの不利益が生じることもありません。
4. 10月15日（月）までにご回答くださるようお願いいたします。
5. アンケートの結果は、平成31年4月に本学ホームページにて公開される予定です。

○はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問1 所属学部科

1. 人社・人文学部
2. 教育学部
3. 医学部医学科
4. 医学部保健学科
5. 理工学部
6. 農学生命科学部

問2 学年

1. 1年
2. 2年
3. 3年
4. 4年
5. (医・医) 5年
6. (医・医) 6年

○次に、学業についてお聞きします。

問3 大学進学を志望した理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 学問・研究をするため | 2. 専門的な知識や技術を習得するため |
| 3. 教養を身につけるため | 4. 社会人としての素養を身につけるため |
| 5. 資格をとるため | 6. 学歴を得るため |
| 7. 自由な学生生活を楽しむため | 8. スポーツや文化活動をするため |
| 9. 友人を作るため | 10. 親など周囲の人に勧められたため |
| 11. まだ就職したくなかったため | 12. その他 () |

問4 弘前大学は第一志望の大学でしたか。

1. はい 2. いいえ

問5 弘前大学を選んだ理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1. 自分の志望する専攻分野があったから | 2. 大学の特色・学風に惹かれたから |
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから | 4. 大学の施設・設備がよかったから |
| 5. 優れた教員がいると思ったから | 6. 国立大学（国立大学法人）だから |
| 7. 実家に近かったから | 8. 将来就職に有利だと思ったから |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 進路指導の先生に勧められたから | 12. 弘前の土地柄に惹かれたから |
| 13. 親もとを離れたかったから | 14. 生活環境がよいから |
| 15. 学生支援が充実しているから | 16. センター試験の結果から |
| 17. その他 () | |

問6 今年度の前期は全体としてどのくらい授業に出席しましたか。

- | | |
|----------------|----------------|
| 1. すべて出席している | 2. ほとんど出席している |
| 3. 半分くらい出席している | 4. ほとんど出席していない |
| 5. まったく出席していない | |

問7 授業を欠席する主な理由は、次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | | |
|------------------------|----------------|-------------|
| 1. 欠席はしていない | 2. 病気・けが | 3. 遊び |
| 4. 寝坊 | 5. サークル活動 | 6. アルバイト |
| 7. 自分の関心事の追求 | 8. 勉強の意欲がわからない | 9. 授業がつまらない |
| 10. ただ何となく | 11. その他 () | |

問8 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

1. 非常に満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. 全く満足していない

SQ1 [3, 4を選択した方に] 授業に満足していない理由についてあてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 授業が全体として難しすぎる
2. 授業がやさしすぎる
3. 授業内容に興味, 関心がもてない
4. 受講したい科目が少ない
5. 将来役に立たない科目が多い
6. 受講者が多すぎる
7. 必須科目が多すぎる
8. 単位取得や科目選択が制限されている
9. 施設・設備が不十分である
10. 学び方がわからない
11. その他 ()

SQ2 [3, 4を選択した方に] どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 基礎となる参考書を示してほしい
2. 基礎から分かりやすく説明してほしい
3. 例題や演習を増やしてほしい
4. 社会での必要性を示してほしい
5. 勉強の仕方を教えてほしい
6. 基礎科目を増やしてほしい
7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい

問9 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

1. よくある
2. ときどきある
3. あまりない
4. まったくない

問10 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上5時間未満
6. 5時間以上

問11 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

1. まったく利用しない
2. ほとんど利用しない
3. 月に1, 2回
4. 週に1, 2回
5. 週に3, 4回
6. ほとんど毎日

問12 大学が提供するパソコン環境に満足していますか。

1. 非常に満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない

問 13 どのような機器を所有し、インターネットに接続して利用していますか。利用しているものすべてをチェックしてください。

1. スマートフォン
2. スマートフォン以外の携帯電話
3. ノートパソコン
4. 自宅・自室にあるデスクトップパソコン
5. タブレット端末
6. その他 ()

問 14 所有する機器で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

1. まったく利用しない
2. 15分未満
3. 15分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 2時間以上3時間未満
7. 3時間以上5時間未満
8. 5時間以上

問 15 海外留学等についてお聞きします。

1. 考えていない
2. 留学してみたい

SQ【留学してみたい方に】その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 外国人と友達になりたい
2. 外国語で自由に話したい
3. 海外で生活・就職してみたい
4. その他 ()

○あなたの進路に関することについてお聞きします。

問 16 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

1. 就職
2. 本学の大学院へ進学
3. 国内の他大学の大学院へ進学
4. 海外の大学または大学院へ進学
5. 専門学校へ進学
6. まだ考えていない
7. その他 ()

SQ【大学院進学と答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. もっと勉強したいから
2. 将来、学問・研究の道に進みたいから
3. より高い学歴を得たいから
4. 就職や資格取得に有利だと思うから
5. 希望の職に就けなかったから
6. まだ就職したくないから
7. 友人が進学するから
8. その他 ()

問 17 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

1. 民間企業
2. 公務員・公的機関
3. 教育職
4. 研究職
5. 専門職（医師，看護師，会計士，税理士，弁護士など）
6. 家業を継ぐ・手伝う
7. 自分で起業する
8. フリーター
9. その他 ()

問 18 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

1. 強く思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない

問 19 いつかは出身地に帰りたいと思いますか。青森県出身の方は5を選んでください。

1. 強く思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない
5. 青森県が出身地である

問 20 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 知識や技能が活かせる
2. 独創性や創造性が発揮できる
3. 十分な収入が期待できる
4. 安定した生活が保障される
5. 社会的な地位・名声が得られる
6. 華やかな活躍ができる
7. 人や組織を動かすことができる
8. 自由な活動ができる
9. 人助けや社会奉仕ができる
10. 自分のための時間を作れる
11. 好きなことを仕事にできる
12. 転勤がない

13. 家業を継ぐこと

14. 就職したい地域

15. その他 ()

問 21 弘前大学ではキャリアセンターを設置しています。このセンターを利用していますか。

1. 利用している

2. 利用していない

SQ【利用していないと答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 利用する必要がある

2. 存在を知らなかった

3. その他 ()

○現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問 22 あなたは現在学内のクラブやサークルに所属していますか。

1. 所属している
2. 所属していない

SQ1【所属している方に】施設や大学の支援に満足していますか。

1. はい
2. いいえ

【いいえを選択した方に】

満足していない理由をお知らせください ()

問 23 あなたには現在、友達と呼べる人はいますか。学内と学外それぞれについて答えてください。

- | | | |
|-----------------------|--------|-------|
| (1) 学内の友達…………… | 1. いない | 2. いる |
| (2) 学内の友達で特に親しいといえる人… | 1. いない | 2. いる |
| (3) 学外の友達…………… | 1. いない | 2. いる |
| (4) 学外の友達で特に親しいといえる人… | 1. いない | 2. いる |

問 24 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. うまくいっている | 2. だいたいうまくいっている |
| 3. あまりうまくいっていない | 4. まったくうまくいっていない |

問 25 平日の授業の空き時間を過ごすのは主にどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | | |
|------------------|------------------|-------------|
| 1. 研究室や実習・実験室 | 2. 空き教室 | |
| 3. クラブ・サークルの部室 | 4. 生協の店舗（書店・食堂等） | |
| 5. 図書館 | 6. 大学会館 | |
| 7. キャンパスの庭（ベンチ等） | 8. 学生ホール | |
| 9. 学外 | 10. 自宅 | 11. その他 () |

問 26 ニュースについてお聞きします。あなたはニュースをどのくらいの頻度で見ますか？

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. ニュースは見ない | 2. 週に1～2日 | 3. 週に3～4日 |
| 4. 週に5～6日 | 5. 毎日 | |

SQ1【ニュースを見ると答えた方（問26で2～5と答えた方）に】

ニュースをどの媒体で見ますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 新聞 2. テレビ 3. インターネット 4. その他 ()

SQ2【問 26 でニュースを見ると答えた方に】

関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. トップニュース 2. 社会 3. 政治 4. 経済
5. 国際 6. 文化 7. 家庭 8. IT・科学
9. スポーツ 10. エンタメ 11. 地域・地方

問 27 SNS (Twitter, Facebook, Instagram, LINE など) についてお聞きします。利用している SNS として、あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. Twitter 2. Facebook 3. Instagram 4. LINE
5. Snapchat 6. その他 7. 使用していない

【6 と答えた方に】それは何ですか。()

SQ1【7 と答えた人以外の方に】一日にどのくらい SNS を利用していますか。

1. 30 分未満 2. 30 分以上 1 時間未満
3. 1 時間以上 2 時間未満 4. 2 時間以上

SQ2 SNS やインターネットでトラブルに遭遇したことがありますか。

1. ある
2. ない

SQ3【SQ2 で 1 あると答えた方へ】

どのようなトラブルでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. LINE などでの悪口を言われたり、仲間はずれにであったりした
2. ゲームへの高額課金をしてしまった
3. 個人への脅迫行為をされた
4. SNS への投稿内容から個人が特定された
5. 自分のアカウントを不正に利用された
6. 詐欺にあった
7. 架空請求をされた
8. SNS 上で知り合った人から実際に会おうとしつこく勧誘された
9. 自分の名前や写真を無断で使用された
10. 自分のパソコンやスマートフォンがウイルス等に感染した
11. 宗教団体やセールスなどからしつこく勧誘された

12. その他 ()

問 28 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

1. 徒歩 2. 自転車 3. バイク 4. 自家用車 5. 公共交通機関

SQ1 【自転車ですてまで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない 2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

○あなたの健康についてお聞きします。

問 29 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

1. 朝食はとらない 2. 1～2日 3. 3～4日 4. 5～6日 5. 毎日

問 30 ふだんの睡眠についてお聞きします。

(1) 睡眠時間はどれくらいですか。

1. 6時間以下 2. 7～8時間 3. 9時間以上

(2) 睡眠状況はいかがですか。

1. よい 2. わるい

SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 寝つきが悪い 2. 途中で目が覚める 3. 昼夜逆転している
4. 疲れがとれない 5. その他 ()

問 31 たばこを吸っていますか。

1. 吸っている
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない
3. 吸っていない

SQ【吸っていると答えた方に】1日何本吸っていますか。1日 () 本ぐらい

問 32 受動喫煙（喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと）の機会は1週間にどれくらいありますか。

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 1～2日 4. 3～6日 5. 毎日

問 33 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

1. 飲まない 2. 週に1回以下 3. 週に2～3回
4. 週に4～5回 5. 毎日

問 34 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. スポーツをしている
2. なるべく歩くなど体を動かすようにしている
3. 自然・健康食品をとるように心がけている

4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している
5. 栄養剤, 栄養飲料をとっている
6. 規則正しい生活をするよう心がけている
7. 健康診断を年に1回以上受けている
8. 体調をチェックする
9. 特に心がけていることはない

問 35 現在のあなたの健康状態はどうか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問 36 体や心について, よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱がある
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他 ()

問 37 現在, 悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 卒業研究や論文のこと
4. 進路や就職のこと
5. クラブ・サークル活動のこと
6. 人間関係のこと
7. 恋愛や結婚のこと
8. 自分自身の性格のこと
9. 健康上のこと
10. 性(セックス)に関して
11. 経済的なこと
12. 家庭環境や家族のこと
13. その他 ()

問 38 ふだん悩みにどのように対処することが多いですか。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
2. 誰かに相談することが多い
3. 悩みはあるが特に何もせず, なりゆきに任せることが多い。
4. 悩みはあるが, 相談する人がいない。
5. その他()

SQ【誰かに相談することが多いと答えた方に】主に相談するのは誰ですか。あてはまるものすべて

をチェックしてください。

1. 友人
2. 先輩
3. 家族
4. 親戚
5. 教員
6. 事務職員
7. 保健管理センター
8. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）
9. SNS ホットライン
10. その他の SNS
11. その他（ ）

問 39 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

1. 知っている
2. 知らなかった

SQ【知っていると答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 入学式の説明で
2. 学部学科のオリエンテーションで
3. 学生生活ガイドで
4. ホケカン健康手帳で
5. 友達から聞いて
6. 先生から
7. その他（ ）

問 40 あなたは大学をやめたいと思ったことがありますか。

1. ない
2. ある

SQ【あると答えた方に】そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 学部、学科が合わない
2. 自分の能力に合わない
3. 授業がおもしろくない
4. 進路変更
5. 遊びたい
6. 経済的理由
7. 家庭の事情
8. 日常生活（暮らし）の問題
9. 恋愛・結婚問題
10. 就職に不利
11. 興味をなくした（目的喪失）
12. 他にやりたいことを見つけた
13. 学生同士の間人間関係
14. 教員との関係
15. 単位を取れなかった（留年した）から
16. その他（ ）

○最後に経済的状况についてお聞きします。

以下の質問は、学部生のみなさんの経済状况を把握し、授業料免除や奨学金などの本学における経済的支援制度の充実と改善につなげることを目的としています。また、このウェブ調査から得られた回答は秘匿されています。本調査の趣旨をご理解のうえ、是非ご協力をお願いします。

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

支 出

1. 5万円未満 2. 5万円以上 10万円未満 3. 10万円以上 15万円未満
4. 15万円以上

支出の内訳

食費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40% 5. 40%以上

住居・光熱費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40% 5. 40%以上

娯楽費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40% 5. 40%以上

勉学費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40% 5. 40%以上

通信費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40% 5. 40%以上

収 入

1. 5万円未満 2. 5万円以上 10万円未満 3. 10万円以上 15万円未満
4. 15万円以上

収入の内訳

実家から

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満 5. 80%以上

奨学金

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満 5. 80%以上

アルバイト

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満 5. 80%以上

問 42 現在、アルバイトをしていますか。

1. している 2. していない

SQ1 【アルバイトをしている方に】週に何日、アルバイトをしていますか。

1. 1～3日 2. 4～6日 3. 毎日 4. 不定期

SQ2 【SQ1 で 1, 2, 3 を選択した方に】一日当たりのアルバイトの時間は何時間ですか。

1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2時間以上

SQ3 【アルバイトをしている方に】深夜（午後 10 時から午前 6 時）にアルバイトをしていますか。

1. してない 2. 週 1 日程度 3. 週 2～3 日 4. 週 4 日以上

問 43 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰（どこ）から出ていますか。

1. 親 2. 親戚 3. 奨学金 4. アルバイト
5. 授業料は免除されている 6. その他（ ）

問 44 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

(1) これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある
2. その他の奨学金に申し込んだことがある
3. 申し込んだことがない

(2) 現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている
2. その他の奨学金を受けている
3. 奨学金を受けていない

(3) 今年度、授業料免除を申し込みましたか …… 1. はい 2. いいえ

(4) 今年度、授業料免除を受けていますか …… 1. はい 2. いいえ

問 45 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他（ ）

○ご意見, ご要望, ご批判

大学へのご意見, ご要望, ご批判などありましたら, この欄に自由にお書きください。

学生生活実態調査アンケートにご協力いただき, 誠にありがとうございました。

第8回弘前大学学生生活実態調査

平成30年10月（大学院生用）

学生生活実態調査専門委員会

1. このアンケートは、4年に一度、全学的に実施されるもので、大学の教育改善の基礎資料となります。お忙しいところ恐れ入りますが、ぜひとも率直に答えていただくよう、お願いいたします。
2. このアンケートは、個人差はありますが15分程度で回答が終わるもので、ふだんの生活や考えに最も近いと思われる選択肢の番号にチェックしていただくものがほとんどです。
3. 回答は統計的に処理され、全体の傾向をつかむために用いられます。あなたの答えが個人として分析されることは絶対にありません。お答えにより、何らかの不利益が生じることもありません。
4. 10月15日（月）までにご回答くださるようお願いいたします。
5. アンケートの結果は、平成31年4月に本学ホームページにて公開される予定です。

○はじめに、あなた自身の所属などについてお尋ねします。

問1 所属研究科

修士課程・博士前期課程

- | | | |
|--------------|--------------|-----------|
| 1. 人文社会科学研究科 | 2. 教育学研究科 | 3. 保健学研究科 |
| 4. 理工学研究科 | 5. 農学生命科学研究科 | |

博士課程・博士後期課程・後期3年博士課程

- | | | |
|------------|-----------|-----------|
| 1. 医学研究科 | 2. 保健学研究科 | 3. 理工学研究科 |
| 4. 地域社会研究科 | | |

問2 学年

修士課程・博士前期課程

- | | |
|-------|-------|
| 1. 1年 | 2. 2年 |
|-------|-------|

医学研究科博士課程

- | | | | |
|-------|-------|-------|-------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 | 4. 4年 |
|-------|-------|-------|-------|

博士後期課程・後期3年博士課程

- | | | |
|-------|-------|-------|
| 1. 1年 | 2. 2年 | 3. 3年 |
|-------|-------|-------|

問3 出身大学等

- | | | |
|---------|------------|------------|
| 1. 弘前大学 | 2. 他大学（日本） | 3. 他大学（海外） |
| 4. 短期大学 | 5. 高等専門学校 | 6. 各種学校等 |

- | | |
|---------------------------------|---------------------|
| 3. 自分の能力・学力に合っていたから | 4. 大学の施設・設備がよかったから |
| 5. 指導を受けたい教員がいたから | 6. 国立大学（国立人学法人）だから |
| 7. 実家に近かったから | 8. 将来就職に有利だと思ったから |
| 9. 授業料などの経済的負担が軽いから | 10. 親など周囲の人に勧められたから |
| 11. 指導教員の勧めがあったから | 12. 良い評判を聞いたから |
| 13. 継続した勉強や研究ができるから | 14. 学生支援が充実しているから |
| 15. 1つの大学院だけの入試では不安であったから | |
| 16. その他（ ） | |

問8 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 非常に満足している | 2. まあまあ満足している |
| 3. あまり満足していない | 4. まったく満足していない |

SQ1 [3, 4を選択した方に] 授業に不満を感じる理由についてあてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | |
|---------------------------------|-------------------------|
| 1. 授業が全体として難しすぎる | 2. 授業がやさしすぎる |
| 3. 授業内容に興味、関心がもてない | 4. 受講したい科目が少ない |
| 5. 将来役に立たない科目が多い | 6. 受講者が多すぎる |
| 7. 必須科目が多すぎる | 8. 単位取得や科目選択が制限されている |
| 9. 施設・設備が不十分である | 10. 学び方がわからない |
| 11. 教員の教え方になじめない | 12. 教員の授業に対する熱意や工夫が足りない |
| 13. 資料の収集方法がわからない | 14. 実験等のやり方に不安がある |
| 15. その他（ ） | |

SQ2 [3, 4を選択した方に] どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | |
|--------------------------------|----------------------|
| 1. 基礎となる参考書を示してほしい | 2. 基礎から分かりやすく説明してほしい |
| 3. 例題や演習を増やしてほしい | 4. 社会での必要性を示してほしい |
| 5. 勉強の仕方を教えてほしい | 6. 基礎科目を増やしてほしい |
| 7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい | |
| 8. その他（ ） | |

問9 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

- | | | | |
|---------|-----------|----------|-----------|
| 1. よくある | 2. ときどきある | 3. あまりない | 4. まったくない |
|---------|-----------|----------|-----------|

問10 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上3時間未満
5. 3時間以上5時間未満
6. 5時間以上

問 11 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

1. まったく利用しない
2. ほとんど利用しない
3. 月に1, 2回
4. 週に1, 2回
5. 週に3, 4回
6. ほとんど毎日

問 12 大学が提供するパソコン環境に満足していますか。

1. 非常に満足している
2. まあまあ満足している
3. あまり満足していない
4. まったく満足していない

問 13 どのような機器を所有し、インターネットに接続して利用していますか。利用しているものすべてをチェックしてください。

1. スマートフォン
2. スマートフォン以外の携帯電話
3. ノートパソコン
4. 自宅・自室にあるデスクトップパソコン
5. タブレット端末
6. その他 ()

問 14 所有する機器で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

1. まったく利用しない
2. 15分未満
3. 15分以上30分未満
4. 30分以上1時間未満
5. 1時間以上2時間未満
6. 2時間以上3時間未満
7. 3時間以上5時間未満
8. 5時間以上

問 15 海外留学等についてお聞きします。

1. 考えていない
2. 留学してみたい

SQ【留学してみたい方】に、その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 外国人と友達になりたい
2. 外国語で自由に話したい
3. 海外で生活・就職してみたい
4. その他 ()

○あなたの進路に関することについてお聞きします。

問 16 あなたは修了後の進路についてどのように考えていますか。

1. 就職
2. 本学の博士課程へ進学
3. 岩手連合大学院へ進学
4. 国内の他大学の大学院へ進学
5. 海外の大学院へ進学
6. 専門学校へ進学
7. まだ考えていない
8. その他 ()

問 17 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

1. 民間企業
2. 公務員・公的機関
3. 教育職
4. 研究職
5. 専門職（医師，看護師，会計士，税理士，弁護士など）
6. 家業を継ぐ・手伝う
7. 自分で起業する
8. フリーター
9. その他 ()

問 18 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

1. 強く思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない

問 19 いつかは出身地に帰りたいと思いますか。青森県出身の方は5を選んでください。

1. 強く思う
2. 少し思う
3. あまり思わない
4. まったく思わない
5. 青森県が出身地である

問 20 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 知識や技能が活かせる
2. 独創性や創造性が発揮できる
3. 十分な収入が期待できる
4. 安定した生活が保障される
5. 社会的な地位・名声が得られる
6. 人や組織を動かすことができる
7. 人助けや社会奉仕ができる
8. 自分のための時間を作れる
9. 好きなことを仕事にできる
10. 転勤がない
11. 家業を継ぐこと
12. 就職したい地域
13. その他 ()

問 21 就職または進学について、教員や大学に希望することは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい
2. 大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい
3. 教員にもっと人材育成に積極的であってほしい

4. 教員にもっと積極的に助言, 指導, 斡旋をしてほしい
5. 特に希望することはない
6. その他 ()

問 22 学生就職支援センターを利用しますか。

1. 利用している
2. 利用していない

SQ【利用していないと答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 利用する必要がある
2. 存在を知らなかった
3. その他 ()

○現在の人間関係や学生生活についてお聞きします。

問 23 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

- | | | |
|----------------------|--------|-------|
| (1) 学内の友達 | 1. いない | 2. いる |
| (2) 学内の友達で特に親しいと言える人 | 1. いない | 2. いる |
| (3) 学外の友達 | 1. いない | 2. いる |
| (4) 学外の友達で特に親しいと言える人 | 1. いない | 2. いる |

問 24 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

- | | |
|-----------------|------------------|
| 1. うまくいっている | 2. だいたいうまくいっている |
| 3. あまりうまくいっていない | 4. まったくうまくいっていない |

問 25 ニュースについてお聞きします。あなたはニュースをどのくらいの頻度で見ますか？

- | | | |
|-------------|-----------|-----------|
| 1. ニュースは見ない | 2. 週に1～2日 | 3. 週に3～4日 |
| 4. 週に5～6日 | 5. 毎日 | |

SQ1【ニュースを見ると答えた方（問 25 で 2～5 と答えた方）に】

ニュースをどの媒体で見ますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | | | |
|-------|--------|------------|------------|
| 1. 新聞 | 2. テレビ | 3. インターネット | 4. その他 () |
|-------|--------|------------|------------|

SQ2【問 25 でニュースを見ると答えた方に】

関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | | | |
|------------|----------|-----------|----------|
| 1. トップニュース | 2. 社会 | 3. 政治 | 4. 経済 |
| 5. 国際 | 6. 文化 | 7. 家庭 | 8. IT・科学 |
| 9. スポーツ | 10. エンタメ | 11. 地域・地方 | |

問 26 SNS (Twitter, Facebook, Instagram, LINE など) についてお聞きします。使用している SNS として、あてはまるものすべてをチェックしてください。

- | | | | |
|-------------|-------------|--------------|---------|
| 1. Twitter | 2. Facebook | 3. Instagram | 4. LINE |
| 5. Snapchat | 6. その他 | 7. 使用していない | |

【6. その他 と答えた方に】使用している SNS ()

SQ1【7. と答えた人以外の方に】

一日にどのくらい SNS を見ていますか。

1. 30分未満
2. 30分以上1時間未満
3. 1時間以上2時間未満
4. 2時間以上

SQ2 SNSやインターネットでトラブルに遭遇したことがありますか。

1. ある
2. ない

SQ3【SQ2で1.あると答えた方へ】

どのようなトラブルでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. LINEなどで悪口を言われたり、仲間はずれにあたりした
2. ゲームへの高額課金をしてしまった
3. 個人への脅迫行為をされた
4. SNSへの投稿内容から個人が特定された
5. 自分のアカウントを不正に利用された
6. 詐欺にあった
7. 架空請求をされた
8. SNS上で知り合った人から実際に会おうとしつこく勧誘された
9. 自分の名前や写真を無断で使用された
10. 自分のパソコンやスマートフォンがウイルスに等に感染した
11. 宗教団体などからしつこく勧誘された
12. その他（ ）

問27 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

1. 徒歩
2. 自転車
3. バイク
4. 自家用車
5. 公共交通機関

SQ1【自転車で大学まで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない
2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

SQ2【自家用車で大学まで来る方に】自家用車の利用についてお聞きします。

(1) 自家用車をとめるのはどこですか。

1. 大学の駐車場
2. 構外の有料駐車場
3. その他

(2) 駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

1. 十分で問題はない
2. 不足しているが、特に困っていない
3. 不足していて困っている

○あなたの健康についてお聞きします。

問 28 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

1. 朝食はとらない 2. 1～2日 3. 3～4日 4. 5～6日 5. 毎日

問 29 ふだんの睡眠についてお聞きします。

(1) 睡眠時間はどれくらいですか。

1. 6時間以下 2. 7～8時間 3. 9時間以上

(2) 睡眠状況はいかがですか。

1. よい 2. わるい

SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 寝つきが悪い 2. 途中で目が覚める 3. 昼夜逆転している
4. 疲れがとれない 5. その他 ()

問 30 たばこを吸っていますか。

1. 吸っている
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない
3. 吸っていない

SQ【吸っていると答えた方に】1日何本吸っていますか。1日 () 本ぐらい

問 31 受動喫煙（喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと）の機会は1週間にどれくらいありますか。

1. まったくない 2. ほとんどない 3. 1～2日 4. 3～6日
5. 毎日

問 32 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

1. 飲まない 2. 週に1回以下 3. 週に2～3回
4. 週に4～5回 5. 毎日

問 33 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. スポーツをしている
2. なるべく歩くなど体を動かすようにしている
3. 自然・健康食品をとるように心がけている

4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している
5. 栄養剤, 栄養飲料をとっている
6. 規則正しい生活をするよう心がけている
7. 健康診断を年に一回以上受けている
8. 体調をチェックする
9. 特に心がけていることはない

問 34 現在のあなたの健康状態はどうか。

1. 良好
2. 病気ではないと思うが調子が悪い
3. 受診してはいないが病気だと思う
4. 病気やけがで通院治療中である

問 35 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自覚症状はない
2. 疲れる
3. 食欲がない
4. よく眠れない
5. 頭痛がする
6. 胃腸の調子が悪い
7. よく熱がある
8. 便秘しやすい
9. 下痢しやすい
10. イライラする
11. 集中力の低下
12. 無力感がある
13. 憂鬱になる
14. その他 ()

問 36 現在、悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 悩みはない
2. 勉強や成績のこと
3. 修士・博士論文のこと
4. 研究のこと
5. 進路や就職のこと
6. クラブ・サークル活動のこと
7. 人間関係のこと
8. 恋愛や結婚のこと
9. 自分自身の性格のこと
10. 健康上のこと
11. 性(セックス)に関して
12. 経済的なこと
13. 家庭環境や家族のこと
14. 仕事のこと
15. その他 ()

問 37 ふだん悩みにどのように対処することが多いですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 自分自身で解決できるように努力することが多い
2. 誰かに相談することが多い
3. 特に何もせず, なりゆきに任せることが多い
4. その他 ()

SQ 【誰かに相談することが多いと答えた方に】主に相談するのは誰ですか？あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 友人
2. 先輩
3. 家族
4. 親戚
5. 教員
6. 事務職員
7. 保健管理センター
8. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）
9. 職場の上司
10. 職場の同僚
11. SNSほっとラインなど（公的機関）
12. その他のSNS
13. その他（ ）

問 38 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

1. 知っている
2. 知らなかった

SQ 【知っていると答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 入学式の説明で
2. 学部学科のオリエンテーションで
3. 学生生活ガイドで
4. ホケカン健康手帳で
5. 友達から聞いて
6. 先生から
7. その他（ ）

問 39 あなたは大学院をやめたいと思ったことがありますか。

1. ない
2. ある

SQ 【あると答えた方に】そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 研究科，講座等が合わない
2. 自分の能力に合わない
3. 授業がおもしろくない
4. 進路変更
5. 遊びたい
6. 経済的理由
7. 家庭の事情
8. 日常生活（暮らし）の問題
9. 恋愛・結婚問題
10. 就職に不利
11. 興味をなくした（目的喪失）
12. 他にやりたいことを見つけた
13. 学生同士の人間関係
14. 教員との関係
15. 仕事の事情
16. 単位を取れなかった（留年した）から
17. その他（ ）

○最後に経済的状況についてお聞きします。

以下の質問は、大学院生のみなさんの経済状況を把握し、授業料免除や奨学金などの本学における経済的支援制度の充実と改善につなげることを目的としています。また、このウェブ調査から得られた回答は秘匿されています。本調査の趣旨をご理解のうえ、是非ご協力をお願いします。

問 40 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

支 出

1. 5万円未満 2. 5万円以上 10万円未満 3. 10万円以上 15万円未満
4. 15万円以上

支出の内訳

食費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40%
5. 40%以上

住居・光熱費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40%
5. 40%以上

娯楽費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40%
5. 40%以上

勉学費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40%
5. 40%以上

通信費

1. 10%未満 2. 10%～20% 3. 20%～30% 4. 30%～40%
5. 40%以上

収 入

1. 5万円未満 2. 5万円以上 10万円未満 3. 10万円以上 15万円未満
4. 15万円以上

収入の内訳

実家から

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満

5. 80%以上

奨学金

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満

5. 80%以上

アルバイト

1. 0% 2. 20%未満 3. 20%～50%未満 4. 50%～80%未満

5. 80%以上

問 41 現在、仕事（アルバイトを含む）をしていますか。

1. している 2. していない

SQ1 【仕事（アルバイトを含む）をしている方に】週に何日、仕事をしていますか。

1. 1～3日 2. 4～6日 3. 毎日 4. 不定期

SQ2 【SQ1 で 1. 2. 3 を選択した方に】一日当たりのアルバイトの時間は何時間ですか。

1. 1時間未満 2. 1～2時間 3. 2時間以上

SQ3 【アルバイトをしている方に】深夜（午後 10 時から午前 6 時）にアルバイトをしていますか。

1. してない 2. 週 1 日程度 3. 週 2～3 日 4. 週 4 日以上

問 42 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰（どこ）から出ていますか。

1. 親 2. 親戚 3. 奨学金 4. あなた自身の仕事（アルバイトを含む）
5. 授業料は免除されている 6. その他（ ）

問 43 奨学金や授業料免除についてお聞きします。

(1) これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある
2. その他の奨学金に申し込んだことがある
3. 申し込んだことがない

(2) 現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている
2. その他の奨学金を受けている
3. 奨学金を受けていない

(3) 今年度、授業料免除を申し込みましたか …… 1. はい 2. いいえ

(4) 今年度、授業料免除を受けていますか …… 1. はい 2. いいえ

問 44 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

1. 実家 2. 下宿 3. アパート 4. 学生寮 5. その他 ()

○ご意見, ご要望, ご批判

大学へのご意見, ご要望, ご批判などありましたら, この欄に自由にお書きください。

学生生活実態調査アンケートにご協力いただき, 誠にありがとうございました。

付録4 単純集計表

附属統計表（学部生 男女比率）

問1 所属学部科

学部	男		女		合計	
1. 人社・人文学部	107人	8.5%	163人	13.0%	270人	21.5%
2. 教育学部	35人	2.8%	80人	69.6%	115人	9.1%
3. 医学部医学科	53人	4.2%	63人	54.3%	116人	9.2%
4. 医学部保健学科	73人	5.8%	212人	74.4%	285人	22.7%
5. 理工学部	207人	16.5%	71人	25.5%	278人	22.1%
6. 農学生命科学部	94人	7.5%	100人	7.9%	194人	15.4%
計	569人	45.2%	689人	54.8%	1,258人	100.0%

問2 学年

学年	男		女		合計	
1. 1年	204人	16.2%	223人	17.7%	427人	33.9%
2. 2年	129人	10.3%	173人	13.8%	302人	24.0%
3. 3年	118人	9.4%	157人	12.5%	275人	21.9%
4. 4年	108人	8.6%	132人	10.5%	240人	19.1%
5. (医・医) 5年	5人	0.4%	4人	0.3%	9人	0.7%
6. (医・医) 6年	5人	0.4%	0人	0.0%	5人	0.4%
計	569人	45.2%	689人	54.8%	1,258人	100.0%

問3 大学進学を志望した理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 学問・研究をするため	53.4%	45.3%	49.0%
2. 専門的な知識や技術を習得するため	62.7%	66.5%	64.8%
3. 教養を身につけるため	38.1%	36.0%	37.0%
4. 社会人としての素養を身につけるため	30.1%	25.0%	27.3%
5. 資格をとるため	30.1%	49.5%	40.7%
6. 学歴を得るため	52.4%	53.6%	53.0%
7. 自由な学生生活を楽しむため	28.6%	27.6%	28.1%
8. スポーツや文化活動をするため	10.5%	7.8%	9.1%
9. 友人を作るため	18.3%	15.8%	16.9%
10. 親など周囲の人に勧められたため	12.5%	16.0%	14.4%
11. まだ就職したくなかったため	14.4%	14.7%	14.5%
12. その他	0.9%	0.9%	0.9%

問4 弘前大学は第一志望の大学でしたか。

項目	男	女	合計
1. はい	43.4%	50.8%	47.5%
2. いいえ	56.6%	49.2%	52.5%

問5 弘前大学を選んだ理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自分の志望する専攻分野があったから	60.1%	67.6%	64.2%
2. 大学の特色・学風に惹かれたから	6.7%	8.4%	7.6%
3. 自分の能力・学力に合っていたから	41.1%	42.4%	41.8%
4. 大学の施設・設備がよかったから	3.7%	5.2%	4.5%
5. 優れた教員がいたと思ったから	3.7%	4.5%	4.1%
6. 国立大学（国立大学法人）だから	70.5%	77.4%	74.2%
7. 実家に近かったから	30.2%	33.8%	32.2%
8. 将来就職に有利だと思ったから	7.2%	8.1%	7.7%
9. 授業料などの経済的負担が軽いから	24.6%	25.1%	24.9%
10. 親など周囲の人に勧められたから	10.2%	12.0%	11.2%
11. 進路指導の先生に勧められたから	11.2%	14.8%	13.2%
12. 弘前の土地柄に惹かれたから	5.3%	5.2%	5.2%
13. 親もとを離れたかったから	9.0%	10.2%	9.6%
14. 生活環境がよいから	4.4%	2.2%	3.2%
15. 学生支援が充実しているから	0.5%	1.7%	1.2%
16. センター試験の結果から	39.7%	36.4%	37.9%
17. その他	1.6%	1.9%	1.7%

問6 今年度の前期は全体としてどのくらい授業に出席しましたか。

項目	男	女	合計
1. すべて出席している	54.5%	60.1%	57.6%
2. ほとんど出席している	40.1%	37.2%	38.5%
3. 半分くらい出席している	1.9%	1.5%	1.7%
4. ほとんど出席していない	2.1%	1.2%	1.6%
5. まったく出席していない	1.4%	0.1%	0.7%

問7 授業を欠席する主な理由は、次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
2. 病気・けが	33.6%	50.2%	42.1%
3. 遊び	6.2%	3.3%	4.7%
4. 寝坊	60.2%	43.6%	51.7%
5. サークル活動	4.2%	4.4%	4.3%
6. アルバイト	2.7%	2.5%	2.6%
7. 自分の関心事の追求	9.3%	7.3%	8.2%
8. 勉強の意欲がわかない	14.7%	12.4%	13.5%
9. 授業がつまらない	18.5%	12.7%	15.5%
10. ただ何となく	8.9%	9.1%	9.0%
11. その他	0.4%	2.5%	1.5%

問8 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

項目	男	女	合計
1. 非常に満足している	17.9%	16.0%	16.9%
2. まあまあ満足している	66.3%	75.5%	71.3%
3. あまり満足していない	12.5%	8.0%	10.0%
4. 全く満足していない	3.3%	0.6%	1.8%

問8 SQ1【3, 4を選択した方に】授業に満足していない理由についてあてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 授業が全体として難しすぎる	28.9%	20.3%	25.5%
2. 授業がやさしすぎる	7.8%	8.5%	8.1%
3. 授業内容に興味, 関心をもてない	52.2%	57.6%	54.4%
4. 受講したい科目が少ない	25.6%	25.4%	25.5%
5. 将来役に立たない科目が多い	17.8%	18.6%	18.1%
6. 受講者が多すぎる	4.4%	6.8%	5.4%
7. 必須科目が多すぎる	21.1%	18.6%	20.1%
8. 単位取得や科目選択が制限されている	17.8%	23.7%	20.1%
9. 施設・設備が不十分である	18.9%	16.9%	18.1%
10. 学び方がわからない	18.9%	16.9%	18.1%
11. その他	18.9%	15.3%	17.4%

問8 SQ2【3, 4を選択した方に】どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 基礎となる参考書を示してほしい	20.0%	10.2%	16.1%
2. 基礎から分かりやすく説明してほしい	43.3%	40.7%	42.3%
3. 例題や演習を増やしてほしい	32.2%	22.0%	28.2%
4. 社会での必要性を示してほしい	28.9%	37.3%	32.2%
5. 勉強の仕方を教えてほしい	33.3%	30.5%	32.2%
6. 基礎科目を増やしてほしい	13.3%	8.5%	11.4%
7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい	12.2%	10.2%	11.4%

問9 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

項目	男	女	合計
1. よくある	12.5%	11.0%	11.7%
2. ときどきある	33.0%	35.1%	34.2%
3. あまりない	36.4%	37.9%	37.2%
4. まったくない	18.1%	16.0%	16.9%

問10 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。

項目	男	女	合計
1. 30分未満	18.8%	21.8%	20.4%
2. 30分以上1時間未満	31.6%	30.9%	31.2%
3. 1時間以上2時間未満	28.6%	29.5%	29.1%
4. 2時間以上3時間未満	12.8%	12.8%	12.8%
5. 3時間以上5時間未満	3.7%	3.0%	3.3%
6. 5時間以上	4.4%	2.0%	3.1%

問 11 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

項目	男	女	合計
1. まったく利用しない	8.4%	5.4%	6.8%
2. ほとんど利用しない	23.4%	25.4%	24.5%
3. 月に1, 2回	31.6%	35.8%	33.9%
4. 週に1, 2回	24.6%	23.8%	24.2%
5. 週に3, 4回	8.3%	8.0%	8.1%
6. ほとんど毎日	3.7%	1.6%	2.5%

問 12 大学が提供するパソコン環境に満足していますか。

項目	男	女	合計
1. 非常に満足している	17.6%	17.0%	17.2%
2. まあまあ満足している	59.8%	66.6%	63.5%
3. あまり満足していない	16.9%	13.2%	14.9%
4. まったく満足していない	5.8%	3.2%	4.4%

問 13 どのような機器を所有し、インターネットに接続して利用していますか。利用しているものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. スマートフォン	98.6%	98.1%	98.3%
2. スマートフォン以外の携帯電話	1.1%	1.9%	1.5%
3. ノートパソコン	88.0%	89.0%	88.6%
4. 自宅・自室にあるデスクトップパソコン	13.4%	8.6%	10.7%
5. タブレット端末	18.8%	12.3%	15.3%
6. その他	1.2%	0.4%	0.8%

問 14 所有する機器で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

項目	男	女	合計
1. まったく利用しない	0.0%	0.1%	0.1%
2. 15分未満	0.7%	1.0%	0.9%
3. 15分以上30分未満	2.3%	2.3%	2.3%
4. 30分以上1時間未満	6.3%	10.7%	8.7%
5. 1時間以上2時間未満	22.8%	22.6%	22.7%
6. 2時間以上3時間未満	29.3%	27.1%	28.1%
7. 3時間以上5時間未満	22.8%	23.2%	23.1%
8. 5時間以上	15.6%	12.8%	14.1%

問 15 海外留学等についてお聞きします。

項目	男	女	合計
1. 考えていない	68.4%	65.0%	66.5%
2. 留学してみたい	31.6%	35.0%	33.5%

問 15 SQ【留学してみたい方に】その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 外国人と友達になりたい	31.1%	36.9%	34.4%
2. 外国語で自由に話したい	67.8%	76.3%	72.7%
3. 海外で生活・就職してみたい	56.1%	49.8%	52.5%
4. その他	10.0%	7.9%	8.8%

問 16 あなたは卒業後の進路についてどのように考えていますか。

項目	男	女	合計
1. 就職	67.5%	83.6%	76.3%
2. 本学の大学院へ進学	9.8%	5.4%	7.4%
3. 国内の他大学の大学院へ進学	11.2%	3.9%	7.2%
4. 海外の大学または大学院へ進学	0.9%	0.4%	0.6%
5. 専門学校へ進学	0.4%	0.3%	0.3%
6. まだ考えていない	8.6%	6.0%	7.2%
7. その他	1.6%	0.4%	1.0%

問 16 SQ【大学院進学と答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. もっと勉強したいから	57.6%	58.2%	57.8%
2. 将来、学問・研究の道に進みたいから	50.4%	65.7%	55.7%
3. より高い学歴を得たいから	45.6%	37.3%	42.7%
4. 就職や資格取得に有利だと思うから	40.0%	37.3%	39.1%
5. 希望の職に就けなかったから	1.6%	0.0%	1.0%
6. まだ就職したくないから	12.0%	13.4%	12.5%
7. 友人が進学するから	0.0%	0.0%	0.0%
8. その他	1.6%	1.5%	1.6%

問 17 将来の職業の第一希望は次のうちのどれですか。

項目	男	女	合計
1. 民間企業	29.3%	21.6%	25.1%
2. 公務員・公的機関	23.4%	24.1%	23.8%
3. 教育職	10.0%	10.2%	10.1%
4. 研究職	9.8%	5.2%	7.3%
5. 専門職（医師、看護師、会計士、税理士、弁護士など）	21.8%	36.3%	29.7%
6. 家業を継ぐ・手伝う	0.7%	0.4%	0.6%
7. 自分で起業する	2.8%	0.4%	1.5%
8. フリーター	0.2%	0.6%	0.4%
9. その他	1.9%	1.2%	1.5%

問 18 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

項目	男	女	合計
1. 強く思う	16.3%	11.5%	13.7%
2. 少し思う	34.8%	36.7%	35.9%
3. あまり思わない	34.6%	34.0%	34.3%
4. まったく思わない	14.2%	17.9%	16.2%

問 19 いつかは出身地に帰りたいと思いますか。青森県出身の方は5を選んでください。

項目	男	女	合計
1. 強く思う	27.4%	30.3%	29.0%
2. 少し思う	24.6%	19.0%	21.5%
3. あまり思わない	12.5%	10.9%	11.6%
4. まったく思わない	3.3%	2.0%	2.6%
5. 青森県が出身地である	32.2%	37.7%	35.2%

問 20 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 知識や技能が活かせる	56.9%	52.7%	54.6%
2. 独創性や創造性が発揮できる	19.2%	12.6%	15.6%
3. 十分な収入が期待できる	67.8%	66.9%	67.3%
4. 安定した生活が保障される	66.8%	73.1%	70.3%
5. 社会的な地位・名声が得られる	16.9%	8.4%	12.2%
6. 華やかな活躍ができる	9.1%	3.8%	6.2%
7. 人や組織を動かすことができる	8.3%	3.9%	5.9%
8. 自由な活動ができる	26.7%	16.4%	21.1%
9. 人助けや社会奉仕ができる	25.1%	31.6%	28.7%
10. 自分のための時間を作れる	41.7%	41.8%	41.7%
11. 好きなことを仕事にできる	43.1%	39.9%	41.3%
12. 転勤がない	11.8%	10.3%	11.0%
13. 家業を継ぐこと	0.5%	0.6%	0.6%
14. 就職したい地域	16.3%	28.7%	23.1%
15. その他	1.4%	0.9%	1.1%

問 21 弘前大学ではキャリアセンターを設置しています。このセンターを利用していますか。

項目	男	女	合計
1. 利用している	10.4%	20.3%	15.8%
2. 利用していない	89.6%	79.7%	84.2%

問 21 SQ【利用していないと答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 利用する必要がない	51.2%	47.0%	49.0%
2. 存在を知らなかった	43.7%	43.2%	43.4%
3. その他	8.8%	13.3%	11.1%

問 22 あなたは現在学内のクラブやサークルに所属していますか。

項目	男	女	合計
1. 所属している	73.6%	78.8%	76.5%
2. 所属していない	26.4%	21.2%	23.5%

問 22 SQ1【所属している方に】施設や大学の支援に満足していますか。

項目	男	女	合計
1. はい	71.8%	69.1%	70.3%
2. いいえ	28.2%	30.9%	29.7%

問 23 あなたには現在、友達と呼べる人はいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

項目	男	女	合計
(1) 学内の友達 いない	7.0%	3.3%	5.0%
(1) 学内の友達 いる	93.0%	96.7%	95.0%
(2) 学内の友達で特に親しいといえる人 いない	18.5%	11.0%	14.4%
(2) 学内の友達で特に親しいといえる人 いる	81.5%	89.0%	85.6%
(3) 学外の友達 いない	12.7%	6.1%	9.1%
(3) 学外の友達 いる	87.3%	93.9%	90.9%
(4) 学外の友達で特に親しいといえる人 いない	21.4%	11.3%	15.9%
(4) 学外の友達で特に親しいといえる人 いる	78.6%	88.7%	84.1%

問 24 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

項目	男	女	合計
1. うまくいっている	34.3%	37.4%	36.0%
2. だいたいうまくいっている	56.2%	57.3%	56.8%
3. あまりうまくいっていない	7.4%	4.6%	5.9%
4. まったくうまくいっていない	2.1%	0.6%	1.3%

問 25 平日の授業の空き時間を過ごすのは主にどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 研究室や実習・実験室	19.0%	17.9%	18.4%
2. 空き教室	24.3%	31.9%	28.5%
3. クラブ・サークルの部室	9.0%	7.3%	8.0%
4. 生協の店舗（書店・食堂等）	39.4%	45.4%	42.7%
5. 図書館	36.4%	38.8%	37.7%
6. 大学会館	6.0%	6.0%	6.0%
7. キャンパスの庭（ベンチ等）	1.6%	1.5%	1.5%
8. 学生ホール	6.0%	11.3%	8.9%
9. 学外	11.8%	10.2%	10.9%
10. 自宅	60.1%	47.6%	53.3%
11. その他	3.7%	3.8%	3.7%

問 26 ニュースについてお聞きします。あなたはニュースをどのくらいの頻度で見ますか。

項目	男	女	合計
1. ニュースは見ない	17.4%	15.7%	16.5%
2. 週に1～2日	21.3%	22.9%	22.2%
3. 週に3～4日	16.9%	19.4%	18.3%
4. 週に5～6日	11.2%	8.9%	9.9%
5. 毎日	33.2%	33.1%	33.1%

問 26 SQ1【ニュースを見ると答えた方（問 26 で 2～5 と答えた方）に】ニュースをどの媒体で見ますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 新聞	15.7%	10.5%	12.8%
2. テレビ	71.3%	83.1%	77.8%
3. インターネット	83.2%	75.9%	79.2%
4. その他	1.3%	1.0%	1.1%

問 26 SQ2【問 26 でニュースを見ると答えた方に】関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. トップニュース	71.1%	80.2%	76.1%
2. 社会	54.0%	44.4%	48.7%
3. 政治	41.5%	22.7%	31.1%
4. 経済	28.7%	12.0%	19.5%
5. 国際	30.4%	21.9%	25.7%
6. 文化	18.1%	21.5%	20.0%
7. 家庭	5.3%	10.2%	8.0%
8. IT・科学	33.6%	17.0%	24.5%
9. スポーツ	47.4%	21.9%	33.3%
10. エンタメ	29.6%	46.3%	38.8%
11. 地域・地方	25.1%	29.9%	27.8%

問 27 SNS (Twitter, Facebook, Instagram, LINE など) についてお聞きします。利用している SNS とし、あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. Twitter	70.5%	75.2%	73.1%
2. Facebook	21.3%	21.6%	21.5%
3. Instagram	31.8%	54.7%	44.4%
4. LINE	94.7%	98.3%	96.7%
5. Snapchat	1.2%	1.3%	1.3%
6. その他	2.6%	1.7%	2.1%
7. 使用していない	2.6%	0.9%	1.7%

問 27 SQ1【7と答えた人以外の方に】一日にどのくらい SNS を利用していますか。

項目	男	女	合計
1. 30分未満	26.2%	12.0%	18.4%
2. 30分以上1時間未満	26.0%	23.3%	24.5%
3. 1時間以上2時間未満	25.6%	30.6%	28.4%
4. 2時間以上	22.4%	34.1%	28.9%

問 27 SQ2 SNS やインターネットでトラブルに遭遇したことがありますか。

項目	男	女	合計
1. ある	3.8%	6.6%	5.3%
2. ない	96.2%	93.4%	94.7%

問 27 SQ3【SQ2で1あると答えた方へ】どのようなトラブルでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. LINEなどで悪口を言われたり、仲間はずれにであったりした	19.0%	26.7%	24.2%
2. ゲームへの高額課金をしてしまった	4.8%	4.4%	4.5%
3. 個人への脅迫行為をされた	4.8%	4.4%	4.5%
4. SNSへの投稿内容から個人が特定された	0.0%	4.4%	3.0%
5. 自分のアカウントを不正に利用された	14.3%	11.1%	12.1%
6. 詐欺にあった	4.8%	11.1%	9.1%
7. 架空請求をされた	38.1%	22.2%	27.3%
8. SNS上で知り合った人から実際に会おうとしつこく勧誘された	9.5%	17.8%	15.2%
9. 自分の名前や写真を無断で使用された	9.5%	8.9%	9.1%
10. 自分のパソコンやスマートフォンがウイルス等に感染した	4.8%	2.2%	3.0%
11. 宗教団体やセールスなどからしつこく勧誘された	9.5%	4.4%	6.1%
12. その他	9.5%	11.1%	10.6%

問 28 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 徒歩	69.9%	71.6%	70.8%
2. 自転車	78.0%	81.1%	79.7%
3. バイク	1.9%	0.6%	1.2%
4. 自家用車	6.3%	9.7%	8.2%
5. 公共交通機関	11.4%	13.6%	12.6%

問 28 SQ1【自転車で大学まで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

項目	男	女	合計
1. 十分で問題はない	33.8%	29.3%	31.3%
2. 不足しているが、特に困っていない	43.7%	49.0%	46.7%
3. 不足していて困っている	22.5%	21.6%	22.0%

問 29 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

項目	男	女	合計
1. 朝食はとらない	15.3%	11.2%	13.0%
2. 1～2日	11.6%	12.8%	12.2%
3. 3～4日	16.0%	14.8%	15.3%
4. 5～6日	16.9%	17.0%	16.9%
5. 毎日	40.2%	44.3%	42.4%

問 30 ふだんの睡眠についてお聞きします。(1)睡眠時間はどれくらいですか。

項目	男	女	合計
1. 6時間以下	35.7%	40.9%	38.6%
2. 7～8時間	62.6%	56.9%	59.5%
3. 9時間以上	1.8%	2.2%	2.0%

問 30 ふだんの睡眠についてお聞きします。(2) 睡眠状況はいかがですか。

項目	男	女	合計
1. よい	66.8%	68.8%	67.9%
2. わるい	33.2%	31.2%	32.1%

問 30 SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 寝つきが悪い	53.4%	50.2%	51.7%
2. 途中で目が覚める	19.6%	23.7%	21.8%
3. 昼夜逆転している	25.9%	23.7%	24.8%
4. 疲れがとれない	63.5%	77.2%	70.8%
5. その他	8.5%	6.0%	7.2%

問 31 たばこを吸っていますか。

項目	男	女	合計
1. 吸っている	4.9%	1.5%	3.0%
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない	2.5%	0.9%	1.6%
3. 吸っていない	92.6%	97.7%	95.4%

問 32 受動喫煙（喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと）の機会は1週間にどれくらいありますか。

項目	男	女	合計
1. まったくない	17.8%	16.7%	17.2%
2. ほとんどない	42.4%	45.9%	44.3%
3. 1～2日	20.2%	21.3%	20.8%
4. 3～6日	12.0%	11.5%	11.7%
5. 毎日	7.7%	4.6%	6.0%

問 33 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

項目	男	女	合計
1. 飲まない	47.1%	47.0%	47.1%
2. 週に1回以下	39.0%	43.5%	41.5%
3. 週に2～3回	10.0%	7.8%	8.8%
4. 週に4～5回	3.5%	1.2%	2.2%
5. 毎日	0.4%	0.4%	0.4%

問 34 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. スポーツをしている	35.1%	17.4%	25.4%
2. なるべく歩くなど体を動かすようにしている	36.6%	36.3%	36.4%
3. 自然・健康食品をとるように心がけている	15.1%	12.6%	13.8%
4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	35.5%	36.3%	35.9%
5. 栄養剤、栄養飲料をとっている	9.0%	9.6%	9.3%
6. 規則正しい生活をするよう心がけている	26.0%	23.8%	24.8%
7. 健康診断を年に1回以上受けている	5.3%	4.9%	5.1%
8. 体調をチェックする	19.5%	24.8%	22.4%
9. 特に心がけていることはない	22.1%	23.2%	22.7%

問 35 現在のあなたの健康状態はどうか。

項目	男	女	合計
1. 良好	73.1%	71.8%	72.4%
2. 病気ではないと思うが調子が悪い	23.2%	23.1%	23.1%
3. 受診してはいるが病気だと思う	1.6%	1.9%	1.7%
4. 病気やけがで通院治療中である	2.1%	3.2%	2.7%

問 36 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自覚症状はない	36.6%	26.1%	30.8%
2. 疲れる	40.1%	52.1%	46.7%
3. 食欲がない	7.0%	9.7%	8.5%
4. よく眠れない	16.3%	15.5%	15.9%
5. 頭痛がする	12.3%	19.6%	16.3%
6. 胃腸の調子が悪い	12.3%	19.3%	16.1%
7. よく熱がある	0.9%	1.5%	1.2%
8. 便秘しやすい	3.5%	20.2%	12.6%
9. 下痢しやすい	11.2%	11.0%	11.1%
10. イライラする	11.4%	15.4%	13.6%
11. 集中力の低下	24.3%	29.0%	26.9%
12. 無力感がある	24.3%	30.3%	27.6%
13. 憂鬱になる	22.8%	28.7%	26.1%
14. その他	1.8%	1.9%	1.8%

問 37 現在、悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 悩みはない	25.5%	18.9%	21.9%
2. 勉強や成績のこと	38.5%	40.1%	39.3%
3. 卒業研究や論文のこと	22.7%	23.2%	23.0%
4. 進路や就職のこと	47.1%	45.4%	46.2%
5. クラブ・サークル活動のこと	13.9%	15.4%	14.7%
6. 人間関係のこと	19.3%	22.4%	21.0%
7. 恋愛や結婚のこと	20.7%	19.0%	19.8%
8. 自分自身の性格のこと	18.1%	27.4%	23.2%
9. 健康上のこと	7.2%	10.3%	8.9%
10. 性（セックス）に関して	7.7%	3.2%	5.2%
11. 経済的なこと	22.5%	17.6%	19.8%
12. 家庭環境や家族のこと	8.1%	10.3%	9.3%
13. その他	1.2%	0.9%	1.0%

問 38 ふだん悩みにどのように対処することが多いですか。

項目	男	女	合計
1. 自分自身で解決できるように努力することが多い	50.3%	31.9%	40.2%
2. 誰かに相談することが多い	19.5%	38.2%	29.7%
3. 悩みはあるが特に何もせず、なりゆきに任せることが多い	24.3%	27.3%	25.9%
4. 悩みはあるが、相談する人がいない	5.4%	2.2%	3.7%
5. その他	0.5%	0.4%	0.5%

問 38 SQ【誰かに相談することが多いと答えた方に】主に相談するのは誰ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください

項目	男	女	合計
1. 友人	87.4%	89.0%	88.5%
2. 先輩	25.2%	24.7%	24.9%
3. 家族	47.7%	69.6%	63.1%
4. 親戚	4.5%	3.0%	3.5%
5. 教員	9.0%	8.7%	8.8%
6. 事務職員	0.9%	0.4%	0.5%
7. 保健管理センター	0.0%	0.8%	0.5%
8. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）	0.0%	1.1%	0.8%
9. SNS ホットライン	0.0%	0.0%	0.0%
10. その他の SNS	0.9%	1.1%	1.1%
11. その他	1.8%	0.8%	1.1%

問 39 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

項目	男	女	合計
1. 知っている	59.4%	56.6%	57.9%
2. 知らなかった	40.6%	43.4%	42.1%

問 39 SQ【知っていると答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 入学式の説明で	33.7%	26.7%	51.6%
2. 学部学科のオリエンテーションで	25.1%	27.9%	46.0%
3. 学生生活ガイドで	20.6%	19.3%	34.3%
4. ホケカン健康手帳で	5.6%	7.5%	11.5%
5. 友達から聞いて	3.5%	2.2%	4.8%
6. 先生から	3.5%	4.1%	6.6%
7. その他	2.3%	2.6%	4.3%

問 40 あなたは大学をやめたいと思ったことがありますか。

項目	男	女	合計
1. ない	78.2%	78.7%	78.5%
2. ある	21.8%	21.3%	21.5%

問 40 SQ【あると答えた方に】 そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 学部, 学科が合わない	36.3%	30.6%	33.2%
2. 自分の能力に合わない	33.1%	31.3%	32.1%
3. 授業がおもしろくない	39.5%	31.3%	35.1%
4. 進路変更	21.0%	15.6%	18.1%
5. 遊びたい	12.1%	14.3%	13.3%
6. 経済的理由	10.5%	8.2%	9.2%
7. 家庭の事情	4.8%	3.4%	4.1%
8. 日常生活(暮らし)の問題	8.9%	10.2%	9.6%
9. 恋愛・結婚問題	5.6%	4.1%	4.8%
10. 就職に不利	5.6%	3.4%	4.4%
11. 興味をなくした(目的喪失)	36.3%	24.5%	29.9%
12. 他にやりたいことを見つけた	14.5%	8.8%	11.4%
13. 学生同士の間関係	13.7%	17.0%	15.5%
14. 教員との関係	18.5%	10.9%	14.4%
15. 単位を取れなかった(留年した)から	16.9%	4.8%	10.3%
16. その他	12.1%	11.6%	11.8%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出]

項目	男	女	合計
1. 5万円未満	34.4%	36.6%	35.6%
2. 5万円以上 10万円未満	53.1%	53.7%	53.4%
3. 10万円以上 15万円未満	11.1%	8.3%	9.5%
4. 15万円以上	1.4%	1.5%	1.4%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 食費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	12.0%	13.6%	12.9%
2. 10%~20%	24.6%	30.2%	27.7%
3. 20%~30%	27.8%	31.6%	29.9%
4. 30%~40%	20.6%	14.8%	17.4%
5. 40%以上	15.1%	9.7%	12.2%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 住居・光熱費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	23.9%	28.0%	26.2%
2. 10%~20%	14.8%	16.5%	15.7%
3. 20%~30%	13.5%	12.5%	13.0%
4. 30%~40%	16.2%	12.5%	14.1%
5. 40%以上	31.6%	30.5%	31.0%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 娯楽費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	34.1%	25.3%	29.3%
2. 10%～20%	39.0%	38.0%	38.5%
3. 20%～30%	15.5%	23.5%	19.9%
4. 30%～40%	5.8%	6.4%	6.1%
5. 40%以上	5.6%	6.8%	6.3%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 勉学費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	64.3%	67.9%	66.3%
2. 10%～20%	25.5%	22.8%	24.0%
3. 20%～30%	6.9%	7.0%	6.9%
4. 30%～40%	1.4%	1.7%	1.6%
5. 40%以上	1.9%	0.6%	1.2%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 通信費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	71.9%	72.6%	72.3%
2. 10%～20%	21.6%	20.6%	21.1%
3. 20%～30%	4.9%	5.2%	5.1%
4. 30%～40%	1.1%	1.5%	1.3%
5. 40%以上	0.5%	0.1%	0.3%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入]

項目	男	女	合計
1. 5万円未満	38.8%	40.2%	39.6%
2. 5万円以上 10万円未満	42.9%	38.6%	40.5%
3. 10万円以上 15万円未満	15.6%	16.7%	16.2%
4. 15万円以上	2.6%	4.5%	3.7%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入 実家から]

項目	男	女	合計
1. 0%	21.4%	27.3%	24.6%
2. 20%未満	12.1%	13.8%	13.0%
3. 20%～50%未満	14.9%	14.8%	14.9%
4. 50%～80%未満	17.6%	12.6%	14.9%
5. 80%以上	33.9%	31.5%	32.6%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入 奨学金]

項目	男	女	合計
1. 0%	48.2%	48.2%	48.2%
2. 20%未満	7.2%	8.0%	7.6%
3. 20%～50%未満	15.1%	15.4%	15.3%
4. 50%～80%未満	16.0%	12.9%	14.3%
5. 80%以上	13.5%	15.5%	14.6%

問 41 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入 アルバイト]

項目	男	女	合計
1. 0%	48.9%	34.0%	40.7%
2. 20%未満	22.0%	31.8%	27.3%
3. 20%～50%未満	15.1%	17.1%	16.2%
4. 50%～80%未満	6.3%	7.5%	7.0%
5. 80%以上	7.7%	9.6%	8.7%

問 42 現在、アルバイトをしていますか。

項目	男	女	合計
1. している	44.8%	63.0%	54.8%
2. していない	55.2%	37.0%	45.2%

問 42 SQ1【アルバイトをしている方に】週に何日、アルバイトをしていますか。

項目	男	女	合計
1. 1～3日	60.0%	61.3%	60.8%
2. 4～6日	22.7%	19.6%	20.8%
3. 毎日	1.6%	0.7%	1.0%
4. 不定期	15.7%	18.4%	17.4%

問 42 SQ2【SQ1で1, 2, 3を選択した方に】一日当たりのアルバイトの時間は何時間ですか。

項目	男	女	合計
1. 1時間未満	0.9%	0.3%	0.5%
2. 1～2時間	10.7%	8.2%	9.1%
3. 2時間以上	88.4%	91.5%	90.3%

問 42 SQ3【アルバイトをしている方に】深夜（午後10時から午前6時）にアルバイトをしていますか。

項目	男	女	合計
1. してない	78.1%	91.5%	86.5%
2. 週1日程度	12.1%	13.8%	13.2%
3. 週2～3日	25.6%	14.7%	18.8%
4. 週4日以上	2.8%	2.5%	2.6%

問 43 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰（どこ）から出ていますか。

項目	男	女	合計
1. 親	68.9%	67.1%	67.9%
2. 親戚	0.7%	0.7%	0.7%
3. 奨学金	21.4%	19.2%	20.2%
4. アルバイト	0.7%	0.7%	0.7%
5. 授業料は免除されている	7.7%	11.9%	10.0%
6. その他	0.5%	0.4%	0.5%

問 44 奨学金や授業料免除についてお聞きします。（1）これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある	56.2%	56.0%	56.1%
2. その他の奨学金に申し込んだことがある	12.5%	12.3%	12.4%
3. 申し込んだことがない	38.7%	38.2%	38.4%

問 44 奨学金や授業料免除についてお聞きします。（2）現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている	51.8%	52.0%	51.9%
2. その他の奨学金を受けている	8.3%	10.3%	9.4%
3. 奨学金を受けていない	43.1%	41.9%	42.4%

問 44 奨学金や授業料免除についてお聞きします。（3）今年度、授業料免除を申し込みましたか。

項目	男	女	合計
1. はい	19.5%	23.8%	21.9%
2. いいえ	80.5%	76.2%	78.1%

問 44 奨学金や授業料免除についてお聞きします。（4）今年度、授業料免除を受けていますか。

項目	男	女	合計
1. はい	16.7%	18.9%	17.9%
2. いいえ	83.3%	81.1%	82.1%

問 45 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

項目	男	女	合計
1. 実家	22.5%	25.5%	24.2%
2. 下宿	11.6%	6.8%	9.0%
3. アパート	58.5%	56.9%	57.6%
4. 学生寮	6.5%	10.0%	8.4%
5. その他	0.9%	0.7%	0.8%

附属統計表（大学院生 男女比率）

問1 所属研究科（修士課程・博士前期課程）

研究科	男		女		合計	
1. 人文社会科学研究科	2人	2.0%	0人	0.0%	2人	2.2%
2. 教育学研究科	0人	0.0%	5人	5.0%	5人	5.6%
3. 保健学研究科	8人	8.0%	2人	2.0%	10人	11.1%
4. 理工学研究科	44人	44.0%	9人	9.0%	53人	58.9%
5. 農学生命科学研究科	14人	14.0%	6人	6.0%	20人	22.2%
計	68人	75.6%	22人	24.4%	90人	100.0%

問1 所属研究科（博士課程・博士後期課程・後期3年博士課程）

研究科	男		女		合計	
1. 医学研究科	2人	33.3%	0人	0.0%	2人	33.3%
2. 保健学研究科	1人	16.7%	0人	0.0%	1人	16.7%
3. 理工学研究科	1人	16.7%	2人	33.3%	3人	50.0%
4. 地域社会研究科	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
計	4人	66.7%	2人	33.3%	6人	100.0%

問2 学年（修士課程・博士前期課程）

学年	男		女		合計	
1. 1年	39人	42.8%	15人	16.5%	54人	59.3%
2. 2年	30人	33.0%	7人	7.7%	37人	40.7%
計	69人	75.8%	22人	24.2%	91人	100.0%

問2 学年（医学研究科博士課程）

学年	男		女		合計	
1. 1年	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
2. 2年	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
3. 3年	2人	100.0%	0人	0.0%	2人	100.0%
4. 4年	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
計	2人	100.0%	0人	0.0%	2人	100.0%

問2 学年（博士後期課程・後期3年博士課程）

学年	男		女		合計	
1. 1年	1人	33.3%	1人	33.3%	2人	66.7%
2. 2年	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
3. 3年	0人	0.0%	1人	33.3%	1人	33.3%
計	1人	33.3%	2人	66.7%	3人	100.0%

問3 出身大学等

項目	男	女	合計
1. 弘前大学	90.3%	91.7%	90.6%
2. 他大学（日本）	5.6%	8.3%	6.3%
3. 他大学（海外）	4.2%	0.0%	3.1%
4. 短期大学	0.0%	0.0%	0.0%
5. 高等専門学校	0.0%	0.0%	0.0%
6. 各種学校等	0.0%	0.0%	0.0%

問4 弘前大学大学院は第一志望の大学院でしたか。

項目	男	女	合計
1. はい	87.5%	91.7%	88.5%
2. いいえ	12.5%	8.3%	11.5%

問5 大学院に進学した理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. もっと勉強したいから	50.0%	45.8%	49.0%
2. より専門的な知識や技術を習得したいから	70.8%	70.8%	70.8%
3. 将来、学問・研究の道に進みたいから	25.0%	37.5%	28.1%
4. 就職や資格取得に有利だと思うから	41.7%	37.5%	40.6%
5. より高い学歴を得たいから	31.9%	8.3%	26.0%
6. 現職教員としての自分の授業を改善・向上させたいから	1.4%	0.0%	1.0%
7. まだ自由な学生生活を楽しまたいから	22.2%	12.5%	19.8%
8. まだスポーツや文化活動を続けたいから	8.3%	4.2%	7.3%
9. 友人が進学するから	2.8%	4.2%	3.1%
10. 親など周囲の人に勧められたから	5.6%	16.7%	8.3%
11. まだ就職しなくなかったから	13.9%	12.5%	13.5%
12. 希望する職に就けなかったから	5.6%	4.2%	5.2%
13. その他	8.3%	0.0%	6.3%

問6 弘前大学大学院を選んだ理由は次のうちのどれでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自分の志望する専攻分野があったから	61.1%	41.7%	56.3%
2. 大学の特色・学風に惹かれたから	2.8%	8.3%	4.2%
3. 自分の能力・学力に合っていたから	27.8%	29.2%	28.1%
4. 大学の施設・設備がよかったから	4.2%	4.2%	4.2%
5. 指導を受けたい教員がいたから	43.1%	50.0%	44.8%
6. 国立大学（国立大学法人）だから	36.1%	50.0%	39.6%
7. 実家に近かったから	18.1%	33.3%	21.9%
8. 将来就職に有利だと思ったから	12.5%	4.2%	10.4%
9. 授業料などの経済的負担が軽いから	15.3%	12.5%	14.6%
10. 親など周囲の人に勧められたから	1.4%	4.2%	2.1%
11. 指導教員の勧めがあったから	13.9%	8.3%	12.5%
12. 良い評判を聞いたから	1.4%	0.0%	1.0%
13. 継続した勉強や研究ができるから	37.5%	37.5%	37.5%
14. 学生支援が充実しているから	2.8%	0.0%	2.1%
15. 実践と研究の両面を進めることができるから	2.8%	4.2%	3.1%
16. その他	5.6%	0.0%	4.2%

問7 他大学の大学院を受験しましたか。

項目	男	女	合計
1. した	4.2%	4.2%	4.2%
2. しなかった	95.8%	95.8%	95.8%

問7 SQ【他大学大学院を受験した方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自分の志望する専攻分野があったから	100.0%	100.0%	100.0%
2. 大学の特色・学風に惹かれたから	66.7%	0.0%	50.0%
3. 自分の能力・学力に合っていたから	0.0%	0.0%	0.0%
4. 大学の施設・設備がよかったから	66.7%	0.0%	50.0%
5. 指導を受けたい教員がいたから	66.7%	0.0%	50.0%
6. 国立大学（国立大学法人）だから	33.3%	0.0%	25.0%
7. 実家に近かったから	33.3%	0.0%	25.0%
8. 将来就職に有利だと思ったから	0.0%	0.0%	0.0%
9. 授業料などの経済的負担が軽いから	0.0%	0.0%	0.0%
10. 親など周囲の人に勧められたから	0.0%	0.0%	0.0%
11. 指導教員の勧めがあったから	33.3%	0.0%	25.0%
12. 良い評判を聞いたから	33.3%	0.0%	25.0%
13. 継続した勉強や研究ができるから	66.7%	0.0%	50.0%
14. 学生支援が充実しているから	33.3%	0.0%	25.0%
15. 1つの大学院だけの入試では不安であったから	33.3%	0.0%	25.0%
16. その他	0.0%	0.0%	0.0%

問8 今年度の前期に受講した授業の内容に満足していますか。

項目	男	女	合計
1. 非常に満足している	23.6%	12.5%	20.8%
2. まあまあ満足している	63.9%	79.2%	67.7%
3. あまり満足していない	8.3%	4.2%	7.3%
4. まったく満足していない	4.2%	4.2%	4.2%

問8 SQ1 [3, 4を選択した方に] 授業に不満を感じる理由についてあてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 授業が全体として難しすぎる	0.0%	0.0%	0.0%
2. 授業がやさしすぎる	11.1%	0.0%	9.1%
3. 授業内容に興味, 関心がもてない	55.6%	0.0%	45.5%
4. 受講したい科目が少ない	44.4%	0.0%	36.4%
5. 将来役に立たない科目が多い	22.2%	0.0%	18.2%
6. 受講者が多すぎる	0.0%	0.0%	0.0%
7. 必須科目が多すぎる	22.2%	0.0%	18.2%
8. 単位取得や科目選択が制限されている	0.0%	0.0%	0.0%
9. 施設・設備が不十分である	22.2%	0.0%	18.2%
10. 学び方がわからない	11.1%	0.0%	9.1%
11. 教員の教え方になじめない	33.3%	50.0%	36.4%
12. 教員の授業に対する熱意や工夫が足りない	44.4%	0.0%	36.4%
13. 資料の収集方法がわからない	11.1%	0.0%	9.1%
14. 実験等のやり方に不安がある	11.1%	0.0%	9.1%
15. その他	11.1%	50.0%	18.2%

問8 SQ2 [3, 4を選択した方に] どのようなことを希望しますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 基礎となる参考書を示してほしい	44.4%	0.0%	36.4%
2. 基礎から分かりやすく説明してほしい	33.3%	0.0%	27.3%
3. 例題や演習を増やしてほしい	22.2%	0.0%	18.2%
4. 社会での必要性を示してほしい	55.6%	0.0%	45.5%
5. 勉強の仕方を教えてほしい	22.2%	0.0%	18.2%
6. 基礎科目を増やしてほしい	22.2%	0.0%	18.2%
7. 質問に答えてくれるオフィスアワーを増やしてほしい	11.1%	0.0%	9.1%
8. その他	11.1%	0.0%	9.1%

問9 勉強や研究のことで、教員と話をすることがありますか。

項目	男	女	合計
1. よくある	56.9%	75.0%	61.5%
2. ときどきある	34.7%	25.0%	32.3%
3. あまりない	8.3%	0.0%	6.3%
4. まったくない	0.0%	0.0%	0.0%

問10 試験期間を除くと、ふだんの授業以外の学習・研究時間は1日何時間くらいですか。

項目	男	女	合計
1. 30分未満	2.8%	12.5%	5.2%
2. 30分以上1時間未満	2.8%	0.0%	2.1%
3. 1時間以上2時間未満	1.4%	4.2%	2.1%
4. 2時間以上3時間未満	15.3%	16.7%	15.6%
5. 3時間以上5時間未満	15.3%	16.7%	15.6%
6. 5時間以上	62.5%	50.0%	59.4%

問11 大学の図書館をどのくらい利用していますか。

項目	男	女	合計
1. まったく利用しない	16.7%	20.8%	17.7%
2. ほとんど利用しない	45.7%	37.5%	43.8%
3. 月に1, 2回	30.6%	25.0%	29.2%
4. 週に1, 2回	4.2%	12.5%	6.3%
5. 週に3, 4回	1.4%	4.2%	2.1%
6. ほとんど毎日	1.4%	0.0%	1.0%

問12 大学が提供するパソコン環境に満足していますか。

項目	男	女	合計
1. 非常に満足している	19.4%	8.3%	16.7%
2. まあまあ満足している	54.2%	66.7%	57.3%
3. あまり満足していない	19.4%	16.7%	18.8%
4. まったく満足していない	6.9%	8.3%	7.3%

問 13 どのような機器を所有し、インターネットに接続して利用していますか。利用しているものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. スマートフォン	95.8%	95.8%	95.8%
2. スマートフォン以外の携帯電話	2.8%	0.0%	2.1%
3. ノートパソコン	81.9%	83.3%	82.3%
4. 自宅・自室にあるデスクトップパソコン	34.7%	16.7%	30.2%
5. タブレット端末	37.5%	29.2%	35.4%
6. その他	1.4%	0.0%	1.0%

問 14 所有する機器で1日にインターネットを利用する時間はどのくらいですか。

項目	男	女	合計
1. まったく利用しない	0.0%	0.0%	0.0%
2. 15分未満	0.0%	0.0%	0.0%
3. 15分以上30分未満	0.0%	0.0%	0.0%
4. 30分以上1時間未満	5.6%	8.3%	6.3%
5. 1時間以上2時間未満	9.7%	29.2%	14.6%
6. 2時間以上3時間未満	29.2%	20.8%	27.1%
7. 3時間以上5時間未満	25.0%	29.2%	26.0%
8. 5時間以上	30.6%	12.5%	26.0%

問 15 海外留学等についてお聞きします。

項目	男	女	合計
1. 考えていない	80.6%	54.2%	74.0%
2. 留学してみたい	19.4%	45.8%	26.0%

問 15 SQ【留学してみたい方に】その理由は何ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 外国人と友達になりたい	35.7%	9.1%	24.0%
2. 外国語で自由に話したい	57.1%	45.5%	52.0%
3. 海外で生活・就職してみたい	71.4%	63.6%	68.0%
4. その他	14.3%	18.2%	16.0%

問 16 あなたは修了後の進路についてどのように考えていますか。

項目	男	女	合計
1. 就職	93.1%	83.3%	90.6%
2. 本学の博士課程へ進学	1.4%	0.0%	1.0%
3. 岩手連合大学院へ進学	0.0%	0.0%	0.0%
4. 国内の他大学の大学院へ進学	1.4%	0.0%	1.0%
5. 海外の大学院へ進学	0.0%	0.0%	0.0%
6. 専門学校へ進学	0.0%	0.0%	0.0%
7. まだ考えていない	4.2%	16.7%	7.3%
8. その他	0.0%	0.0%	0.0%

問 17 将来の職業の第一希望は次のうちどれですか。

項目	男	女	合計
1. 民間企業	61.1%	33.3%	54.2%
2. 公務員・公的機関	8.3%	4.2%	7.3%
3. 教育職	5.6%	20.8%	9.4%
4. 研究職	15.3%	33.3%	19.8%
5. 専門職（医師，看護師，会計士，税理士，弁護士など）	8.3%	4.2%	7.3%
6. 家業を継ぐ・手伝う	0.0%	0.0%	0.0%
7. 自分で起業する	0.0%	0.0%	0.0%
8. フリーター	0.0%	0.0%	0.0%
9. その他	1.4%	4.2%	2.1%

問 18 東京や大阪などの大都市で働いてみたいと思いますか。

項目	男	女	合計
1. 強く思う	16.7%	8.3%	14.6%
2. 少し思う	40.3%	29.2%	37.5%
3. あまり思わない	27.8%	50.0%	33.3%
4. まったく思わない	15.3%	12.5%	14.6%

問 19 いつかは出身地に帰りたと思いますか。青森県出身の方は5を選んでください。

項目	男	女	合計
1. 強く思う	12.5%	20.8%	14.6%
2. 少し思う	23.6%	16.7%	21.9%
3. あまり思わない	25.0%	12.5%	21.9%
4. まったく思わない	5.6%	8.3%	6.3%
5. 青森県が出身地である	33.3%	41.7%	35.3%

問 20 職業を選択する際に、特に重視するのは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 知識や技能が活かせる	69.4%	54.2%	65.6%
2. 独創性や創造性が発揮できる	18.1%	16.7%	17.7%
3. 十分な収入が期待できる	68.1%	58.3%	65.6%
4. 安定した生活が保障される	66.7%	58.3%	64.6%
5. 社会的な地位・名声が得られる	16.7%	0.0%	12.5%
6. 人や組織を動かすことができる	9.7%	0.0%	7.3%
7. 人助けや社会奉仕ができる	11.1%	29.2%	15.6%
8. 自分のための時間を作れる	47.2%	54.2%	49.0%
9. 好きなことを仕事にできる	36.1%	45.8%	38.5%
10. 転勤がない	6.9%	4.2%	6.3%
11. 家業を継ぐこと	0.0%	0.0%	0.0%
12. 就職したい地域	25.0%	45.8%	30.2%
13. その他	0.0%	4.2%	1.0%

問 21 就職または進学について、教員や大学に希望することは次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 大学としてもっと積極的な対策を講じてほしい	18.1%	25.0%	19.8%
2. 大学に就職先の開拓にもっと積極的に取り組んでほしい	22.2%	25.0%	22.9%
3. 教員にもっと人材育成に積極的であってほしい	23.6%	12.5%	20.8%
4. 教員にもっと積極的に助言、指導、斡旋をしてほしい	29.2%	20.8%	27.1%
5. 特に希望することはない	48.6%	45.8%	47.9%
6. その他	0.0%	4.2%	1.0%

問 22 学生就職支援センターを利用しますか。

項目	男	女	合計
1. 利用している	50.0%	37.5%	46.9%
2. 利用していない	50.0%	62.5%	53.1%

問 22 SQ【利用していないと答えた方に】その理由はなんですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 利用する必要がない	44.4%	60.0%	49.0%
2. 存在を知らなかった	33.3%	20.0%	29.4%
3. その他	27.8%	20.0%	25.5%

問 23 あなたには現在、友達と呼べる人は何人くらいいますか。学内と学外それぞれについて教えてください。

項目	男	女	合計
(1) 学内の友達 いない	5.6%	4.2%	5.2%
(1) 学内の友達 いる	94.4%	95.8%	94.8%
(2) 学内の友達で特に親しいと言える人 いない	31.9%	25.0%	30.2%
(2) 学内の友達で特に親しいと言える人 いる	68.1%	75.0%	69.8%
(3) 学外の友達 いない	9.7%	8.3%	9.4%
(3) 学外の友達 いる	90.3%	91.7%	90.6%
(4) 学外の友達で特に親しいと言える人 いない	12.5%	16.7%	13.5%
(4) 学外の友達で特に親しいと言える人 いる	87.5%	83.3%	86.5%

問 24 現在、あなたの友人関係は全体としてうまくいっていると思いますか。

項目	男	女	合計
1. うまくいっている	36.1%	50.0%	39.6%
2. だいたいうまくいっている	58.3%	45.8%	55.2%
3. あまりうまくいっていない	4.2%	4.2%	4.2%
4. まったくうまくいっていない	1.4%	0.0%	1.0%

問 25 ニュースについてお聞きします。あなたはニュースをどのくらいの頻度で見ますか。

項目	男	女	合計
1. ニュースは見ない	8.3%	4.2%	7.3%
2. 週に1～2日	26.4%	8.3%	21.9%
3. 週に3～4日	13.9%	8.3%	12.5%
4. 週に5～6日	16.7%	8.3%	14.6%
5. 毎日	34.7%	70.8%	43.8%

問 25 SQ1【ニュースを見ると答えた方（問 25 で 2～5 と答えた方）に】ニュースをどの媒体で見ますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 新聞	12.1%	17.4%	13.5%
2. テレビ	56.1%	73.9%	60.7%
3. インターネット	83.3%	82.6%	83.1%
4. その他	0.0%	0.0%	0.0%

問 25 SQ2【問 25 でニュースを見ると答えた方に】関心を持って見る部分はどこですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. トップニュース	75.8%	100.0%	82.0%
2. 社会	53.0%	56.5%	53.9%
3. 政治	40.9%	30.4%	38.2%
4. 経済	36.4%	13.0%	30.3%
5. 国際	34.8%	26.1%	32.6%
6. 文化	9.1%	47.8%	19.1%
7. 家庭	3.0%	13.0%	5.6%
8. IT・科学	47.0%	47.8%	47.2%
9. スポーツ	40.9%	8.7%	32.6%
10. エンタメ	18.2%	30.4%	21.3%
11. 地域・地方	24.2%	39.1%	28.1%

問 26 SNS (Twitter, Facebook, Instagram, LINE など) についてお聞きします。使用している SNS とし、あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. Twitter	65.3%	83.3%	69.8%
2. Facebook	23.6%	37.5%	27.1%
3. Instagram	27.8%	54.2%	34.4%
4. LINE	97.2%	95.8%	96.9%
5. Snapchat	0.0%	0.0%	0.0%
6. その他	2.8%	4.2%	3.1%
7. 使用していない	1.4%	0.0%	1.0%

問 26 SQ1【7 と答えた人以外の方に】一日にどのくらい SNS を利用していますか。

項目	男	女	合計
1. 30 分未満	36.6%	8.3%	29.5%
2. 30 分以上 1 時間未満	23.9%	20.8%	23.2%
3. 1 時間以上 2 時間未満	21.1%	41.7%	26.3%
4. 2 時間以上	18.3%	29.2%	21.1%

問 26 SQ2 SNS やインターネットでトラブルに遭遇したことがありますか。

項目	男	女	合計
1. ある	5.6%	0.0%	4.2%
2. ない	94.4%	100.0%	95.8%

問 26 SQ3【SQ2で1. あると答えた方へ】どのようなトラブルでしたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. LINEなどで悪口を言われたり、仲間はずれにであったりした	25.0%	0.0%	25.0%
2. ゲームへの高額課金をしてしまった	25.0%	0.0%	25.0%
3. 個人への脅迫行為をされた	0.0%	0.0%	0.0%
4. SNSへの投稿内容から個人が特定された	0.0%	0.0%	0.0%
5. 自分のアカウントを不正に利用された	0.0%	0.0%	0.0%
6. 詐欺にあった	50.0%	0.0%	50.0%
7. 架空請求をされた	50.0%	0.0%	50.0%
8. SNS上で知り合った人から実際に会おうとしつこく勧誘された	0.0%	0.0%	0.0%
9. 自分の名前や写真を無断で使用された	25.0%	0.0%	25.0%
10. 自分のパソコンやスマートフォンがウイルスに等に感染した	0.0%	0.0%	0.0%
11. 宗教団体やセールスなどからしつこく勧誘された	0.0%	0.0%	0.0%
12. その他	25.0%	0.0%	25.0%

問 27 主な通学方法はなんですか。利用するものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 徒歩	77.8%	58.3%	72.9%
2. 自転車	58.3%	54.2%	57.3%
3. バイク	6.9%	0.0%	5.2%
4. 自家用車	4.2%	20.8%	8.3%
5. 公共交通機関	8.3%	8.3%	8.3%

問 27 SQ1【自転車で大学まで来る方に】自転車の利用についてお聞きします。駐輪スペースの設置状況について、どのようにお考えですか。

項目	男	女	合計
1. 十分で問題はない	61.9%	38.5%	56.4%
2. 不足しているが、特に困っていない	26.2%	46.2%	30.9%
3. 不足していて困っている	11.9%	15.4%	12.7%

問 27 SQ2【自家用車で大学まで来る方に】自家用車の利用についてお聞きします。自家用車をとめるのはどこですか。

項目	男	女	合計
1. 大学の駐車場	100.0%	80.0%	87.5%
2. 構外の有料駐車場	0.0%	0.0%	0.0%
3. その他	0.0%	20.0%	12.5%

問 27 SQ3【自家用車で大学まで来る方に】自家用車の利用についてお聞きします。駐車スペースについて、どのようにお考えですか。

項目	男	女	合計
1. 十分で問題はない	0.0%	0.0%	0.0%
2. 不足しているが、特に困っていない	66.7%	60.0%	62.5%
3. 不足していて困っている	33.3%	40.0%	37.5%

問 28 ふだん1週間に何日朝食をとっていますか。

項目	男	女	合計
1. 朝食はとらない	27.8%	25.0%	27.1%
2. 1～2日	11.1%	4.2%	9.4%
3. 3～4日	13.9%	8.3%	12.5%
4. 5～6日	19.4%	4.2%	15.6%
5. 毎日	27.8%	58.3%	35.4%

問 29 ふだんの睡眠についてお聞きします。(1) 睡眠時間はどれくらいですか。

項目	男	女	合計
1. 6時間以下	40.3%	37.5%	39.6%
2. 7～8時間	58.3%	58.3%	58.3%
3. 9時間以上	1.4%	4.2%	2.1%

問 29 ふだんの睡眠についてお聞きします。(2) 睡眠状況はいかがですか。

項目	男	女	合計
1. よい	66.7%	70.8%	67.7%
2. わるい	33.3%	29.2%	32.3%

問 29 SQ【わるいと答えた方に】その理由はどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 寝つきが悪い	41.7%	57.1%	45.2%
2. 途中で目が覚める	20.8%	71.4%	32.3%
3. 昼夜逆転している	25.0%	0.0%	19.4%
4. 疲れがとれない	62.5%	57.1%	61.3%
5. その他	12.5%	0.0%	9.7%

問 30 たばこを吸っていますか。

項目	男	女	合計
1. 吸っている	9.7%	0.0%	7.3%
2. 以前は吸っていたが、今は吸っていない	8.3%	0.0%	6.3%
3. 吸っていない	81.9%	100.0%	86.5%

問 31 受動喫煙(喫煙をする者の周囲の人間が、その煙を吸ってしまうこと)の機会は1週間にどれくらいありますか。

項目	男	女	合計
1. まったくない	23.6%	16.7%	21.9%
2. ほとんどない	38.9%	37.5%	38.5%
3. 1～2日	19.4%	29.2%	21.9%
4. 3～6日	11.1%	12.5%	11.5%
5. 毎日	6.9%	4.2%	6.3%

問 32 どのぐらいの頻度でお酒（アルコール類）を飲みますか。

項目	男	女	合計
1. 飲まない	18.1%	25.0%	19.8%
2. 週に1回以下	55.6%	66.7%	58.3%
3. 週に2～3回	13.9%	8.3%	12.5%
4. 週に4～5回	11.1%	0.0%	8.4%
5. 毎日	1.4%	0.0%	1.0%

問 33 ふだん健康のために心がけていることはありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. スポーツをしている	18.1%	16.7%	17.7%
2. なるべく歩くなど体を動かすようにしている	36.1%	45.8%	38.5%
3. 自然・健康食品をとるように心がけている	11.1%	37.5%	17.7%
4. 栄養のバランスを考え食事の内容に注意している	20.8%	50.0%	28.1%
5. 栄養剤、栄養飲料をとっている	11.1%	8.3%	10.4%
6. 規則正しい生活をするよう心がけている	13.9%	45.8%	21.9%
7. 健康診断を年に1回以上受けている	9.7%	12.5%	10.4%
8. 体調をチェックする	16.7%	29.2%	19.8%
9. 特に心がけていることはない	33.3%	16.7%	29.2%

問 34 現在のあなたの健康状態はどうか。

項目	男	女	合計
1. 良好	70.8%	58.3%	67.7%
2. 病気ではないと思うが調子が悪い	19.4%	29.2%	21.9%
3. 受診してはいないが病気だと思う	1.4%	4.2%	2.1%
4. 病気やけがで通院治療中である	8.3%	8.3%	8.3%

問 35 体や心について、よく感じる自覚症状がありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自覚症状はない	29.2%	37.5%	31.3%
2. 疲れる	34.7%	41.7%	36.5%
3. 食欲がない	5.6%	8.3%	6.3%
4. よく眠れない	11.1%	16.7%	12.5%
5. 頭痛がする	11.1%	29.2%	15.6%
6. 胃腸の調子が悪い	18.1%	29.2%	20.8%
7. よく熱がある	1.4%	4.2%	2.1%
8. 便秘しやすい	1.4%	29.2%	8.3%
9. 下痢しやすい	12.5%	16.7%	13.5%
10. イライラする	12.5%	16.7%	13.5%
11. 集中力の低下	22.2%	33.3%	25.0%
12. 無力感がある	23.6%	25.0%	24.0%
13. 憂鬱になる	27.8%	25.0%	27.1%
14. その他	2.8%	8.3%	4.2%

問 36 現在、悩んでいることがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 悩みはない	18.1%	12.5%	16.7%
2. 勉強や成績のこと	15.3%	29.2%	18.8%
3. 修士・博士論文のこと	50.0%	45.8%	49.0%
4. 研究のこと	59.7%	66.7%	61.5%
5. 進路や就職のこと	50.0%	66.7%	54.2%
6. クラブ・サークル活動のこと	1.4%	8.3%	3.1%
7. 人間関係のこと	11.1%	16.7%	12.5%
8. 恋愛や結婚のこと	19.4%	41.7%	25.0%
9. 自分自身の性格のこと	19.4%	12.5%	17.7%
10. 健康上のこと	8.3%	25.0%	12.5%
11. 性（セックス）に関して	9.7%	8.3%	9.4%
12. 経済的なこと	13.9%	12.5%	13.5%
13. 家庭環境や家族のこと	8.3%	16.7%	10.4%
14. 仕事のこと	9.7%	8.3%	9.4%
15. その他	1.4%	0.0%	1.0%

問 37 ふだん悩みにどのように対処することが多いですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 自分自身で解決できるように努力することが多い	44.4%	33.3%	41.7%
2. 誰かに相談することが多い	20.8%	41.7%	26.0%
3. 悩みはあるが特に何もせず、なりゆきに任せることが多い。	33.3%	25.0%	31.3%
4. その他	1.4%	0.0%	1.0%

問 37 SQ【誰かに相談することが多いと答えた方に】主に相談するのは誰ですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 友人	80.0%	90.0%	84.0%
2. 先輩	26.7%	20.0%	24.0%
3. 家族	26.7%	80.0%	48.0%
4. 親戚	0.0%	20.0%	8.0%
5. 教員	26.7%	50.0%	36.0%
6. 事務職員	0.0%	0.0%	0.0%
7. 保健管理センター	0.0%	20.0%	8.0%
8. 学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）	0.0%	0.0%	0.0%
9. 職場の上司	0.0%	0.0%	0.0%
10. 職場の同僚	0.0%	10.0%	4.0%
11. SNS ほっとラインなど（公的機関）	0.0%	0.0%	0.0%
12. その他の SNS	6.7%	0.0%	4.0%
13. その他	6.7%	10.0%	8.0%

問 38 保健管理センターや学生相談担当（通称：なんでも相談窓口）について知っていますか。

項目	男	女	合計
1. 知っている	59.7%	62.5%	60.4%
2. 知らなかった	40.3%	37.5%	39.6%

問 38 SQ【知っていると答えた方に】どのようにして知りましたか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 入学式の説明で	33.3%	25.0%	51.7%
2. 学部学科のオリエンテーションで	26.4%	29.2%	44.8%
3. 学生生活ガイドで	12.5%	16.7%	22.4%
4. ホケカン健康手帳で	0.0%	4.2%	1.7%
5. 友達から聞いて	6.9%	16.7%	15.5%
6. 先生から	1.4%	0.0%	1.7%
7. その他	6.9%	8.3%	12.1%

問 39 あなたは大学院をやめたいと思ったことがありますか。

項目	男	女	合計
1. ない	72.2%	54.2%	67.7%
2. ある	27.8%	45.8%	32.3%

問 39 SQ【あると答えた方に】そう思った理由は次のうちどれですか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 研究科、講座等が合わない	10.0%	0.0%	6.5%
2. 自分の能力に合わない	35.0%	36.4%	35.5%
3. 授業がおもしろくない	0.0%	0.0%	0.0%
4. 進路変更	10.0%	18.2%	12.9%
5. 遊びたい	5.0%	0.0%	3.2%
6. 経済的理由	5.0%	9.1%	6.5%
7. 家庭の事情	5.0%	18.2%	9.7%
8. 日常生活（暮らし）の問題	15.0%	9.1%	12.9%
9. 恋愛・結婚問題	15.0%	9.1%	12.9%
10. 就職に不利	0.0%	0.0%	0.0%
11. 興味をなくした（目的喪失）	35.0%	27.3%	32.3%
12. 他にやりたことを見つけた	15.0%	0.0%	9.7%
13. 学生同士の間関係	5.0%	9.1%	6.5%
14. 教員との関係	50.0%	27.3%	41.9%
15. 仕事の事情	0.0%	0.0%	0.0%
16. 単位を取れなかった（留年した）から	0.0%	0.0%	0.0%
17. その他	10.0%	9.1%	9.7%

問 40 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出]

項目	男	女	合計
1. 5万円未満	20.8%	33.3%	24.0%
2. 5万円以上 10万円未満	61.1%	54.2%	59.4%
3. 10万円以上 15万円未満	15.3%	12.5%	14.6%
4. 15万円以上	2.8%	0.0%	2.1%

問 40 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[支出 食費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	2.8%	8.3%	4.2%
2. 10%～20%	18.1%	25.0%	19.8%
3. 20%～30%	29.2%	41.7%	32.3%
4. 30%～40%	33.3%	20.8%	30.2%
5. 40%以上	16.7%	4.2%	13.5%

[支出 住居・光熱費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	15.3%	20.8%	16.7%
2. 10%～20%	12.5%	25.0%	15.6%
3. 20%～30%	15.3%	12.5%	14.6%
4. 30%～40%	13.9%	12.5%	13.5%
5. 40%以上	43.1%	29.2%	39.6%

[支出 娯楽費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	43.1%	20.8%	37.5%
2. 10%～20%	26.4%	25.0%	26.0%
3. 20%～30%	15.3%	29.2%	18.8%
4. 30%～40%	6.9%	20.8%	10.4%
5. 40%以上	8.3%	4.2%	7.3%

[支出 勉学費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	73.6%	58.3%	69.8%
2. 10%～20%	25.0%	12.5%	21.9%
3. 20%～30%	0.0%	20.8%	5.2%
4. 30%～40%	0.0%	8.3%	2.1%
5. 40%以上	1.4%	0.0%	1.0%

[支出 通信費]

項目	男	女	合計
1. 10%未満	62.5%	66.7%	63.5%
2. 10%～20%	33.3%	16.7%	29.2%
3. 20%～30%	4.2%	12.5%	6.3%
4. 30%～40%	0.0%	0.0%	0.0%
5. 40%以上	0.0%	4.2%	1.0%

問 40 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入]

項目	男	女	合計
1. 5万円未満	26.4%	33.3%	28.1%
2. 5万円以上 10万円未満	47.2%	29.2%	42.7%
3. 10万円以上 15万円未満	22.2%	29.2%	24.0%
4. 15万円以上	4.2%	8.3%	5.2%

問 40 あなた個人の生活費は月々どのくらいですか。平均的な月を想定して回答してください。

[収入 実家から]

項目	男	女	合計
1. 0%	22.2%	20.8%	21.9%
2. 20%未満	13.9%	12.5%	13.5%
3. 20%～50%未満	13.9%	20.8%	15.6%
4. 50%～80%未満	19.4%	8.3%	16.7%
5. 80%以上	30.6%	37.5%	32.3%

[収入 奨学金]

項目	男	女	合計
1. 0%	47.2%	54.2%	49.0%
2. 20%未満	6.9%	4.2%	6.3%
3. 20%～50%未満	6.9%	16.7%	9.4%
4. 50%～80%未満	15.3%	20.8%	16.7%
5. 80%以上	23.6%	4.2%	18.8%

[収入 アルバイト]

項目	男	女	合計
1. 0%	47.2%	25.0%	41.7%
2. 20%未満	30.6%	37.5%	32.3%
3. 20%～50%未満	13.9%	16.7%	14.6%
4. 50%～80%未満	2.8%	0.0%	2.1%
5. 80%以上	5.6%	20.8%	9.4%

問 41 現在、仕事（アルバイトを含む）をしていますか。

項目	男	女	合計
1. している	54.2%	70.8%	58.3%
2. していない	45.8%	29.2%	41.7%

問 41 SQ1【仕事（アルバイトを含む）をしている方に】週に何日、仕事をしていますか。

項目	男	女	合計
1. 1～3日	64.1%	58.8%	62.5%
2. 4～6日	15.4%	23.5%	17.9%
3. 毎日	7.7%	0.0%	5.4%
4. 不定期	12.8%	17.6%	14.3%

問 41 SQ2【SQ1で1, 2, 3を選択した方に】一日当たりのアルバイトの時間は何時間ですか。

項目	男	女	合計
1. 1時間未満	2.9%	0.0%	2.1%
2. 1～2時間	38.2%	21.4%	33.3%
3. 2時間以上	58.8%	78.6%	64.6%

問 41 SQ3【アルバイトをしている方に】深夜（午後10時から午前6時）にアルバイトをしていますか。

項目	男	女	合計
1. してない	79.5%	76.5%	78.6%
2. 週1日程度	15.4%	17.6%	16.1%
3. 週2～3日	5.1%	5.9%	5.4%
4. 週4日以上	0.0%	0.0%	0.0%

問 42 授業料の支払いに必要なお金は、主として次のうちの誰（どこ）から出ていますか。

項目	男	女	合計
1. 親	55.6%	66.7%	58.3%
2. 親戚	0.0%	0.0%	0.0%
3. 奨学金	16.7%	16.7%	16.7%
4. あなた自身の仕事（アルバイトを含む）	0.0%	0.0%	0.0%
5. 授業料は免除されている	27.8%	16.7%	25.0%
6. その他	0.0%	0.0%	0.0%

問 43 奨学金や授業料免除についてお聞きます。（1）これまで、奨学金を申し込んだことがありますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 日本学生支援機構に申し込んだことがある	65.3%	58.3%	63.5%
2. その他の奨学金に申し込んだことがある	8.3%	4.2%	7.3%
3. 申し込んだことがない	33.3%	37.5%	34.4%

問 43 奨学金や授業料免除についてお聞きます。（2）現在、奨学金を受けていますか。あてはまるものすべてをチェックしてください。

項目	男	女	合計
1. 日本学生支援機構からの奨学金を受けている	54.2%	45.8%	52.1%
2. その他の奨学金を受けている	1.4%	0.0%	1.0%
3. 奨学金を受けていない	45.8%	54.2%	47.9%

問 43 奨学金や授業料免除についてお聞きます。（3）今年度、授業料免除を申し込みましたか。

項目	男	女	合計
1. はい	51.4%	50.0%	51.0%
2. いいえ	48.6%	50.0%	49.0%

問 43 奨学金や授業料免除についてお聞きます。（4）今年度、授業料免除を受けていますか。

項目	男	女	合計
1. はい	43.1%	33.3%	40.6%
2. いいえ	56.9%	66.7%	59.4%

問 44 現住所の居住形態は次のうちどれですか。

項目	男	女	合計
1. 実家	13.9%	37.5%	19.8%
2. 下宿	12.5%	0.0%	9.4%
3. アパート	70.8%	62.5%	68.8%
4. 学生寮	2.8%	0.0%	2.1%
5. その他	0.0%	0.0%	0.0%

学生生活実態調査専門委員会

委員長	泉 完	(農学生命科学部)
委員	古村 健太郎	(人文社会科学部)
	新谷 ますみ	(教育学部)
	下山 修司	(医学研究科)
	高橋 康幸	(保健学研究科)
	守 真太郎	(理工学研究科)
	葛西 真寿	(総合情報処理センター (～31.3 情報連携統括本部情報基盤センター (31.4～)))
	中村 剛之	(農学生命科学部)
	橋本 美佐子	(学生課)
事務担当	澤田 祐子	(学生課) (～31.3)
	成田 勇一	(学生課) (～31.3)
	成田 知子	(学生課) (31.4～)

本調査に多大なるご協力を賜りました総合情報処理センター・竹内淑伶様に心より感謝を申し上げます。

第8回 学生生活実態調査報告書

令和元年9月

弘前大学学務部学生課

〒036-8560 弘前市文京町1番地

電話 0172-36-2111 (代表)